

令和7年3月18日

厚生常任委員会要求資料

福祉子どもみらい局

アンケート自由記載内容の一覧

(目次)

設問 6 設問 5 (今回の説明会を受けて、現在県が進めている新しい障害福祉の実現に向けた取組について、どのような感想を持ちましたか) の回答の具体的な理由や内容を記載してください

関心が高まった	P3
もう少し説明を聞きたい	P13
まだ分からない	P25
関心が無い	P41
その他	P47

設問 8 設問 7 (今回の説明会を受けて、新法人についてどのような感想を持ちましたか) の回答の具体的な理由や内容を記載してください

新法人で働いてみたい	P55
新法人への関心が高まった	P57
もう少し説明を聞きたい	P63
まだ分からない	P69
新法人への関心がない	P79
新法人で働きたいとは思わない	P83
その他	P103

設問 9 新法人に対して期待や希望すること等があれば、その具体的な内容を記載してください

P107

設問6 園職員 関心が高まった

1	科学的根拠に基づく、評価や支援の組み立てについて。今までも野殿とどの部分が異なるのか知りたい。従来の方法の限界とそれを越えることが出来る理由など
2	前向きにこれから変わっていくことを期待したい。
3	「福祉を科学する」というテーマについて、まだ具体的なイメージを持ち得ていないので、自分なりに勉強してみたい。
4	科学的に研究するというのは今までの中井やまゆり園でなかなか取り組んでいなかったもので強く関心を持っている。
5	特にありません
6	言っている内容は理解はしたため。
7	取り組みをしていることは知っていても、このようにじっくりと話を聞く機会はなかったもので今回はいろいろ知ることができました。
8	中井やまゆり園での利用者がどのような日常を送っているのかを知ることができた。また、起こったことを繰り返さないため、様々な取り組みを行っており、利用者への聞き取りはもちろん職員へのフォローや聞き取りなどを行っていることが分かった。障害分野は正直分からないことが多いため、知らないからこそ中々近寄りがたいと感じることもある。こういった研修を通して当事者の目線に立って考える機会になった。
9	新しい取組みなので、利用者の方の意見表明の方法や職員の働き方が実際にどのように知りたい。
10	新しい障害福祉の実現に向けての考えが、わかりやすく説明されており、より具体的な情報を知りたくなった。

設問6 園以外 関心が高まった

11	これまでの福祉施設の在り方から新たな福祉施設として進んでいく形の理解及びどのようにこれから発展していくのかに関心を持つことが出来ました。
12	知的障害者施設における、福祉を科学する視点において、強度行動障害を有する障害者の処遇を改善のみならず、共生社会に向けた取り組みを先駆的に神奈川県が行うことに感銘を受けた。
13	科学的な目線から福祉を行う点が、画期的で自分も研究しながら携わってみたいと思ったからです。
14	多くの福祉がエビデンスが少なく、個人の経験値で対応されている印象があるので、科学的根拠に基づいた支援が行える先駆になり、その後の経過を知りたいと思いました。
15	自分自身が障害児者施設勤務だった時には、今回のような支援を思いもせず、今思うと残念な気持ちで一杯ですが、利用者の方の当たり前の生活を支援するためにぜひ勧めてほしいと思いました。
16	独法によるグループホームの運営などもありうるのかと思いました。 いずれはきりりなども独法になるのでしょうか。また、現行中井にある発達支援センターもどうなるのか知りたいです。中井の受皿がないので、独法を作るというだけではなく、本当に展開していけるのか期待と半々です。
17	科学的な福祉の研究によって、福祉の質が向上すると感じたため。
18	県立施設に求められる役割がある一方で、実際の現場は対応の難しさが大きくなっているため、予算、人員等に柔軟な対応をとれる体制は良いと思う。
19	今後の動向について、どのように施設の中身が変わっていくのか。
20	全て施設内で完結し、地域生活移行が進まない以前の形から、通過型施設となり一体で運営し地域生活移行を推進していく。この事は当職が障害児者施設で勤務していた際に感じて事でもある。 ヒューマンな部分だけに頼るだけでなく、新たに科学的根拠に基づく支援を取り入れ、当事者目線の先駆的な支援を確立していく。その先に利用者の最善の利益に繋がると共感できました。
21	当事者はじめ外部の声を聴き、そこから学ぼうとする姿勢に共感しました。また、ヒューマニズムだけに頼らない、科学的なエビデンスや知見を取り入れ、運用していく方針にも賛同しました。
22	以前児童関係の施設で働いており、マンパワーありきの業務に疑問を感じていた。科学的な視点をもって支援を行うことができれば、支援者・利用者共にメリットがあると思う。
23	「福祉を科学する」点…業務の特性上、支援の効果・成果がわかりにくい点。
24	科学の目をいれるという視点が新しいなと思いました。
25	利用者及び職員が過ごしやすい環境になると良いと感じる。
26	神奈川の福祉が大きく変わる転換期に、中井やまゆり園がどう変わっていくか見届けたいから。
27	利用者目線はもちろん、科学で見る、という視点が興味深いと感じた。県職員だけではなく、多角的な視点で見る、運営をすることでより利用者に寄り添った支援ができることを期待する。他の分野においても活用できる視点であると感じた。

設問6 園以外 関心が高まった

28	施設の利用者、職員がより暮らしやすく、働きやすくなっていくのではないかと感じたため。
29	独立していく事は大切と思う。
30	福祉を科学する試みに関心を持ちました。
31	独立行政法人の設立に期待半分、不安半分の気持ちあり。関心はあります。
32	県が持っている問題意識が理解できた。
33	今後の県立県営施設としてのあり方
34	今回の説明会により初めて知った内容であり、今後の展開についての具体的な流れを理解できた。
35	昨今の共同会などの様子を見ると、県営だろうが、民営だろうが、支援の質については変わりがない気がするの、どうなっていくのか、心配が募ります。コストを下げようとする分、悪化していくような気がします。今後が、気になります。
36	科学的根拠に基づく支援を実践できる人材の育成は、分野に限らず、現在及び今後の本県福祉職全体の課題である。独法設立は、その課題解決の一つにはなるが、研修体系や適切な職員配置等、本県福祉職の根本的な人材育成及び人材確保の課題に係るより活発な議論と具現化が必要。本説明会がそのきっかけになるとよい。
37	県営での運営に行き詰まる中、環境や構造を大きく変えつつ、障害分野での施設運営という大きなニーズを見立てていくために必要なことをしていくと感じられたため。
38	以前から科学的な根拠に基づく支援（一つの支援の振り返り）が必要だと思っていたから。
39	津久井やまゆり園事件発生当時はまだ学生だったこともあり、県がどのような動きをしたのか、恥ずかしながらよく知らずにおりました。障害児者施設での勤務経験がなく、あまり現実味を持って内容を理解できたわけではありませんが、事件から今までの流れを含めて説明を聞くことができよかったです。
40	データサイエンスを福祉の世界に入れていくという視点が、実際どう行われていくか関心がある。
41	ご利用者様に寄り添う気持ちをチームワークで、取り組む。
42	中井やまゆり園の変化や今後の展望について示された点
43	どんなに重い障害があってもひとりひとりの意思決定支援、地域生活を目指すということは、とても大切なことであると感じました。
44	「科学的根拠に基づく支援」を行うことはとても良いと感じ、関心もある。私も「科学的根拠に基づく支援」を学びたいと思った。ただ、県職員は異動も多くキャリアアップ案の「基礎力」や「専門力」が身に付くのに時間がかかるのではないかと。それを補うためにも座学の研修だけでなく実践の研修もあれば現場を離れていても多くの知見を得ることができると考える。
45	法人設立の意義が理解できたため
46	施設に閉じ込めてマンパワーでどうにかする旧来の福祉施設からの脱却を試みている点で前向きな方針だと感じた。
47	詳細や現状を伺うことができたから

設問6 園以外 関心が高まった

48	行政より柔軟で、民間には難しい取り組みに興味が高まりました。「科学を取り入れる」という部分の具体的な経過や成果について、是非行政にも広めてほしいと感じます。
49	施設職員の考え方や支援方法、施設自体のハード面も見直しや改善が見られている状況や、県が障害福祉への取り組みを重要視している姿勢を改めて知ることができたから。
50	津久井やまゆり園事件という凄惨な事件が起きた当県だからこそ先駆的な取り組みが必要と思いました。
51	独立行政法人化することによる利点などを知ることができた。
52	もともと障害者教育・福祉に関心があり、科学的見地が具体的にどのようなものであるかが分からないが、重度障害者が地域で暮らしことに学生時代から関心があったので、是非やってみたい。
53	科学的根拠に基づいた支援は福祉のどの分野にも共通することと思う。
54	施設における科学的な取り組みについて関心が高まった
55	地方独立行政法人化への流れのステップやそのメリット等を学べた。
56	中井の事件、時代の流れ、時流も風の時代ですし、新しい時代へ移行していく時なんだよなと思います。この構想の中ではデータサイエンスが一つのカギ概念なのだと思います、それには大きな期待をしたいと思います。長年施設で働いていて思うことは、職員のウェルビーイング、ブラック企業と言わせない体制づくり、業務のスマート化のためにAI機能を活用していく、精神的疲労に対するマインドフルネス的な取り組みなど、職員サイドの新しい職場づくりにも力を入れるべきだと思います。
57	神奈川県福祉施設では悲惨な事件が多いと聞くので、このように福祉の実態を改善していく取り組みは良いことだと思ったからです。また、それに付随して職員の働き方も改善していくとさらに良い支援ができるのではないかと思います。
58	説明を聞き理解することができました。
59	福祉の支援は属人的で人に頼るところが多いのは実際感じているところであり、科学的根拠に基づいた支援が実現できれば、評価や実績もより明確になると思われた。
60	新しい障害福祉の実現に向け、具体的に中井やまゆり園が秦野市での取組等を行っていることが分かった。
61	従来、今回のような情報・説明を明確に得るのは、幹部職員のみで、出先機関の一職員は、せいぜい労働組合からの機関紙レベルでしかなかった。今回のような説明の機会が提供されたのは、人事的な背景が無論であろうが、ある意味、画期的でもあり、本来必要な場である。
62	当事者目線で取り組むことは障がい福祉のみならず、県民対応を行う全ての分野で大切だと認識してきており、今回の新しい障がい福祉の取組みによって、より当事者目線のより良い取組みが進んでいくことができると、障がい福祉だけではなく神奈川県全体の福祉が良い方向に進んでいくと感じたため。
63	津久井やまゆり園での事件以降、神奈川県障害福祉分野に全国的に注目が集まっていることは理解しており、自分自身も関心は持っていたが、詳細の内容について知る機会はなかなかなかったため。
64	数値などのデータに基づいた判断が難しい福祉施設において、県の閉鎖的な体制ではなく多様な視点や科学的根拠が必要とされていることが分かりました。

設問6 園以外 関心が高まった

65	県だけでは担いきれない部分ができるようになって知ったから。
66	県直営の場合、人事異動により支援の質が向上せず、保守的な支援が定着しがちです。また、重度の方のセーフティネットの位置付けが強く、職員も家族も施設から地域に移行するに当たってのイメージやノウハウが構築しづらい現状もあるので、専門の有識者の目を入れ、社会資源を一体的に運営・活用し、先駆的に取り組むプランに関心を覚えました。
67	障害分野からしばらく離れている間に本当に色々なことがあったのだと実感しました。県行政の職員として、もっと関心をもたなければならないと思いました。
68	10年間でジョブローテーションがあり、複数の異なる分野の業務を経験することはできるのは良い。大学と協力して研究できるのもよい。
69	他の施設勤務者にも通ずるところが見られています。
70	私自身、施設で働いているため、とても勉強になりました。当事者目線と科学を用いた支援は、どの施設でも必要なことだと感じました。またなぜ独立行政法人化するのか、疑問に思っていたのですが、その部分が知れてよかったです。利用者が、施設だけで完結せず、地域に移行できるような取り組みであることがわかりました。
71	数十年前とは、考え方や社会状況が変化してきたため、対応についても変化するのは当然だと思う
72	「科学的な福祉の研究」と聞くと、非常に難しそう印象を持ったが、説明を聞いているうちに科学的な知見を用いて、当事者目線の支援を実現していく、という内容に共感できた。
73	科学的根拠に基づく支援というのに興味を持ったので。
74	県の福祉施策の大きな転換になることを意識しました。
75	福祉も、大雑把に“やさしさ”“あたたかさ”というものではなく、科学的に有効であるとされる支援をしていく必要があることを学び、今後、その意識を持って仕事にあたっていきたいと思うと同時に、具体的な取り組みについて知りたいと思ったから。
76	研究分野への取組みに関心がある
77	県が進めている取り組みが、どのように自分たちに関わってくるか実感が沸いたから。
78	福祉科学研究とは具体的に何をするのか知りたい。エビデンスに基づく支援は一定の理解ができるものの、介護保険にあるライフのようなイメージなのだろうか、医療ベースでの支援ならともかく、ひとりひとりの個性にもとづく支援を展開している生活ベースの支援でそれが実施可能なのか知りたいと思った。
79	利用者の人生に共感し、特性等を知ろうとする姿勢はどの職種でも大切であると感じたから。
80	施設の現状と当事者目線に立った支援について理解が深まり、良い機会であったと感じているため。
81	改めて説明を受け、関心が高まった。
82	取組みの改善については、どの福祉機関においても共通して言えることであるため、よいと思った。
83	以前に勤務していたこともあるため、良い方向に改革されていくことに安堵しています。
84	県の取り組みの経過について知ること、今後の課題などが具体的に理解することが出来た。

設問6 園以外 関心が高まった

85	入所型ではなく、通過型施設というのが面白いと思った。ただやはりアクセスの悪い立地に設立されている施設が多いため、他施設との連携や行き来等物理的な難しさはこれから発生してくるんだろうなと思った。
86	施設単独の常識ではなく、全国のいろいろな知見や、民間の行動力などが集まる環境になるとのことで、興味をもった。
87	元々関心があることであり、具体的な説明を聞けてよかったと感じたため。
88	大きく2点について感じました。一点目は、人材の問題で、当県職員として採用後は（ほぼ？）もれなく知的障害等の施設に配属となったあの頃、今思えば当時の人権意識は今と比べれば稚拙さは当然ありつつ、「ねえねえ、どうしたいの？」と当事者に声をかけ、エビデンスの有無はさておき応答がなくても表情を読み取り、小まめに先輩・同僚と会話を重ねながらその人への支援で「夢」を語っていました。当時の環境は、ほぼ常勤県職員で構成され、今と比較すれば数的にも相応に充足していたことが功を奏し、良くも悪くも？同じ方向を向きやすい環境だったのかもしれませんが。規律を保ちつつも意欲的に議論できる環境の提供に期待しています。2点目は、エビデンスの活かし方。体感としては、エビデンスのある支援の萌芽は1993年頃の強度行動障害特別対策事業を契機とし、契約制度導入での人権意識の高まりと「成果」を加算・報酬で評価する仕組みの導入で加速化し、2013年頃からの強度行動障害の養成研修開始で定着した感があり、現に既にこの頃から現場では掛け声のように「エビデンス」が説かれ、プロパーとして「支援担当」職員も導入されました。その意味では、少なくともエビデンスのある支援が決して最近のトレンドとは感じないのですが、その流れで置いて行かれた感字がするのが当事者の「人生」をどうコーディネートするかの視点です。その意味では、中井での実践のように、様々な可能性を本人や支援者に示すことで選択肢を広げることは必要だと思います。その意味では、1点目同様、支援者も前向きに、どんなにコーディネートできる力が涵養できる環境を人材育成の「仕掛け」としても示していただけることを強く期待しています。
89	人材育成の視点での理想的な今後の方針はよくわかったが、実際の支援体制などはどうなっていく予定なのかが具体的に知りたいと思いました。
90	県行政における主要課題であるため動向に注視していたが具体的な説明を受けることができ、独法化のイメージをつかむことができた。
91	福祉科学研究について関心が高まりました。ただ、日頃の支援をしながら、徐々に県職員の派遣人数を減らしながら、そのようなことが可能なのだろうか、と疑問に思いました。
92	説明会の内容がより具体的で非常に参考になった。
93	変化に応じた整理が必要と気づきました。
94	「科学的根拠に基づいた福祉」という視点について特に関心を持ちました。現場での実践的な経験だけでなく、科学的な視点も意識しながら支援していくことの重要性について改めて理解することができました。
95	現状とこれからの福祉施設を知ることが出来た。
96	独法化にする理由が理解できた。
97	様々な仕事の中でも福祉は人材育成や能力向上の必要性があると感じたため。自身のキャリアアップも考えたいと思った。

設問6 園以外 関心が高まった

98	説明にあった、科学的なアプローチが、実務にどのように落とし込まれ機能するのかに関心を持ちました。
99	エビデンスベースの支援を作っていくというのは面白い取り組みであると感じた。一方、エビデンスを積み上げていく試行錯誤の中では当然利用者からみて不快感を持ってしまう状況もあると考えられるし、利用者の行動が落ち着かないという状況もあると考えられる。その中で組織として試行錯誤の中でのうまくいかなかったこと、いわば「失敗」をフォローする体制がなければチャレンジングな取り組みはできないのではないかと感じた。
100	県が科学に基づいた福祉を実践しようとしていることを知り、全国に先駆けて取り組んでいくことを理解した。障害福祉のみならず、すべての福祉分野に共に生きる理念を反映させた福祉実践にかかわれることに喜びを感じたから。
101	今までの県立施設における障害者支援の在り方を見直し、より当事者目線での支援を実践する転換点となる機会に思えたため。
102	津久井やまゆり園事件以降、具体的な施策の展開、進捗がよく理解できました。県立施設は終の棲家（セーフティネット）という考えが多くある中、県の取り組みはそうではなく、通過型の施設になり共に生きる仕組みづくりをしていることが分かりました。
103	独立行政法人にメリットについて、聞くことができる良い機会になった。 また、津久井やまゆり園事件の後、県がどんなことに取り組んできたのか、改めて学ぶ機会になってよかった。
104	やまゆり園の事件を、身近に感じた。今までは、自分の仕事とは直接関連がない事件として認識していたが、そうではないと思った。
105	神奈川県が障害福祉の実現に対してそもそも何を考えているのかを知る機会がなかったことから、知ることができて良かったです。
106	県が進めている取組を自分の日常業務の中でも意識し、向上させていく必要を感じました。
107	地方独立行政法人を設立することにより、科学的な福祉を研究することが可能になったり、柔軟な人事制度が確立され、それが利用者支援に良い影響を与えるのだということを理解したため。
108	異動への意欲が高まった。
109	派遣後、どのようなことを求められているのか。どのように職務していくのか詳しく知りたい。

設問6 園以外 関心が高まった

110	独法の設置が決まりましたが、法人設立されても大きく変わるのか、現在と何が変わるのかわからないところもあります。 法人するより、大きい中井を分割して、小さい組織にし、民間法人に移譲してもよいのではないかと思います。 新法人であれば、職員が異動できるよう中井以外の施設も運営する必要もあるかと思えます。また中井の単独運営であれば、今後職員採用についても影響が出てくるものと思えます。 中井では当たり前の生活、当たり前の医療など、利用者主体の支援を行うことが必要です。[]が入り、変わったところもありますが、根本的な支援の切り替えも必要だと思います。公立施設は職員が自分流に支援してしまうところある為、支援については、しっかり研修や上席がしっかり手本見せる等の研修の機会等も必要かと思えます。
111	このような取り組みが進んでいるとは知らなかったため。
112	新しい取り組みにより、今後よい支援につながればよいと思ったため。
113	今後の県立施設の在り方や社会福祉学の研究について興味関心が高まりました。社会福祉学の研究を進めていくことは障害福祉に留まらず今後の神奈川県福祉全体を考えていく上でとても必要だと感じました。
114	自身が派遣の対象となり得るという点で関心が高まった。
115	より地域移行を進めていくために独立行政法人化が重要であることが分かった。
116	当事者目線の福祉、科学的な福祉の研究に力を入れていることがわかり、新しい福祉の創造を目指していることに関心が高まるとともに、大きな転換期であることが窺えた。
117	運営形態を変えることで支援の幅が広がることがわかった
118	独立行政法人の設立が、地域生活移行の推進だけでなく、科学的な福祉や人材育成など、様々な新しい視点を取り入れる機会になることが分かった。大規模な施設を通過型施設と位置付けることで、「施設から地域へ」という福祉の新しい在り方を実現することに繋がると感じた。
119	官民連携のなかで、利用者さんにとってよりよい環境にすべく体制を整えるために、県の意向を踏まえ柔軟性のある独立行政法人にする、ということが分かった。
120	施設外の地域交流を進める現状の取り組みが評価できると感じた。科学的な視点を取り入れた支援も興味深い。さらなる変化が期待できると思う。
121	独立行政法人への転換がとても重要であること、今後このような悲惨な事件を二度と繰り返さないために、県が大変真剣に取り組んでいる事が理解できた。
122	今後、障害福祉がさらに必要になった際に県がどのような施策を行うのかきになった。
123	科学的という視点は、これまでにないキーワードと感じた。具体的にどのように進んでいくのか、気になった。
124	今まで、まったく情報を知りうる機会がなかったの。
125	独立行政法人に移行することについて、その経緯や意義について理解することができました。
126	独法化までの経緯を知ることができました。また、根拠に基づいた考え方を学ぶことができました。

設問6 園以外 関心が高まった

127	中井やまゆり園の状況が理解できた。
128	以前の所属先に関する事だったため。
129	異動（派遣）先の一つとして、自身のキャリア形成の選択肢になるかと思ったため
130	県福祉職の職員として、現在の職場の価値観のみならず、全体の動きを理解する必要性について理解したから。
131	・過去にあった事象にポイントが合った取り組みだと感じた。
132	中井の施設だけで完結するのではなく、大学と言った研究機関との連携を通して科学の視点から福祉を見ていくことで新たな発見や取り組みにつながると思ったから
133	これまで、県がこのような福祉施策を進めていることを知らなかったから。
134	動画がわかりやすかった
135	地方独立行政法人について制度はまだ理解できていない部分もあるが、同じような事を繰り返さないよう新たな取り組みを行うことについて、より知りたいと思いました。
136	施設の独法化に向けたメリットや、それに向けた人材育成など具体的な説明があった。当事者目線の障害福祉推進条例にそった取り組みが含まれていると感じた。
137	利用者だけでなく、そこで働いてる現場職員に対しても三者面談を実施することで利用者の気持ち、現場職員の思いを共有できることで、より良い支援ができると思ったからです。
138	福祉施設の独法化というのは、新たな試みであり、改革のために必要な措置であると感じた。
139	他の業界でも活躍できる人材育成や福祉研究の場として法人を設立していくと理解しました。これまで、所属で取り組んできた内容を活かして仕事ができると思ったので、非常に関心は高いです。

設問6 園職員 もう少し説明を聞きたい

140	新たに設置する地方独立行政法人が担う、科学的な福祉の研究及び人材育成の内容がぼんやりとしており、具体的にどのような内容を行うのかを知りたい。 また、理事長他の役員が誰を想定しているのか知りたい。
141	ほとんどが中井やまゆり園での取り組みであり、県全体の障害者施設の取り組みはわからなかった。 前半ではいろいろの事件、事案があった後に、支援方法の見直し、園の外に出ていくすばらしい取り組みがなされていると説明されているのに、独法でないとできないのは何故か？理解できなかった。予算等で小回りが利かないのは今には始まったことではない。
142	デメリットについて詳しく聞きたいため
143	万が一、県職で異動希望者が集まらず、独法化後の採用職員も集まらない場合の県職員の異動の可能性、独法化の延期の可能性等について詳しく知りたい。
144	待遇面での説明をもう少し聞きたい。
145	設立目的の科学的根拠に基づく支援の具体的中身と、それを実践できる人材育成をどのように行うのか、詳しく聞きたいと思いました。
146	独法が目指している事柄は大変、重要であり、賛同できるものです。ただし、運営方法や実際入手が集まるのかどうか、心配が尽きないところが正直な感想です。
147	科学的根拠に基づく福祉というのがどういった内容なのかいまいちわかりにくい。医療であるならば、具体的に〇〇の数値がよくなったから、この薬、この方法が良いといった目で見えてわかりやすい部分があると思うのだが、福祉の支援の方法について、それを検証するのは結局見識がある人間がやるわけであって、それが科学的根拠とっていいのか疑問を感じる
148	利用者さんの生活が心配している。[]が新法人の運営に関わるのであれば、健全な運営に繋がるのか疑問を持っている。その辺りがどうなるか関心を持っている。
149	科学的根拠に基づいた支援について
150	全国的にも見ても障害者支援の研究施設は数少なく、先進的に取り組む目標を掲げるところ。
151	独法の内容について、組織、体制等々。
152	やりたいことはわかるが、そこに割けるだけの人員と予算はあるのか？ 他の寮で欠員が出ていてもすぐに補充されるわけでもなく、残った職員が超過勤務で対応している。それで仕事が回っていると思われていないか心配。
153	科学的な福祉の研究の部分がまだ十分に実践に生かせていない所があるので理解を深めたい。
154	利用者の皆さんやご家族、園職員の下承を差し置いて独法化を進めている状態だと感じるため、当事者が置いてけぼりの、「神奈川県全体のための」取り組みになっていると思う。まずは利用者さんや家族にしっかり説明したうえ、どのように生活が変わるのか、職員や研究の内容等も含め説明し、了承を得られてから実現に向けて具体的に進めたほうが良いのではないかと思います。
155	よりよい障害福祉のための取り組みについて少し知ることができました。ただ、実際どの程度実現できるか不安なところはあります。

設問6 園職員 もう少し説明を聞きたい

156	やさしさ、あたたかさをを持った当事者目線に立った支援を実現するためには、科学的な根拠に基づく支援とヒューマン的なアプローチの調和が大切だと考えました。どちらか一方に偏りがあると、対立が起こることが想定されます。そのため、寮のことを把握していて、外部や幹部に通じているSVのような役職の方にアソシエイトしていただき、軋轢が生まれないよう運営できれば理想的であると考えました。
157	科学的視点の具体的な内容（例）が知りたいと思いました。
158	大きな施設改革を行うことは理解できるが、福祉研究についてもっと具体的な説明が欲しかった。どれくらい実験的な取り組みを入れていくのか、それを行う専門人材は十分に確保できるのかを知り「利用者、職員がそれに耐えられる」のかを考えたい。
159	「科学的な福祉の研究」を目的とあげているが、誰が行うのか？また、利用者のデータを作成するにあたり、支援担当者がどこまで資料を検討するのか？現在作成している生育歴の作成について、医療情報の把握などどこまで詳細に知り、支援に活かしていくのか？（もちろん利用者の状況把握をすることは大事ではあるが業務時間内では利用者の生活支援で精一杯であり、業務時間外での資料作成が大変である）また、大学や医療機関との連携は具体的にどのようなにかかわり、進めていくのか？
160	十分に理解するためにもう少し説明を聞きたい
161	働いている側が知りたい内容（給料や法人の詳細など）を聞きたい。
162	具体的に研究部門という役割について内容を知りたい
163	「ともに生きる社会」の実現に向けて福祉研究に取り組むこと、法人の構成案などの概要等については理解した。 科学の視点をどのように取り入れるのかについては具体的に考えがまとまっているのか？部署間はどのように連携していく考えなのか？が気になる点である。
164	目的や方向性については理解が出来ました。素晴らしい内容ですね。 それを支える人はどのように育てていくのかが疑問です。 様々な人材育成とは具体的にどのように行っていくのでしょうか。基礎力をどのように上げるのか、どのような指導者がいるのか…。
165	時代とともに福祉の考えは変化してきていると考えており、福祉人材はより高度な能力と知識が求められてきています。そのため、新しい変化に対応するためには、従来通りの取組ではなく、新しい取組の1つとして、独立行政法人があると考えからです。そのため、説明をもう少し、お聞きしたいという回答をつけました。
166	経験値によらない科学的な福祉のあり方について具体性が見えなかったため、もう少し説明を聞きたいと感じました。

設問6 園以外 もう少し説明を聞きたい

167	科学的な支援を取り入れることは、より高度な福祉支援につながると思いました。しかし、まだ具体的なイメージが出来ないので、より具体的なイメージが分かるといいなと感じました。
168	目指す目標像やこれまでに取り組ん出来たことがはわかったが、理解するのに難しい説明もあった。
169	福祉における科学的根拠について、より具体的に知りたいです。
170	給与面（手当）についてや、人事評価についてより詳しい説明が欲しい。
171	科学的な福祉が今一つイメージしにくい。現在行っている、データを取り、それに基づいて支援の方向性や内容を決める事と何が違うのか？
172	今後の事業についてやスキルアップのチャンスについて理解することができたが、現状進めている中で、課題となっていること。今後課題となりうること。 プロパと県職員をつなぎでいく役割は、独立行政法人の職員が担っていくのかなど。
173	説明会だけでは「福祉を科学する」とはどういうことか分かりませんでした。 福祉の分野では質的研究がベースで、根拠に基づいた支援が行われていないという点は理解できます。 一方で、心理の分野ではデータに基づいたり、応用行動分析など理論・根拠に基づいて、支援や研究を行っているかと思います。そうした支援と、どう違うのか。 今回の説明を聞いて、「福祉を科学する」とは具体的にどんなことを行っていくのか、もっと知りたいと思いました。 また、中井やまゆり園の支援現場を実際に見たことがないため、イメージが持てないところがあります。 話を聞くだけでなく、実際に利用者の方と一緒に関わったり、職員の方と一緒に支援や話をして、もっと知ることができると良いと思いました。
174	・色々な問題等が起きた科学的な根拠があれば知りたい。 ・独立行政法人が必要となった具体的な科学的根拠があれば、知りたい。 ・福祉の科学的根拠を具体的な指標等があれば聞きたい。
175	取り組む方向性を聞き、ポジティブな変化だと捉えています。
176	これまで施設でも勤務してきたなかできちんと理論、根拠づけされた支援かどうか聞かれると不安な部分もあるため、そうしたところをどのように確立し、職員自身も身に付けていけたらよいのか知りたいです。
177	施設内部の対応方法のみではなく、障害者総合支援法の中の施設入所支援の在り方の議論も必要だと思います。また、総合支援法では施設入所支援の利用者でも計画相談が入っており、計画に則った支援が行われ、モニタリングも適切に実施され、市町村にも報告しているはずなのにこのような事態になっているということは計画相談も市町村も利用者への支援を把握できずにいたということになります。制度そのものの方向性の検討も必要だと思います。
178	障害福祉の取り組みについて学びたいため。

設問6 園以外 もう少し説明を聞きたい

179	・科学的な解析、分析をした上での支援の組み立て及び発信方法が抽象的に見えてしまったので具体的にどのような方針での組み立て方で考えているのか。
180	科学的なアプローチのイメージがまだできていないので、もう少し説明が聞きたいが、根拠に基づく支援は大切なことなので、関心は持ちました。
181	人材育成について、県庁内においても体系的・効果的な育成が全くといっていいほど行われていない現状で、自らそれに取り組まず、外部に求める印象を受けた。県庁内でどのように取り組み、独法とどのように連携していくことで、県の福祉職としての人材育成、確保、定着につなげていくのか示してほしい。また、目の前の厄介事に対する論点のすり替えではないことを明確にしてほしい。
182	「科学的な福祉の研究」の具体的な内容や、人材育成の方法、利用者にとってどのような利点があるのか、実際に配置される職員は確保できるのか、等、具体的な説明が聞けるとよりイメージしやすいと思いました。
183	科学的見地を用いての支援について興味を持てた。
184	説明は理解したが現在の県の福祉職をどう育成するのかが不明確。保健師のように育成計画を示すべき。計画的な採用や育成をしてこなかったつけが今できており、毎年多数の離職者が出ている現状をどう考えるのか。団塊の世代が大量退職し、急激な昇格で中堅職員が管理職になり現場を離れ、直接利用者支援がしたい職員は離職し東京横浜に流れる悪循環。現場は独自に必要な研修や施設との交換研修などを組み、研修に参加できるよう支援体制を組むなど工夫している。本来は現場まかせにせず県として育成、研修計画、予算を組むべきではないか。給与待遇で東京横浜に負ける分、資格取得支援など育成に魅力がなければ人も集まらない。将来に不安しかない。
185	独法になると、福祉の研究や科学的な支援技術の開発等行っていくとのことだったが、具体策がよくわからなかったので、第2回説明会では聞きたい。
186	津久井やまゆり園事件後の地方独立行政法人移行に向けた取り組みが理解できました。
187	中井やまゆり園は障害者施設の拠点として、特に対応の難しい方の支援について培ってきた支援やそのノウハウがすべて問題だったというように聞こえました。 また、新規利用者（特に児童施設からの移行希望者）の受入れをどのように考えているのか、個の施設としてでなく、圏域全体の移行先としての役割をどのように考えているのかの説明がなかったように思います。
188	今後の進め方などは理解しました。今後も第2回など引き続き聞きたいと思いました。
189	福祉に科学的視点を取り入れていく場とすることは理解できましたが、その具体的内容をもう少し知りたいと思いました。
190	私が福祉職として採用されたときには、重度、最重度の知的にハンディがある方を対象に関わるのが県の役割と知っていたが、地域に相談事業所が増え、また強度行動障害がある方への関わり方のノウハウが培われる中で、方針が変わってきたのでしょうか。そういった変遷を教えていただければよいかと思いました。
191	独法にするとき、利用者と職員の人数をどのくらいの規模にするイメージなのか知りたい。小さく、コンパクトな組織になることを望みます。おおきな複合組織は小回りがきかず、上層部は会議ばかりしていて、現場の支援に手が回らないためです。

設問6 園以外 もう少し説明を聞きたい

192	支援対象者の人を知る、歴史をして支援を考えることはどの福祉業務でも大切なことだと思います。障害のある方の支援の際に行動に着目してして、支援者としては利用者によりよい（怪我をしないように、不穩にならないように）支援をしていたつもりでしたが、今日の説明会を聞いて、命を守るのはその人の生き方を守ることだった、と思いました。神奈川県が組織としてその人を知ることを大切にすることを基本にあることを知り、そこから支援を考えていけばよりよい支援ができると思いました。
193	各所属分野において、様々な取り組みをしているが、結局自身の所属の周辺情報、状況しか入ってこないの、全体像がわからないため。
194	独立行政法人を立ち上げる目的等は理解できた。
195	現在の動きや今後についてわかりやすい説明があってよかった。
196	今の仕事には実際にどのように関わってくる可能性があるのかが気になりました。
197	科学的な根拠に基づく支援について、実際にどのように実践していけるのかイメージができていないので。
198	今までの反省点を踏まえて新しい取り組みをして良いと思います。
199	「新しい障害福祉」について、何が「新しい」ことなのかがよくわかりませんでした。少なくとも根拠に基づく支援、アセスメント(利用者や障害をよく理解する)に基づく支援というのは、一部では取り組んできた(大事にしてきた)と思います。過去に尽力されてきた職員の支援がすべて不適切だったとしているような印象を受けます。 変えなきゃいけないこととこれまで大切に継続してきたものがあると思いますし、それを職員や利用者の方々が実感できないと、いくら周りが言おうと結局は利用者の方々に支援が届かない…気がします。
200	福祉行政の充実につながるのか、見ていきたい。
201	「科学的根拠に基づく支援」についてのイメージを共有ができきれなかった
202	科学に基づいた福祉支援について具体的な話が聞きたかった。
203	科学的な福祉がどのような内容になるのか関心がある。どのように科学的に分析し、実際の支援の場に反映させるのか、実効性を確認したい。
204	まだまだイメージが湧かない
205	具体的な職務内容等
206	具体的なことがまだわからないため。
207	科学的支援についてもう少し知りたい。

設問6 園以外 もう少し説明を聞きたい

208	エビデンスに基づいた福祉について、具体的なビジョンをもう少し聞きたいです。 学生時代の経験から民間企業や大学等研究機関に研究協力を促すことの良さも十分に承知していますが、一方で現場の即座に言語化しきれない空気感やその中にいないと分からないニュアンスを拾いきれず、トップダウン型の取り組みになってしまうことを危惧します。当事者目線の福祉の話にずれてしまっていますが、県の児童福祉の分野ではその概念が独り歩きし、職員の安全や安心が軽視されている現状もあると感じています。 説明会にもあるように福祉はヒューマンイズムが中心だと思いますが、それが良さだと思います。同時に、福祉職の中にはエビデンスベースな取り組みに際して、職員のより良い福祉につながる体験や意見をサイエンスに当てはめることが難しいタイプもあります。また、科学的視点に欠ける福祉系研究者も多くいると感じます。当事者にも支援者にも優しいエビデンスに基づいた福祉を望む職員として、トップダウンとボトムアップのバランスをどうとっていくのか、もう少し詳しく知りたくになりました。
209	現場職員と幹部職員の目指しているものは同じなのか、現場の意見は反映されているのか、実際実現出来るのか分からないと思った。
210	より具体的にどのように進めていくかの説明を聞きたいため。
211	とてもよい取り組みだと思いましたが、実現可能な事業なのか疑問があり、もう少しお話を聞きたいと思いました。中井やまゆり園が秩父学園のように人材育成もできる施設になれたとしたら素晴らしいと思います。
212	検討中の内容もあるので、決まり次第、説明を聞きたいと思います。
213	目指すところや何を大切にしているかは概ね理解できた。ここに至るまでのプロセスについても説明はあったが、もう少し詳しく聞きたいと思った。その時の現状と、それに対して変容するためのアプローチがあり、種々の点で変化が見られたことは理解できたが、その都度、どのような見直しや検討がなされ、新しいアプローチをどういった視点で（それこそどのような科学的視点をもって）評価してきたのか、が知りたいと思った。
214	各法人への県職員派遣の割合等を知りたい
215	まだ検討中のことが多いので、内容が固まったら詳細を知りたいと感じました。
216	もう少し説明をうかがえたらと思いました。
217	福祉領域においては、説明にあったように他の領域に比べ、科学的な見地を取り入れて実践しているとは言い難く、その背景には福祉や行政に従事する者の考え方や経験（従来のやり取りを重視して新たな視点を取り入れない等）、変化しがたい組織風土が大きく関係していると思う。新たな視点を持った取り組みを提供したところで、組織や施設が持つ課題（人材不足や物理的環境等）が多すぎるため浸透しづらいのではないかと思う。そこをどう解決していくのが大事であると思うし、そうした新規な取り組みを神奈川県は行っていることを周知していくことが、県の人材確保にもつながると思う。
218	もっと詳しく聞きたい
219	今後の独立法人の設立に向けての具体的な勤務状況や現職員の方の声などを知りたいと感じた。

設問6 園以外 もう少し説明を聞きたい

220	法人化することで、多様な視点から支援を展開していくことになると思いますが、どのような検討方法で支援方法や移行先を決定していくか。 利用者の実習に参加できる判断方法やどれほどの職員の配置人数など、不明瞭な点もいくつかあるため。
221	県が進める新たな取組について理解することが出来ました。 今後より具体的な内容が示されると思いますので、引続き説明を受けていきたいと思います。
222	「福祉を科学する」ことの具体的な取組について教えていただきたい。
223	受け皿となる地域の資源の開発や地域力強化に向けて県がどのようなプランを持っているのか、実現に向けた本気度、そしてそれを一緒にやっていく地域はどうなのか、たくさん聞きたいことがある。 方針や方向性は理解できた。
224	まだ具体的なイメージができていない
225	現在の中井の利用者さんの様子がしれないのと、いったいどのような支援を目指しているのか、具体性に欠ける部分がある。科学的とは言うが、因果関係がしっかりした議論が中井の利用者支援がやり切れるのか不透明である。
226	業務内容としては興味がありますが、待遇面での不安点が多いと感じました。 現時点で安心して移動できる状況ではないと思いました。
227	科学的なアプローチについて、どのような想定か具体例を知りたいと思った
228	当事者目線の福祉と科学的な福祉の研究の実践について、新たな福祉の可能性を感じた。
229	科学的根拠に基づく支援のイメージがつかめない。
230	法人設立の目的の中核である「福祉を科学する研究」、「人材育成」の中身が検討中ということであったためもう少し説明を聞きたいと思いました。
231	県直営施設は、基本的になくしていくべきだと思う。「県＝良い支援をしている」というのは幻想。むしろ、世の中の福祉の流れから取り残されているのではないか。直営施設には、年1回の監査ではなく、中井に入っているような[]が常に見ているような形を作らないと、また同じような虐待等が起こると思う。
232	障害を持つ方々への虐待防止や、支援方針が変化していくことはよいことと感じた。一方で、独法化に伴いこの方針が継続されていくのか気になった。
233	独法については理解しているが、福祉分野でのイメージはつきづらい。
234	福祉を科学するということをもう少しお聞きしたいと思いました。 福祉を科学するために今後どのような指導体制を構築していくのか等の計画を知りたいです。
235	実現に向けての計画は十分に理解できました。一方で多くの職員の派遣が必要になる内容かと思えます。全職員が納得できるような説明をもう少し教えてほしいです。
236	人員体制などもう少し確認したいと思いました。
237	説明を聞き、確かに今までの支援は、経験に基づいた伝承が多かったと感じる。言われたまま、疑問も感じず支援をすることを変えていくためには、なぜそのような支援が必要なのかと科学的なデータに基づいて、一人一人が考えて支援を行うことの意義は感じた。

設問6 園以外 もう少し説明を聞きたい

238	今進んでいる改革を進めるために、民間でなく独法でやろうとしていることはよくわかりました。改革の中での地域移行への具体的な取り組みなどもっと聞きたいと思いました。
239	派遣や臨任の職員を増やすことは、施設の人材不足を補うことになるかと思う。それと同時に、県職員の勤務形態の見直しを図ることも必要かと考える。
240	具体的なイメージがまだ持てないから。
241	取り組みたい方向性に関しては理解できたので、具体的な部分についてもう少し知りたいと感じたので。
242	今回の説明会の内容では、県のスタンスは理解できたが、独法化した際の具体的な業務ビジョンが見えなかったため
243	現在、自身が「人材育成」の対象になっている若手職員であるため、当事者意識をもって内容を理解することができた。科学的な福祉を実現していくためにそのエビデンスを元に理解と発信力のある職員を育成していく必要があるのは、障害福祉だけではなく、児相や児童福祉施設などの児童系の職員にも大きく当てはまると思うので、このような取り組みが波及していくことと、人材育成のノウハウの共有など他分野にも相乗効果があればよいと思った。
244	科学的根拠に基づく支援について、中井には心理職もあり、これまでも実践してきたのではないかと思います。過去の実践との違いについてもう少し知りたいと思いました。
245	具体的な想像が出来ていないため
246	民間の目が入ることで中井やまゆり園が改善できてきたこと、今後の障害福祉の方向性がよくわかりました。
247	具体的な内容が聞きたいです。
248	科学的なエビデンスについて、実践でうまくいっている好事例について、実態そのままの報告を伺ってみたいと思ったため。ここ数年でやめてしまった職員が一定程度いらっしゃって現職員だけでは回らず、各方面からかなり職員が協力に入っていると聞く。これだけ前向きに新たなことにチャレンジしていこうというときに、現場の方々が実際どのような思いやあるべき姿を思い描けているのか伺えるとさらにどれほどのテーマにチャレンジしていこうとしているのかさらに実感できたのではないかと思います。
249	新しい試みを感じるから
250	独立行政法人の設立本当に運営がスムーズに行えるのか、課題が多く残っていると思うため
251	中井やまゆり園等の施設が独立法人化されるが、福祉職780名は、今後どのような所属へ振り分けられるのか。
252	何回か説明を聞かないと内容が十分に理解できないと感じました。
253	実際に働く場合に雇用条件等について。
254	科学的な福祉という点について具体的にどのような手法を用いるのか気になりました。
255	新たな社会資源を作るような取り組みもされていく予定ということで、地域にとっては多くの選択肢ができることは良いことだと感じました。具体的な福祉職の配属先としてはどのような部署になるのか、わかりやすい形があると良いと感じました。何課でどんなことをするのか。
256	方向性については理解できたが、それを推進するための具体のスキームがわからなかったため。

設問6 園以外 もう少し説明を聞きたい

257	科学的な福祉や人材育成について、関心はあるが、具体的なイメージが持てないため。
258	関心が高まったというより、取組について理解できたという感想です。
259	現場にいと県庁での情報があまり入ってこないから
260	大きな方向性は何となく分かったが、実際に働くことを考えた場合の短期的な方向性や変化がもう少し分かると良かった。
261	現在の業務からイメージしにくい分野であり、まだ分からない部分もあるが、取り組みについて理解しておきたいため。
262	実現に向けて、県職員としての取り組みへの心構えなどを聞きたい。
263	福祉に科学的根拠に基づく支援を取り入れるとありました。この表現であるとまだ抽象的に感じます。具体的に数字で表すのか、対人関係上での技法を活用するのか、ツールを用いるのかなど、「科学の目」をどの段階でどのように入れるのか、そのような説明をさらに詳しく聞いてみたいと感じました。
264	科学的な福祉の研究について、具体的に何を研究しようとしているのかビジョンを知りたい
265	観念的、二分割思考的で、（現場は思考停止状態に陥っているにしても）福祉職の「当事者目線」に欠ける印象なので、さらに説明をする／聞く必要があると考える。
266	以下、3点から将来性のある取り組みと感じ、より具体的な説明を聞きたいと思いました。 ①法人で行われた研究の積み重ねにより、既存の考えやモデルから発展した神奈川独自の支援の考え方が生まれるかもしれない将来性があるかもしれない。 ②独法となり、民間企業とのコラボレーションがより行いやすさがあるのかもしれない。 ③大学との連携により、将来的な人材確保のルートができるかもしれない。
267	理念は理解でき、そのように進めていくべきと考える。ただ、児童期から成人期の移行において地域に行くためのつなぎの支援が必要なケースも多く、また選択肢がない中滞留している状況がある。通過型であっても受け入れる施設を増やす考えも必要ではないか、との想いがある。それ故、障害福祉全体像としてどのように考えていくのかもう少し説明を聞きたいと思った。
268	「自分は間違っているかもしれない」と言う視点で謙虚に支援に向き合うことが一番大事だが、兎相でも欠員が恒常化、やる気ある若手職員が潰れないよう辞めないよう留めるのは困難を極めており最重要課題と感じるため、人材育成の方法をもう少し伺いたい。また、市町村の意識改革や民間施設のボトムアップも必要で、余力ある施設運営には（児童でも障害でも）はある程度お金も必要、財源はどうしていくか。
269	研修中で出たアンケートでマイナスの意見はなかったか。あれば聞きたい。
270	科学的な福祉の研究について、とても関心を持ったのですが、どのような方法で分析をしていくのか等、まだまだ自分が勉強不足な点もあるのですが具体的に知りたいと思いました。
271	実現に向けた取り組みについて見学等で身近にみてみたいと思いました。
272	科学的根拠に基づく支援の具体的な方法をどのように展開していくのか。研修を行ったり外部からの派遣するのかなど。また今まで培ってきた経験や支援方法などをどのように伝えていくのか知りたい。
273	もっと具体的に説明が必要、現状人の確保が難しく利用者への不利益になっていることが多いと感じる。働きやすい職場づくりが必要でありそのための対策を考えてほしい。

設問6 園以外 もう少し説明を聞きたい

274	もう少し具体的な内容を知りたい
275	本当に実現するのか疑問の思う。
276	独立行政法人でなければ、科学的な目を入れられにくいとする視点がよく分からないなと感じました。
277	県が進めようとしている障害福祉について前向きな印象を受けたが、理想が先行している部分もあるように思えたため、進捗や検討後の方策について引き続き説明を聞きたいと感じました。
278	神奈川県障害福祉を担ううえで、独立行政法人で取り組む重要性については少し理解した気がするが、具体的にどのような研究をするのかやどのような支援に変えていくのかが見えないため。支援とは、外に出れるように等ではなく、科学的な知見に基づいた支援というものがどういった支援なのかを示してもらいたい。何を数量化していくのかなど、具体的なものが見えない。
279	これまでの指定管理の流れとは異なる方式による運営方法の変更についての理解ができた。科学的な視点については、もう少し詳しく聞いていきたいと感じた。
280	科学的根拠に基づく支援の具体的な内容を知りたいと思うから。
281	福祉分野に科学的な視点を入れることについての具体的な手法がイメージしづらいので、もう少し説明がほしいと思いました。
282	地域との関わりを広く行うという点に特に関心を持った。具体的にどのような取り組みを行うのか詳しく知りたいと思った。
283	科学的エビデンスを用いた支援を、ということだったが、具体的にどんな支援をイメージしているのかが、あまりイメージ出来なかった。そういった支援が可能になるために県がどんなバックアップ体制を取るのかも疑問に感じた。
284	神奈川県知的障害（特に中井やまゆり園）については、自閉症協会等と連携を取りながら、県知事の「強度行動障害」に係る支援の中核施設の役割を担ってきたところだが、今回の話を聞くと、これまでのこういった流れはどうなるのかが全くわからなかった。聞くと、これによって、これまで中井が行ってきた強度行動障害に対する支援方法は全否定されると。であれば、そういったことの「総括」を、もっと詳細にするべきではないかと感じた。（中井では、他の施設職員に対する強行研修をおこなっていたはず。そういった研修の何がいけなかったのか、どうしてそうなったのか など）
285	専門職（看護師、OT、ST、PT）は現状配置があると思うがAI活用の利用者利点や職員の業務軽減に繋がる具体的なイメージを視覚化して説明してほしい。また、地域へ繋ぐ取り組み（作業所やGH、住民との関わり）は継続していくことが必要。社会資源を活用し、地域で暮らせるようにトータルコーディネートできる法人が創設できたらいい。高齢者施設の県モデルも将来あったら面白い。
286	具他的な取り組みの方法等がよくわからないため。
287	独立行政法人になることで柔軟に展開できる施設となるのではと期待はできるが、具体的にどういったシステムで研究していくのかがあまりわからなかった。具体的なイメージを持てるよう、おいおい説明があることを期待している。

設問 6 園以外 もう少し説明を聞きたい

288	十数年前は施設の中で完結した支援が多かったですが、利用者の地域移行や職場開拓等地域生活を意識した支援の取り組みも始まっていました。当時はその社会資源不足もありなかなか進まないこともありましたが、今は社会資源も増え障害福祉の考え方に変化もある中で、県が目指す障害福祉の実現を進めやすくなったのではと思います。また、当事者の方々は県の取り組みをどう思っているのでしょうか。意見が聞きたいです。
-----	--

設問6 園職員 まだ分からない

289	の説明が過去の中井の支援体制と数十年前の自分の支援を否定しただけで、全国から注目されていた支援についてのリスペクト的なものはまったくない中、また、今の支援体制、今後の態勢がどれだけやりがいを感じる体制で働けるのか説明は感じなかった。しかし、今働いている現場の職員は今の態勢で疲弊している声しか聞こえてこないが、今後の働き甲斐が増すといったより良い話しかなかったから。
290	世の中的に福祉や介護の職に就く人材が少数なうえどうやって人材を集めていくのかわからない。中井やまゆり園は立地条件からもふりだということ認識したほうが良いと思う。
291	構造化に頼らない、現在の支援方針について非常に素晴らしいと感じます。今後は園の一律の方針ではなく、利用者個人に即した支援を、職員自ら考えていけるような支援が必要と思います。
292	情報が十分整理できていないため
293	人材育成・キャリアマップを実現するために誰が行い、どのように進めていくのか気になっている。
294	重度障害者が地域で生活していける環境づくりは非常に重要ではありますが、その施設が中心となり、どのように取り組んでいけばいいのか、地域資源をどのように活用して連携をとっていくのかなど具体的な説明が欲しかったです。
295	抽象的なのでよくわからない。
296	県立県営のままで、今現在の取り組みを継続していくことは、不可能なのか？
297	言っていることが難しい
298	1度の説明で理解するのは難しいかと。例えば研究の内容や、人材育成の進め方などより具体的なイメージがあれば知りたい方は多いかもしれない。また法人の一部機能として入所部門があるようだが、そこの職員人員配置体制はどうなるのか、法人全体では何人ぐらいになるのかなども知りたいです
299	良いことしか説明していない。いろんな説明が必要。
300	具体的なイメージがわからない。
301	まず、障がいサービス課が、在宅の障がい者とその家族の調査をしていないと聞いてショックでした。在宅障がい者と家族は、福祉の対象ではないのでしょうか？在宅障がい者の家族にとって、短期入所はプレミアムチケットだという話です。親が70歳台になっても80歳台になっても、在宅の場合は介護を続けると聞いて、私は自分が見ていなかった現実の厳しさを感じて自分の無知を恥じました。 障がいサービス課にとって、そういう方々は視野の外なのでしょうか？や新聞が目にしたことの対応をしていれば、それでいいとお考えなのでしょうか？そういう話を聞いて、施設の入所者だけに手厚いサービスをすることに疑問はないのでしょうか？ もちろん、施設入所者に手厚いサービスをすることは良いことだと思います。しかし、一方、在宅の障がい者と家族には調査もせず、話も聞かず、無視しているということではないのでしょうか？（最近はややく調査を始めたと聞きます）。在宅の障がい者と家族の調査をして、トータルな、一部に偏らない、県民のニーズにあった福祉政策を望みます。

設問6 園職員 まだ分からない

302	令和8年度から独法化という時間軸で進めていて、段々と独法に向けて進んでいる、という風になっていると思うが、実際に働いている職員からすると、独法化に向けて、今すべきこと、どんなことを独法までに達成できているといいのか、など今の職員に求められるものが、よくわからない。利用者もいきなり、職員が変わることに対して、不安があると思う。
303	福祉業界において、マンパワーに頼りがちであることは感覚的には理解可能である。しかし、現状でも科学的根拠に基づき、確立された支援方法というものは存在する。表現としての問題かもしれないが、福祉業界全体に科学的根拠に基づいた支援がないと感じさせられるような表現は慎むべきではないかと思う。 また、とも生き社会の実現に向けた取り組みや、人材育成のビジョンを示していただいたかと思うが、具体性に欠けると感じたため、より具体的な内容を示してほしいと思う。
304	いいと思います。
305	関心を持つことができない。
306	独立行政法人が実際に立ち上がるか分からないから
307	内容は理解できるが、具体的なイメージが湧かない。
308	良い部分を集めて話していただいた印象で、大変になるであろう部分にどのような人員でどう対応できるのかが見えてこない。
309	データサイエンス等、福祉を研究するコンセプトは関心があるが、具体的な人・物の施策が見えなかった。
310	今回の説明だけでは、新法人の姿がイメージできないため。
311	取組みが進むことを願っています。 ただし、県の他の障がい福祉施策と連動できているのか、県内の障がい者本人・家族や福祉関係者からどう見られるのかという視点が必要だと思います。 また、取組みの目的が「フロントランナー」ではなく、地道に取組みを進めるということに重きを置き、取組みの結果として「フロントランナーになっていた」であってほしいと思います。
312	大枠的な概念としては理解できるが、実際の現場環境などについては不明瞭な部分があるため。
313	「科学的根拠に基づく支援」が分かりにくい
314	今回の説明会のみで結論づけることはできない。
315	話を聞いただけではわかりにくい。
316	科学的という言葉が何度も出てくるがその意味がわかりにくい。データとはバイタルや行動や発作などのデータは今までも各ケース、担当職員が適宜とってやっているが、そのことを指しているのかそれ以上のものをさしているのか、それとも全く別のことを指しているのか、抽象的すぎて未来図がうかばない。わからない。
317	なし
318	自分の中でいまだ理解進まず
319	福祉研究について具体的にどのように支援に活用していけるのかが不明確なため。
320	中井やまゆり園からの移動を希望しているため
321	具体的な事がわからない

設問6 園職員 まだ分からない

322	入庁してから30余年、自分なりに真摯に職務の遂行を目指してきましたが。残念なことに、現在中井やまゆり園では、 等のハラスメントが横行した結果、多くの先輩方、同胞が退職していきました。人格含め支援に於いても全否定され、一度底迄落ちてしまったモチベーションはそう簡単には元には戻りません。新しい障害福祉の実現に向けた取り組みと言われても、正直なところまだ何も思いがありません。
323	想定していることは立派だが、それが可能なのか疑問に思う。令和5年度の中井山百合園の運営を見て、不信感しかありません。
324	障害福祉に強い興味を持って福祉職になったわけではないため。
325	「科学的根拠」という言葉に違和感を感じています。医療など客観的にみることも必要でしょうが、そもそも各人にとって何を最優先に考えるのか、それに伴って居住の場をどうするのかを考える必要もあるかと思います。何もかも抱え込む状況は逆に利用者の生活を狭めることにもなるかと思います。
326	現状との乖離が大きく、どのように現実的に行うのか現場の人間としては見えてこない。
327	 のパワハラ問題が全く解決されていない中で、独立行政法人でも が関わるのであれば、一切の関わりを持ちたくない為。
328	具体的なイメージが湧かないため
329	福祉を科学的な視点でみるということは、表現的には難しい。ご家族も理解しづらい内容になると思う。
330	どのような人事配置にするのか、支援内容はどうするのか、今とどう変わるのか等の具体的な説明がなかったため、よくわからない。
331	なかなか言語化、表出化が難しい現状があると感じているから。県の障害福祉の歴史だけでなく、人事の歴史も振り返ってほしい。
332	中井やまゆり園の職員は「 と同じだ」と言われている、凶悪犯罪者と同等の人間が現在県が進めている新しい取組に関わろうとするとは。独立行政法人は刑務作業ではない。全国から優秀な人材を集めてください。
333	経緯、経過の説明が多く、独法化後のイメージが不明確だったため。
334	この情報だけでは、わからない部分が多いと感じた。
335	具体的な説明を聞いていないので分からない
336	素晴らしい計画だと思いますが、前段として、職員が集まるのか。基本的な支援や福祉体系が理解できて初めて成り立つものだと思う。
337	まだ分からないことが多い
338	現状では、職員が時間いっぱいまで利用者支援にあたっている。生育歴の作成や通所への付き添い等、それぞれ時間外になりながらもその利用者のためになるならと思う思いで行っていると思う。今後、それらがどの程度引き継がれていくのか、また継続性があるものなのか。このような現状で科学的な福祉の研究が進められるのかわからない。
339	利用者（家族を含む）の方が主体となる当事者目線なのか、わからない。

設問6 園職員 まだ分からない

340	中井やまゆり園は、エビデンスに基づいて運営を行っていたと理解しています。説明の方法だと思いますが、私たちが施設で支援していたことを否定された印象がありました。 また、軽度の利用者については外部作業など活動はできると思いますが、強度行動障害がある利用者の支援方法や生活をどのように変えるか具体的に教えてほしかったです。
341	独立法人化のメリットしかわからなかった。今の県立施設のメリット、独立法人化のデメリットと照らし合わせないと独立法人化が最善策と言えない。 また、科学の目の入れ方がわからなかった。

設問6 園以外 まだ分からない

342	データサイエンスを福祉の中に入れていく、科学的な福祉という文言が抽象的でわかりにくいと感じたため
343	共に生きる社会の実現に向けた取り組みは有意義だと思います。
344	人材育成をどこで、だれが担っていくのか、まだ見えないように感じました。独法後に同時進行で行くのでしょうか？
345	説明会にて、もっと具体的に何のメリットがあるか漠然としていてわからない。
346	説明がよくわからない
347	障害福祉分野の充実に向けて取り組もうとする姿勢が伺えた。
348	何が新しい取り組みや視点なのか、よくわからない感じがしました。言葉は変わっていますが、内容は30年前の新規採用研修と変わらない感じがしました。課員(特に若手)に質問されても、ビデオの内容を解釈して伝える事が非常に難しく、適切な説明が出来ない事が悩みです。
349	現時点では、まだあまりイメージができないため。
350	今回の説明会だけでは何とも言えないのが正直な感想です。
351	なんとなくはわかりました。
352	経験則ではなく、科学的にアプローチしていくということにはとても興味をもったが、独立行政法人になることによってどこまでそれが実現されるのかが想像がつかなかった。
353	冒頭で、「科学的な視点」？という言葉が多用されていた気がするが、現状の中井やまゆり園の職員向けアンケートの結果からは、職場の環境などが挙げられていたと聞いた。利用者を支援する職員への、科学的な視点をういた、人材育成の課題に関して中心的なことに触れられず、県の方針と、現場に乖離があるのではないかと疑ってしまった。
354	改善の取り組みは認められるが、利用者に合った支援ができるのか疑問が残った。
355	目指すべきビジョンはある程度理解できたが、具体的な動きに落とし込んだ際にどのようなイメージしきれない部分があった。
356	前例がなくイメージがわからないため。
357	「科学的な福祉研究」の内容等、不明な点が多い。
358	具体的な例をあげてほしい。理想と現実が想像出来ない。
359	理念や概念的な言葉で表現されているが、具体的な取り組み等どのようなものなのか、がまだよく理解できない。
360	中井やまゆり園の[]のハラスメント問題がある中で、新法人に移行後も[]の関与が考えられるため。
361	独立行政法人になることで、実際の支援の場がどのように変化していくのかイメージがわからないため。
362	利用者さんのメンタルや現場職員の負担等がどの程度のものなのか、よくわからない。
363	施設での勤務経験がないため、説明の理解や取り組みをイメージすることが難しかったです。
364	科学的な目を支援に入れるというのがどういうことを指すかイメージがわからない。具体例で示してほしい。

設問 6 園以外 まだ分からない

365	科学的根拠を進めることや、共感力を生むことの言葉が印象に残っていますが、それらを持ち合わせる難しさを感じました。
366	特になし
367	管理が県ではなくなるについてよく分かっていなかったため。民間と県の中間的な役割をする組織だということが分かった。
368	福祉を科学するの意味がよくわからなかった。
369	初めて説明を聞き、今後具体的なことがもう少しわかってくるのでは思いました。
370	利用者の日中活動の状況が結果として農作業等になるのは仕方ないことなのか
371	「新しい障害福祉」の「実現」が具体的に、職員の働き方などについての取組みが示されていないため、まだあまりイメージができていない。
372	「科学的根拠に基づく支援」をメインとしているにもかかわらず、研究の中身についてが「不明」では「新しい障害福祉の実現」が出来るのか疑問。 また、職員や障がい当事者の意見はあっても、園で生活をしている利用者さんの意見が無い ため、利用者さんが本当に望んでいる生活を送れているのか、職員のエゴで「こうあるべき」という生活をさせていないかがわからない。
373	科学的な福祉のイメージがわきにくい。
374	科学的根拠に基づいた福祉の具体的なイメージができていない為、どう表現して良いかがわからない。
375	新しい障害福祉と言われていますが「新しい」の意味が、科学する、初めての独法ということにしか聞こえませんでした。今障害分野で働いている人が感じている意義ややりがい を否定する印象を持ちました。ただ、今後どう進んでいくことができるのかは見ていきたい と思っています。
376	これから現実味が帯びてくるのかなと思う。
377	福祉業界の人手不足がある中で人材が集まるのか。
378	科学の視点というのは興味深いがどうつなげていくのかが、まだイメージがわからない。
379	利用者がよりよい生活を送ることはよいことだと思う。
380	地域生活移行のイメージはとても良いと思う。しかし、科学的な福祉の研究というのがまだよく分からないという感想を持ったため。
381	概要が分かった。
382	施設運営に関する県の役割
383	当事者への支援と研究の関連性、連続性につかめませんでした。
384	実際にやると大変だと思う。
385	実際に取組が機能していくかどうかイメージがまだ湧かなかったため。
386	取組の構造、構想については理解したが、実現可能な体制なのか、果たして大きな違いが生み出せる取組みなのかはまだ判断できない。 福祉科学や人材育成という言葉があったが、具体的な取り組みが見えないため判断のしようがない。
387	良い取組みだと思うが、現時点で勤務したいとは感じない。

設問6 園以外 まだ分からない

388	現在の取り組みについて、大枠は理解しましたが、具体的なイメージをするまでには至りませんでした。
389	当事者の保護者など、関係者の意見は反映されているのか疑問です。 三者面談の欄の「これまで入所施設が人生を奪ってきたことを謝罪し」と言う文章は言葉が足りないと思いますし、誤解を招く文章だと思います。働いてきた職員全員が不適切な関わりをしていたわけではないと思いますし、施設だからこそ安心して生活できた当事者や保護者の方もいるのではないのでしょうか。
390	神奈川県施設の在中なので、実際に施設運営されて、状況を観察したいと思います。
391	「研究」の具体的内容がわからない
392	要点をもう少しまとめてほしかった。
393	施設の改修状況や地域との交流の様子等、利用者の生活環境の改善やQOL向上に向けた取り組みを知ることが出来た。しかしながら、これまでの課題に対する原因やリスクを繰り返さないための具体的な取組み、現場の試行錯誤は分らなかった。
394	いまいち、メリットの理解ができなかった。
395	説明は詳しくわかりやすかったが、現実味がない。
396	新法人の取り組みに関しては理解できましたが、実際取り組みがスタートしてからでないイメージが分からないと感じました。
397	言っていることは理解ができるし、その通りなことが大半であるが、現場でそれが実行できるかどうかは別問題であると感じた。
398	科学的な福祉を進めようとしているのはよくわかったが、それについての具体的な支援方法が何一つなく、なにもわからなかったため
399	科学的を掲げているが、医療連携等については過去から言われていることと思う。
400	「改革の流れを止めないために」と銘打ってましたが、現状の取り組みの評価（うまくいっていない点がないはずはないので）がよく分らなかった。
401	外部調査委員会への不信任
402	当然の流れだと思った。
403	現在でも異動したい職員が多いが全国から人が集まってその後も継続して運営ができるのか疑問。
404	人材育成やキャリアアップがなぜ県でできなくて独法ならできるのか疑問に思った。
405	県が進めている取組が、本当にそれでよいのかまだわからないため。
406	スペシャリストになるための職場環境調整が間に合っていない様子を感じるため。
407	中井やまゆり園の現状を踏まえて、形だけの取り組みにならないように進めてほしい
408	今回の説明で理解しきれなかった部分がある為。もう少しわかりやすい言葉だとありがたいです。
409	「科学的」であるためには、学問的に確立された厳密な手続きが必要ですが、それが分かりません。

設問6 園以外 まだ分らない

410	説明会を受けたが、難しい所もあり、イメージがつかなかった。人材の育成は必要であり、私自身も学びたいと思う。当事者目線の先駆的な支援とは、地域生活移行の推進なのだろうか。現実はまだ難しいのではないだろうか。現在、支援している職員の話は聞いているのだろうか。新しい支援をしてみて、当事者だけではなく、支援者の考えはどうなのかを聞きたいと感じた。メリットだけではなく、デメリットもしっかり把握する必要があるのではないかと感じた。
411	イメージだけで、あまり具体的な話はなく、イメージできなかった。 余り、新しさを感じなかった。
412	理想を追うことは大切だと思います。 現在働かされている方の生の声をきける場がほしいなと思いました。現場にいる人間は、今回の取り組みをおこなうことによって、改善改革が見込めると本当に考えているのか、聞いてみたいです。
413	説明会の動画を少し見たので、実感がまだ持てない。
414	具体的な取り組みがまだわからないため
415	科学的な福祉がよくわからない。25年ほど前に、県で療育技法マニュアルを作成してたが、その中の一つが、TEACCHプログラム。中井やまゆり園はTEACCHプログラムに基づいた科学的な福祉を行ってきたのではないのか？また、10年ほど前は、応用行動分析のツールも入れていたと思っていたが、これらが全て否定されたのか、継続して行くのが全く分からないため
416	よく分かりません
417	科学的な知見が入ることで、どのような変化が生まれるのか想像がしにくいです。
418	科学的な福祉の人材育成の具体的な中身については検討中とのことで、今後もそこをもっと詳しく知りたいと思ったからです。
419	障害福祉分野は未経験のため
420	実際に独立行政法人として稼働してみて初めて、現在の取り組みがブレずに継承されるのか分かるのではないかと感じました
421	説明は受けましたが、実際に始まってみないとわからない。
422	特になし。
423	理想的だと思うが具体的にどのように取り組むかが分からなかった。
424	所属している分野が大きく異なり、自分が描いているキャリアプランにも大きく関与しないため。
425	障害福祉分野における県の責務の方向性について、まだ十分な理解に至っていない。
426	「ああそうなのか」と思ったが、考え方に自分との差を感じたものの、あまり魅力を感じず、もっと説明を聞きたいわけでもないのここを選んだ。
427	現状評価についてももう少し学びたいと思いました。過去については全面否定あるのみ、というスタンスなのであれば別ですが。
428	「科学研究に基づいた支援」と言われても、福祉を学んだうえで職務に従事してきたものとしては理解が追い付かない
429	理想が壮大で充分に理解できていないので。

設問6 園以外 まだ分からない

430	今までとの違いがよくわからない
431	再度資料を読み咀嚼したい。描くことはできても、実現の難しさは他の取組みを見ていて感じる。今後の動向による。
432	福祉を科学するとかキャッチコピーのみで内容がない感じがした。これまでの先行研究などから、ある程度こういった方向性の支援をしていこうとしているのか考えているのか、又はまだ検討中なのか、具体性に欠けており、イメージが全くわからない。
433	行ったことがないので、具体的に働くイメージがつかない
434	資料に再度目を通し理解を深めたい。
435	説明会での取組みと報道されている中井やまゆり園の現状が食い違っている気がします。
436	説明を一方的にされているので、理解できたところと、理解できないところがあった。これからに向けて当事者目線の障害福祉ということであったが、キャリア形成することを理由に人材不足の穴埋めとなっているのではないだろうか。施設での経験が仕事をしていくスピリットということが必要となってくるというのが本質ではないかと思われる。
437	今後の流れやイメージは理解できたが、まだまだ理解しきれていない部分もある。
438	局も違い、これまで新たな取組みについて目にする機会がほとんどなかったため、今回はまず取組みについて知った、という段階のため
439	言っていることが十分に理解できていない。
440	まだ分からない。
441	なにを重視しているのかわからない
442	まだ不明確や無明瞭な点が感じられました。 福祉施設や福祉事業所のあるべき姿を実践することは当たり前のことです。 現在の取組みは評価できるものであるとして、さらなる向上は必要ですが、さらなる取組みには支援者・職員の負担が大きくなります。利用者支援への実践はもりろんですが、職員体制の強化、ひとりひとりへのケア、職場環境への配慮が必要不可欠です。どこの福祉職場もそうですが、支援者の職場環境の向上、負担の軽減・精神面のケア・モチベーションの向上が大切だと思います。
443	なぜ今のタイミングで独法化を進めるに至ったかの経緯がいまいち理解できませんでした。
444	目標は30年前と大して変わらない印象を受ける
445	難しい言葉や仕組みが多く、まだ理解しきれていないから。
446	現場（施設）と運営（管理）がリンクするイメージがわからない。
447	未確定な部分が多いので
448	中井やまゆり園に配属になったことがないためイメージが湧かない。
449	これまで科学的視点がなかったのか？ その他、根拠となっていることにも？がある。
450	初めて耳にしたことなので、まだ咀嚼できずにいます。
451	取組の経過と意図は分かったが、それ以上でもそれ以下でもない。
452	方向性は、理解でき望ましいと思いますが、容易なことでもないとも感じました。着実に進められるような更なる方法等が明確にイメージできるように更なる説明などが聞きたいとも思いました。

設問6 園以外 まだ分からない

453	取り組みモデルはおおむね理解したが、実績がないと何とも言えない。
454	まだ計画の段階であり、今後具体的に進捗していく中で関心が高まっていくと思う。
455	まだ職務が浅く、どのような連携なのかを把握しきれていないため。
456	取組自体は素晴らしいものと思います。 独法化したことによる想定リスクが全くないのか不明。
457	現在県が進めている新しい障害福祉の実現に向けた取組について、もう少し説明が必要であると同時に現状の障害福祉の取組についてももう少し知る必要がある。
458	デメリットについても知りたい。メリットだけではないはず。
459	理念先行で具体的な業務のイメージが持てないから 新しい転換点は理解できるが机上の空論的な物ではないかと懐疑的になってしまう。
460	具体的な内容ではなく、イメージがしにくい。
461	前例がないだけに、具体的なイメージができないと言うのが現時点の率直な感想です。
462	具体的なことの明示がないため、よくわかりませんでした。
463	大まかな方向性はわかったが、具体的な内容がわからないため、より詳細な情報を知りたい。
464	県が進める新しい障害福祉の実現への取組については理解できたが、障害福祉以外の各分野で専門性を発揮するために尽力している県福祉職への効果等がわからなかった。
465	まだ第一回目の説明でしたので、現状の職員体制・就業環境などの詳細も含めて次回以降の説明会で聞くことができればと思います。
466	職員待遇改善について
467	自分の所属の業務に慣れている最中ではあるが、今後派遣の可能性もあるので知っておきたい。
468	自分の生活や業務に余裕がない
469	中井やまゆり園以外の機能について具体的な仕事のイメージができなかった。（独法は障害者福祉に絞らないという話があったが、アンケートでは障害者福祉の感想に絞られているなどしている）
470	独法化と新しい障害福祉の実現について、独法化することによるメリットのみ強調されていたため
471	具体的なことがわからないため
472	プロジェクトの内容はよくわかりました。新しい視点で福祉を開拓していくことは期待できると感じました。
473	表面的な話であり、今の中井やまゆり園の実際についてや、報道に関する説明がなかったため、どちらとも言えない感想を持っています。せっかく、全福祉職を集める機会なので、報道も含め、正確な情報を発信いただけたらと思います。
474	独法かの必要性や理念については、概ね理解できました。
475	マンパワーで実践されてきた障害福祉施設について、研究を兼ねて実践するという構想は興味深い。どのような形で研究されていくのか、もう少し具体的な計画が見えて来なければ実現可能なのかは分からないと思ったから。

設問6 園以外 まだ分からない

476	令和8年度に向けて地方独立行政法人の設立をしていくことの理解はしましたが、新しい障害福祉の実現に向けての具体的なビジョンが見えてきませんでした。 福祉全般の人材不足を広く言われている中で、人材の確保がしっかり出来るのか不安を感じました。
477	具体的に科学的な視野を持った支援とはどのようなものなのか気になった。
478	新しい障害福祉のビジョンについてまだよくわからない。
479	取り組みについては理解した。現実問題、直接的なかわりがないためわからない。
480	具体的な内容がわからないため
481	全くの新しい取り組みである為、どのようになるのか想像がつかないところが本音である。
482	独立行政法人を立ち上げることは新たなチャレンジで良いと思いますが、まだ不明確な部分も多いと思いと感じました。
483	1時間の説明だけでは手理解しきれていないと思う。
484	障害分野から離れて久しいので自信がないから
485	中井やまゆり園の取組状況や、新法人設立の背景や期待することは理解できたが、それが神奈川の「新しい障害福祉の実現」とまで言えるのかはわからなかった。また、直接支援の重要性を伝えながら施設の民営化等をすすめており、人材育成の観点からはギャップを感じた（施策をすすめるためにどんな福祉職を育成していきたいのかわからない）
486	「科学的な福祉」というものを具体的に理解することが難しく、また独法化のメリットがいまいちわからなかった。
487	利用者にどのような影響があるのかわからないため
488	取り組み自体は良いと思うが、その取り組みが、ひとつの施設（中井）だけで終わってしまうのであれば、あまり意味をなさないのではないかと。いかに、多くの障がいサービス提供者と関わり普及していけるか、この先何十年と続くような取組みについてももう少しビジョンが欲しい。短命で、限定的なものであっても意味をなさないと思いました。 また、近隣都県では委託や民間移譲することでサービス運営ができている状況でなぜ、神奈川県だけが、県直営を続けていたのか、障がい者サービス提供事業の県全体のバランスや質についても検討していかなければならないと思います。
489	エビデンスに基づく支援は必要だと思うが、エビデンスをどこから集め、誰がどのように伝えるか（指導するか）のイメージできない。相当、改革に対して意欲のある職員を集めないとならないと思うが、中井の地で、シフト勤務にあたるために、職員の住環境等、手厚い支援がないと、優秀な人材を新たに大量に集めるのはなかなか難しいのではないかと考えた。
490	新しい障害福祉と、現在の職務分野と、どのような関連があるか、またどのように連携していくのか、わかりにくかった。
491	科学的な視点でというもののイメージがあまり持てなかった。
492	これまでの経過や進捗を把握しておらず、初めて聞くことが多かったため、理解できないところがいくつかあった。
493	なぜ今まで中井で働いていた方々がそのまま働きたがらないのか理解できない。 良い条件は出しているのですよね？

設問 6 園以外 まだ分からない

494	日々の業務に追われ、事務仕事も超勤でこなしている中、具体的に考える時間が足りないため。
495	理論だけで、実際に取り組みが見えないため。
496	県として考え自体は理解できました。新しい障害福祉の実現に向けた取り組みについても理解はできました。現在抱えている問題、従来発生していた課題に対して、箱（法人）を代えることで実現可能かに関しては疑問が残ります。
497	障害福祉の理解が深められていないため
498	何をどう研究するのかよくわからない。民間では見きれなかった重度の方々を受け入れる施設であったと思うが、地域で生活できるだけの資源が十分とは言えないのにゴールをどう設定するのかもよくわからない。
499	予算に関わることなどは、独法化することで、県直営より柔軟に対応できると思うが、そのことが科学的なアプローチにつながるのかは疑問である。 そもそも、県立県営の施設の役割として、研修や支援のモデル的となるような機能があったと思うが、そこに予算や人材を講じていなかったこともあるのではないか。そこは、どのように捉えているのか。 医療機関とは違い、採算性の面からも福祉は難しい部分があると思うので、病院機構のように運営できるのか、財源面でも不安がある。
500	データサイエンスによる福祉の研究と現場での人材育成がどれくらい結びつくのか、感覚的にしっくりこない。
501	科学的根拠に基づく支援、というものの具体的なものが何なのかがまだ分からなかったため。
502	説明を伺い理解できた点と説明が難しいと感じる点がありました。
503	これまでの経過や県として目指したいと考えている方向性については、理解しました。ただし、今回のメインピックスである「福祉を科学する」ことの内容が全く見えない中で、独法化がもたらす障がい福祉のあり方の変容といったことが本当に起こり得るのか、現段階では不確かだと思いました。
504	方向性はわかったが、具体的な支援現場がイメージできない
505	ビジョンや方向性は理解できたが、他の県や福祉の考え方を参考にしたのかなど気になりました。
506	福祉を科学する？具体的な内容、方法を聞かないと評価できない。 根本的な問題として、やる気や経験、知識云々より、その職員の人間性や性格、そして精神面が大事だと考えます。現場には思っているよりも遥かに多く、病んでいる方が存在しますし、病的な部分を抱えている方もいます。それらを定期的にチェックする機能が必要です。どんなに立派なプログラムを作ってもそれを扱う人次第です。
507	着地点を具体的に知りたい。
508	特になし
509	科学的に取り組む、生育史に基づいて対応する等の理念を持って職務にあたり、全体で共有して実践されるのであれば、ニーズに合った施設に変化する可能性があると感じた。
510	取り組みの考え方は理解しました。

設問6 園以外 まだ分からない

511	説明会資料では「中井改革の成果」をバラ色の成果のように喧伝していますが、パワハラ騒動や千葉県で起きた殺人事件といった都合の悪いことをスルーして美辞麗句を並べても全く説得力がありません。改革されている現場で本当はどんなことが起きているのでしょうか。新規入所を打ち切って、入所待機していた在宅ケースは今どういう生活をしているのでしょうか。そうしたケースに対して県は何も手立てを講じず、見殺しにしているのではないのでしょうか。「新しい」と言いますが、どこが新しいのか全くわかりません。エビデンスベースケアなんて、20年前から言われていることです。なぜそれが今もってできずにいるのかを検証すべきでしょう。また、エビデンスに基づく、と言うのであれば、なぜエビデンスを積み上げてきた国の強度行動障害事業をやめたのでしょうか。当時、障害サービス課の説明を聞きましたが、これも全く理解できない言い訳でしかありませんでした。強度行動障害事業を否定するエビデンスは示されませんでしたし、ましてや同事業を凌駕する新しい理論やエビデンスも示されませんでした。自閉症親の会からも苦言を呈されているのではないですか。厚労省の専門官も「神奈川県は大丈夫か」と言っていると仄聞します。ましてや、そもそも論になりますが、なぜ■■■■■なのか、その理由が最初から不明瞭です。「素晴らしい実践をしている民間」は他にもあります。なぜ■■■■■1本釣りだったのでしょうか。そこに論理的合理的な理由はあるのでしょうか。無いから示せないのですよね。 説明会の資料そのものが、「神奈川県が初めて」大好きな■■■■■の意に沿って作られたものだと一目でわかりました。未病、マグカル、脱炭素…すべて同じ絵面です。本当に障害福祉のことがわかっている方が作ったとは思えない。そういう意味では、説明会で話されたお二人にも大変失望しました。
512	新しい法人に興味はあるが、説明されたやり方で、地域移行が進むのかは疑問
513	業務内容や待遇について具体的に報告されていなかったため、今後、知りたい
514	うわさや、説明では実情は把握できないと考えるため。
515	福祉に科学を取り入れることへのイメージが難しかった。
516	理想や抽象的な思想が多い印象であったため。
517	理念としては理解できるものの、それを現場で具現化していくには、乗り越える困難が多数あると正直感じた。
518	福祉分野におけるEBMへの理解がまだ浅いため
519	まだ分からないため
520	行政法人が決まり、きちんと進んでいくのかまだ分からないため
521	必要な事だとは思いますが、今の仕事で精いっぱいなので、他の事に目を向けている余裕がないからです。
522	当事者の視点に立って支援を考えることは大切なことだとは思いますが、独立行政法人が運営することで解決するようなイメージを説明を聞いて描いたが、やはり運営主体を変えなければ、中井やまゆり園の施設運営を根本的に変えることはできないのだろうか？という思いがある。対外的にも運営主体が変わったほうが県民のイメージも良いかもしれない、とも思う。ただ、起こったことは許されることではないが、現場で働く職員の思いにも、もっと早く寄り添っても良かったのではないかという思いもある。
523	今後も適宜進捗状況を福祉職向けに発信していただきたい

設問 6 園以外 まだ分らない

524	今後の配属や派遣について、どのような職員が対象になるのか知りたいと思った。
525	独法設立の方針のアウトラインやその利点については理解することができたものの、科学的な研究について等、具体的な部分のイメージはまだ自分の中で確立できなかったため。
526	情報が十分整理できていないため
527	施設へ配属になったことが無いため今一つイメージがつかなかった
528	科学的知見を現場に還元していくためには、現場で働く職員にも科学的知見を知り、その有効性を理解していく必要がある。現場での業務に圧倒されず、研究に意識を向けるための余力を職員が持てるかどうかが重要であると思われるが、そのバランスの保ち方が不明であったため。
529	「福祉を科学する」と記載があるが、神奈川県が障害福祉のフロントランナーになると掲げながら、「福祉を科学する」職員はプロパー職員だとしたら、それは矛盾していることにならないか？もし民間施設の方が科学的な福祉を既に実践しているとしたら、神奈川県はフロントランナーになりえないのではないかと？という疑問があり、分からないと記載しました。
530	これから詰めるかと思いますが、具体的なことが想像できない。 何をするかわからないところに自分が行くとかリクルートする説明が浮かばない。 反省していくところは反省するが、新しいものを作っていく、魅力的なことをしていくとのアピールがばやけている。
531	科学的な福祉の研究の内容が不明確。
532	今までも地域移行等の動きはあったし、新しい障害福祉とは何なのかイメージがしにくかった
533	当事者目線の支援において日中活動の充実については良いが、やや漠然としている印象を受けた。現在、中井で勤務されている職員が[]からパワハラを受けているとのことだが、本当に大丈夫なのか不安である。
534	新しい取り組みについての説明は理解できました。
535	対人支援の場面において科学的な視点を取り入れることがどれほど有効なのかのイメージが湧きにくかった。また、今後の県立施設の取り組みというところで、なぜ地域移行が進むとされているかがあまり理解できず、現状この取り組みへの関心についてはどちらともいえないため。
536	新しい障害福祉の実現に向けた取組は良いと思うが、実際にどのような影響があるか分からないと思いました。
537	独立行政法人化して、職員が集まるのか。
538	新しい障害福祉の実現をするには、現段階では難しいと思う
539	現段階では、イメージがあまり湧かないため。
540	当事者目線に立った支援を実現するためのよい取り組みだと感じた。
541	説明会の内容では自分には理解できなかった。

設問6 園以外 まだ分からない

542	独立行政法人の概要やそれに向けたスケジュールは大枠は理解したが、肝心の支援の内容「科学的な福祉」が分からない。現在中井の取組は、もう既に1年前の研修で聞いた。これが科学的福祉、なのでしょうか。昔自分が入社したころにも地域移行に向けた取組が盛んであり、それとあまり変わりがないような気がします。このことではないですね？ 根拠に基づいた医療などの科学的アプローチ、患者の求めに応じたインフォームドチョイスについて等、具体的支援については、今後の説明会でお伝えいただくのでしょうか。実際に現場で働く職員が何をすればよいのか、解り易い内容をご提示いただきたく思います。
543	これまでも現在の中井やまゆり園において、様々な取り組みがされてきたと思います。その結果を踏まえて、何故県から切り離すのか、また実行可能なのかはやってみないとわからないので。
544	わからない。
545	利用者への虐待報道の渦中に中井やまゆり園に在籍、勤務していたので色々と複雑な気持ちです。
546	
547	新しい障害福祉の実現に向けた取組について進めていくにはたくさんの困難なことがあり大変そうだと感じたため。
548	具体性が低いと思いました
549	具体的なところが、まだよくわからない。
550	今回初めて説明を受けたところであり、まだ具体的なイメージを持つことができておりません。
551	まだわからないため。
552	研究、研修の仕組みを兼ね備えた機関というビジョンは魅力的に感じたが、家庭との両立を考えたとき、今の分野を変更することは考えていない為。
553	考え方は分かったが、どのように研究等をすすめていくのかイメージがつきにくい部分があるから。
554	現在、施設系で勤務していないため、計画はわかるが、具体的に進めるにあたり計画に賛同して進められるのが現時点ではわからない。
555	県の所管事業として障害以外の福祉も存在する中、福祉研究の対象を拡張していき、「福祉」全体を取り扱うか関心を持ったため。
556	何を言いたいのかよくわかりません。
557	理想論だなと感じた。家族が面倒をみれないと入所してくる現状と県立施設に入ったのに家に帰すことを目標に支援すると家族が難色を示してきていたため。
558	業務の内容が見えない
559	独立行政法人として運営するメリットが、今一つ分かりづらかった。具体的な支援の在り方についても、独法化する前に、もっと具体的な手立てが打てたのではないかと感じた。今ある問題を、ちゃんと協議・検証できる体制がつけられなかったのではないかと感じる。
560	法人の理念が理想的、かつ現実的なものであれば学びたいと思うが法人によりカラーがあるため今はまだ関心がもてない。

設問6 園以外 まだ分からない

561	やまゆり園内での取り組みは分かったが、地域生活移行をした後の、地域の事業所をどう支えていくのか。連携、合同研修・研究とあるが、それで地域の事業所が適切な人材を確保できるのか分からない。
562	現状の中井やまゆり園での新たな取組に対して、現場で働く職員の意見が反映されているとは思えない。理念だけでなく、現場で働いている職員の意見を汲み上げるシステムが必要である。
563	一回の説明で消化しきれなかったというのが正直なところ。アーカイブにより、説明を繰り返し視聴できるようにしていただけるとありがたいと思います。
564	「科学的」の具体的な中身がまだ良くわからないので。根拠をもった利用者支援ということとは思いました。
565	新たな取り組みが多く、もう少し成果や課題が見えてこないと分からない。
566	資料並びに、動画では県が進める新しい障害福祉の実現について、まだ検討中の部分が多くわからないことが多い。 ヒューマンサイエンスを用いた福祉、加賀に知見を用いた福祉支援の具体的なイメージがつかない。
567	今回の説明会のみで結論することはできない。
568	科学的な支援についての説明がわかりにくかった。
569	「科学的根拠に基づく支援」と「それを実践できる人材の育成」を実践し、福祉の創造を目指すことの重要性等理解しましたが、実際に見たり体験しないとわからないことも多いと思いました。

設問6 園職員 関心が無い

570	○以前聞いた内容と変化がなく、支援方法や園の方向性・どのように何をして人材はどう集めていくかなど、具体的な内容が欠けているため。
571	今回の説明会は詐欺だと思います。いいことしか説明をしていないと思います。 「正しく理解をしてほしい」ということでしたが、今回の説明だけでは正しく理解はできないと思います。 中井のパワハラの実状も報告すべきだったと思います。
572	改革や新しいことをする土台にとってもあると思えない為。まずは現場の意見をくみ取る姿勢やシステム作りが優先ではないでしょうか？パワハラや職員軽視をしている現状で新しいことを始めようとしてもうまくいかないと思います。
573	以前、説明を受けた時と特に違いがなかったため
574	科学の目を入れるということが、現在の利用者の方を実験台にしようとしているように感じてしまうため。
575	表面的な説明であり、本質的に職員を育成するスキルも熱意もない現場の状況に対して改善する意欲を感じ取れなかった。ため。
576	将来性が全くないから。
577	具体的な内容がなかった。
578	魅力を感じていない。
579	体力的に仕事の継続は無理と思え、新法人になる前に止めると思っている。
580	今年度大幅な職員の入れ替えがあった秋寮では、利用者の混乱を招き多くの利用者が落ち着かない状況になった。そのような中で、一年後にはまた大幅な職員があると思うと、また職員も利用者も大変な思いをすることが想像できる。
581	「全国に先駆けた取り組み」や「研究機関としての役割」について、個人的には、賛同できない。
582	現状を分かっていない・支援をしたこともない人間が話しているだけ。現場の支援に一週間でも入ってから言うべき。絵空事としか思わない。
583	知的障害分野に関心がない。
584	内容は理解したが、県が進める障害福祉に賛同できないため。
585	職員のスキルアップや研究機関との連携など、都では40年前の取り組み… 今や民間施設の方が、其々の施設の売り!!を持ち、その魅力で利用者自身や親も職員も集まって来るが、絵に描いた餅には誰も見向きもしない。

設問6 園以外 関心が無い

586	取り組んでいる内容については理解できたが関心を持てなかった。
587	今はそこまで関心がありません
588	福祉職として必要なスキルに障害分野もあるが、全体的に見ても神奈川県福祉職の専門性は衰えてきているように感じる。問題が起きたから対応している印象があり、児童分野の専門性について科学的な根拠に基づいて支援しなくては良いのかと感じたため。
589	関心がないため。
590	県立のままで、なぜできないのかと思います。
591	耳障りのよさそうな単語を並べた説明ではあったが、具体性と実行性が感じられない。今までの県の福祉職の仕事を全否定しておいて福祉職に出向しろとは虫が良すぎて悪い冗談にしか聞こえない。福祉職制度をやめ、施設もすべて閉じればいい。今の状況で将来本当に困るのはだれか考えてほしい。
592	今回の説明を聞いて魅力を感じなかったため。
593	児童分野で働きたいと考えているため
594	特に関心はありません
595	R7.4～他の自治体へ転職の為。
596	現段階では児童に関わる仕事をしたいという気持ちが強くあるため、そちらを優先したい。
597	関心を持てなかった
598	県が進めている新しい障害福祉の方針と中井やまゆり園で起っている事の乖離が大きく、具体的な施策の実現性について疑問を持つ。県の福祉職の人材がなく、中井やまゆり園の方へ人材を持っている中で、施策として実施する人材がいるのか疑問を持った。
599	自分の採用条件上施設に行く可能性が低いためあまり自分事として捉えられなかった。
600	新しい障害福祉と称してますが、何が新しいのか全くわかりませんでした。
601	人材育成の部分があまり理解できなかった。
602	実際に聞こえてくる中出の様子と今回の話では全くしっくりこない。
603	結局、悪いうみを出しきらないと、中々進んでいかないと感じたため。
604	新たな独立行政法人で働くことに魅力がない。
605	知的障害分野に関心がない。
606	現在の職務に専念したいと考えています。
607	退職までの年数が少ないので。
608	児童分野に配属されまだ年数がたっていないので、児童分野を学んでいきたい。 新しい障害福祉に関してば、理想と現実が離れていると感じる。
609	科学的な目を入れての支援というものがどういったアプローチになるのかわからない。
610	現実味があまり感じられなかったため
611	これまでの県の取組みにおいても、想いや個人の目に頼った支援だけではなかったのではないのか。評価が一方的に感じたため。
612	行ったことないためイメージがわからない
613	採用の広報に力を入れていくとありましたが、福祉職が大量に退職している中で中井町という環境に人材が集まるかは疑問を感じました。
614	施設系で働きたくないため

設問6 園以外 関心が無い

615	唐突感があり、現在の中井のようにお金と人を投入できるのだから、独立行政法人にする意図が、説明した以外にあるのでは。
616	県に入庁した福祉職が共感し、自分の力を発揮して目指したい視点になっているのか、現在の情報だけで判断が出来ないため、個人としては関心を持てなかった。 現在入庁してくる世代は、組織の指示通りに働くことを求めておらず、何を自己実現できるかを働くことを求めていると感じる。 取り組みに共感を得て、人材を確保したい点は改めて理解しましたが、中井やまゆり園に限ったことではなく、県が進めたい福祉行政が広く一般の県民感覚と一致し、共感を得られなければ、自分の人生の長い時間を掛けて県の福祉職として過ごしたいとは考えないのではないかと思う。
617	自分が興味を持っている福祉分野とは違うため
618	現在は児童分野で働いており、児童との関わりを仕事としたいため。
619	科学的な障害福祉支援というものが、誰が主導し、どのような方法で行われるのか、外部の方が参入するメリットは何か、などがわからないため。
620	着実に進めていってほしいです。
621	今後の展望をご説明いただいておりますが、現状（施設の状況や現場職員の意見等）が示されない中では関心は持てません。
622	科学的な福祉の研究の具体的な内容が分からない。どうやって中井の支援を改善していこうとしているのか、具体的なことが分からない。
623	現場職員の意見がどれだけ反映されるかもわからない。中井やまゆり園職員アンケートを見たが、管理職や上司、 XXXXXXXXXX からのパワハラがあるにも関わらず認めない環境で働きたいと思えない。
624	強度行動障害については、一定程度標準的な支援が構築され、それに基づき国の研修制度等が構築されている。また、全国的には、先駆的な団体の集まり、福祉だけでなく、医療と連携した法人、民間施設等が日々実践、勉強などの取組みされている。本県の流れ、 XXXXXXXXXX の人選等は、全国的な標準的支援や流れとは一致していない部分も多くあるように感じる。 新しい障害福祉という観点においては、強度行動障害以外にも、軽度知的、医療的ケア、精神、身体、難病もろもろ色々な分野があると思うが、それらについての説明がなく、障害福祉というより、知的障害に限定しているように感じる。 また、具体的な支援や研究等を学ぶのであれば、新たな法人ではなく、全国や海外の先駆的法人に派遣されたい。
625	もともと関心がないため。
626	利用者のことを本当に思っているか疑問です。
627	勝手にやってください。世間の目線を逸らすための「逃げ」「隠れ蓑」にしか感じられない。

設問 6 園以外 関心が無い

628	独立行政法人の意義についての説明のみで、中井やまゆり園改革の中で指摘されているパワハラ疑惑や地域の支援基盤整備の取組みの不足から生じたと思われる千葉県での障害者殺人事件についての検証が示されておらず、これから県がどのような障害福祉をすすめようとしているか判断ができない。独立行政法人設立したいがために理由を後付けしているとは思えず、そのことに時間を割くことが無駄に思える。
629	いまのところ転職する気持ちはないので、いやでもなんでも、異動するときはすると考えています。その場合、独法化するからといって、自分に関係することは、大きくは変わらないのではと思っているためです。 確定申告が必要な点は面倒だと思っています。仮に異動になったら、異動した年と異動する年で二度必要ということですよね・・・。

設問6 園職員 その他

630	この3年間、あまりにも[]の対応が他人事であり、責任感がなさ過ぎたため、下で働いた いと思えなかった。すべて現場のせいにしており、[]は[]や[]のせいにして、[] []や[]は現場のせいにして、だれが責任をとるのかまったくわからなかった。
631	中井で働いているので、何となく聞いたことがあったり、資料で見たことがある内容が多い ように感じていました。
632	進捗状況について、様々な事が具体的に進んでいない中で説明会を開催されても、いまいち イメージが湧かない。その様な中で「もっと関心を持って欲しい」と言われても、何とも言 えない気持ちになる。
633	[]への付度はそろそろ終わりにしてもいいのではないのでしょうか。多くの人が彼 らの尊大な態度や旧態依然の考え方に違和感をおぼえています。なぜこの多様性を尊重する 時代に「みんな一緒に」などと言い出すのでしょうか。利用者の方々の幸福とは園にとって都 合のいい方向にあるのでしょうか。我々が築いてきた大事なものをぶち壊してまで取り入れ る価値はありません。はやく目を覚ましましょう。
634	実際に現場で働いいますが、これだけの障害分野の人員不足の現状を考えても不安を感じて います。
635	具体的なプランがないのでわからない。どのような具体的な取り組みをどれくらいの職員規 模で具体的にどのような結果を求めるのか、実現可能だと思われる理由が示されないとなん とも言えない。
636	良いなと思う内容もあれば、現場からの声や思いが内容にはまったく含まれていないと感じ る残念感もあり、制度を作った人が支援すれば問題ないが、作った人は働く側のことも考え て作らないと結局は机上の空論で終わる気がする。
637	曖昧な方向性のみの提示で、具体的に内容が見えない。
638	「科学的な福祉の研究」について、どのように進めていくのか、イメージができない。現場 にしっかり還元できるような研究を進めてほしい。
639	以前からの説明から何も変化がないように感じた。現在様々な課題が上げられ園全体の雰囲気 があまりよくない。その中であのような説明をされても全く現実味がない。
640	[]肝いりの独法に向けて、何が何でも実現化するために、都合のいい事ばかりを並べてい る印象であった。そのため、[]によるパワハラの件や、これまで本科や園の[] []が隠ぺい・改ざんしてきた事を、なるべく明るみに出さず、穏便に済ませようとする姿勢 が明確になった。園の職員によるアンケートも、都合の悪いことは「分からない」「調査 中」「詳しく把握していない」等と濁して、引き伸ばしていることが良く分かった。
641	何度か同じような説明を受けているが、「検討中」「調整中」ということが多く、理想はわ かるが、実際に進んでいくのか、何から取り組んでいくのか、具体的な施策が伝わってこな い。 研修を行うような内容だが、ローテーション勤務の上、人員も不足しているなか、実際に研 修を開催しても現場の職員が出席できないことが殆ど。それで研修に参加しない＝意識が低 いと言われるのはどうなのか。利用者支援をしないで且つ公休に研修に参加しろということ なのか？と思えてしまう。業務命令と自己研鑽は違う。興味があっても参加できないのが現 状。

設問6 園職員 その他

642	・新しいことをやりますよ感は強く感じるが、中井とその周辺だけをフォーカスして、地域に暮らす障がいを持つ県民が置いてけぼりにされている感を強く感じた。もっと県全域をフォローするべきではないか。入所者のみが恩恵を受ける感じがする。税金は公平に使われなければならないのでは？ ・独理法人にしなくても、融通を利かすようにルールを変えればいいのではないか。
643	施策は立派だが、本当に実現できるのか疑問に感じた。施策の実現に必要な人員増が図られなければ、職員のさらなる負担増となるのではないかと心配になった。
644	難しい
645	新しい障害福祉の実現に向けては勢いで進めるのではなく、丁寧に地に足をつけて進めるべき。パフォーマンス感が先行している。
646	・実際の地域のニーズ、特に重度の障害を持つ利用者や医療的ケアが必要な利用者のニーズを調べることなく、指定管理者をやめることによるコストダウンを図り、今までも資源が少なく苦んでいる地域の利用者・家族・支援者がさらに困る構図になっていると感じている。今回の説明会では、このことに関して一切の反省・振り返りが感じられなかった。中井やまゆり園短期入所者の死亡事件について、支援者に対して反省を求めるばかりで、その背景にある社会資源の少なさを考えない県の姿勢では、今後も県内で同様に親が子供に手をかけるような事件が起きても全く不思議でない。もし県立施設が絡んでいなかったら、このような事例に対して障害サービス課はどのように対応するつもりなのだろうか。なお、令和5年度に中井やまゆり園で行われた独立行政法人化の説明会時、障害サービス課職員に地域移行するには資源が足りないと質問があった際、障害サービス課は「空いているグループホームの活用をする」と返答している。死亡した中井やまゆり園短期入所者がグループホームの入居を断られた過程を鑑みた場合、この返答内容が地域の現状に即しているのか、非常に疑問である。このような返答をする人間が■■■■にいる状態では、障害サービス課が適切なニーズ把握をするかどうかすら信用できず、政策にも歪んだ作為が生じると考える。 ・知的障害者や自閉症スペクトラム障害の方に対する合理的配慮を地域に広めていこうとする視点に欠ける。本来、地域で生活するためには、障害がある方に対して必要な合理的な配慮があることによってさまざまな活動が可能になるはずだが、新しい障害福祉の実現に向けた取り組みにおいて、これらの配慮は全く伝わってこない。むしろ、マジョリティである定型発達と言われる人々の「当たり前」という感覚を、マイノリティである障害者に押し付けるような取り組みが、中井やまゆり園では■■■■の指示で行われていると感じている。これが新しい障害福祉の実現だということであれば、神奈川県障害福祉は著しく後退しており、絶望しか感じない。

設問6 園以外 その他

647	医療や心理、教育分野でエビデンスベースの支援や関わりが実践されている中で、ようやく福祉もその視点に立とうと動き出したように感じました。専門的な理論を背景とした支援に転換できるとよいと思います。
648	確かに支援には様々なスキルが必要。それぞれのスキルごとに優れた、スペシャリストを集めたら、良い支援が実践できるのでしょうか。 スペシャリストを育成することを否定しているわけではありませんが、強度行動障害支援者養成研修ベースのスキルを全員が持った上で、それぞれの得意な部分を持ち寄って、いかに良いチームを創るかということの方が大切なのではないかと考えています。
649	求められていることであると思います。
650	科学的根拠に基づく支援とそれを実践できる人材の育成ということの説明がありましたが、それ以外の柱はないのでしょうか。 科学的根拠に基づく支援というところは、具体的に何をイメージしているのかわかりませんでした（アセスメントの場面では、応用行動分析学をベースにしたアプローチなどを既に行っているのではないのでしょうか）。 科学的な～という点にフォーカスするのであれば、直接支援を行う福祉職以外に、県のデジタル人材にも声を掛けたりすることも考えられるのではないのでしょうか。 新しい障害福祉を実践していくのは、福祉職が中心になるのかもしれませんが、福祉職に求められているのは、直接支援の場面なのかもしれませんが、それ以外の職種の方にも門戸(?)を開くことが考えられないのか、と思いました。 また、法人の組織体制イメージが示されていましたが、これだけのセンター等を令和8年度に開設できるのか、疑問です。あくまでもイメージなので、というところかと思いますが、これだけのものを実現する資金と人材があり、かつ持続可能な独立行政法人の設立が可能なのか疑問があります（中井やまゆり園の運営だけで手一杯になるのではないか、という心配）。
651	理念は理解できるが、そのための具体的な目標、行動が今回の説明では全く分からない。
652	ビジョンとして聞いたが、実現に向けての具体的なプロセスが見えず、どのように導いていくのが全く分からない。現場と乖離した話としか受け止められなかった。
653	内部の事情が頭をよぎった
654	これまで、独法施設にいる間に昇格した例がない。独法化施設への派遣職員を冷遇する福祉部の姿勢を正す必要がある。
655	昨年兎相の職員がたくさん辞めていくのを耳にしました。新しい人が補充されることについて、退職するほどの過酷な労働環境は、どのようにお考えでしょうか。現在所属している保健所も、業務量が多く正直大変さがあります。今日のお話では、異動前提のお話かと思いましたが、正直なかなか承知はできないなと感じました。
656	県の取り組みやビジョンについて理解することが出来た、というのが感想です。

設問6 園以外 その他

657	①県福祉職～独法化スケジュールの詳細や業務負担度、将来的な見通しなどが具体的にないと「中間層」職員が集まらないと思います。 ②外部からの公募も同様です。求職者にとって「魅力のある法人」と思われなければ、人材不足時代に人は集まらないと思います。
658	あまり魅力を感じなかった。
659	中井やまゆり園で勤務したことはないが、これまで有資格者として、利用者の医療調整、環境調整を含め、個々の状況に合わせ対応してきたつもりだが、それらを全て否定されたように感じる説明であった。また、「科学的な福祉」が何を指すのか、具体性に欠けており、ただ過去の対応を否定した説明に過ぎないと感じた。
660	とても達成が困難なビジョンと思われ、不安に感じた。 報道されている、施設内での職員と[REDACTED]との問題等不信感がある中で、モチベーションを持って困難なミッションに取り組むことは可能であるのか。
661	今回の説明では、よくわからなかった。
662	本庁内で事前に概ね知り得ていた情報だったため、改めて方向性を確認できた。
663	利用者の皆さんがこれまでより充実して日々を過ごせるようになったこと、その取り組みを実現していることはとても素晴らしいと思います。 ただ、これまで環境改善や、利用者の背景を知った支援への取組を全く行っていなかったような説明には疑問がありました。
664	これまで障害者支援で行っていたこと ・強度行動障害があっても、QOLを考える ・問題行動や課題中心に支援を考えるのではなく、出来ていることを中心に良い行動を広げて、身体拘束をなくす 等してきたことについて、当たり前になってきていることを新たな取り組みにしていること
665	県が進めている「新しい障害福祉」の本質が何なのか理解しきれいていない。
666	関心というより、方向性のある程度理解できた。
667	地方独立行政法人の設立は良いと思うが、科学的根拠に基づく支援を実践できる人材の育成がうまくいくのか想像がつかない。現在、中井やまゆり園で働いている職員の年齢層を考えると、若手は少ないのではないかなと思う。ある程度、考え方が固まってしまっている年齢層を相手に育成がうまくいくのか疑問がある。
668	「科学的な福祉」の具体性が見えない。ビジョンはよいと思うが、そんなに素敵なら、なぜほかの県立施設を独法化しないのか、その理由が知りたい。そもそも大型施設をなくす方向に進まないのはなぜか？思い切ってすべての入所施設をなくし、地域生活支援に特化すべきと思う。
669	今後も施設の動向については注目したいと思った。
670	取り組みの説明はわかったが、効果や成果はこれからを見ないとわからないと思うから
671	現在取り組んでいる政策について理解が深まった。
672	説明内容は中井についてがメインで、本県の新しい障害福祉の実現については、具体的な対応について伝わら（ひびか）なかった。また、伝えられた限られた情報も腑に落ちるという感覚にはならなかった。

設問6 園以外 その他

673	科学的な根拠の基づいたというところがあまりイメージが持てなかった。 利用者個人個人の意思を尊重することや生活の幅を広げることの大切さは理解できるが、それも個人によるのではないか？利用者全員がそれを本当に望んでいるのか？
674	当事者目線の支援とされている中身で、上手くいっていない部分（外出時の一般人に対するトラブル）や、第3者からのハラスメントのような声が上がっていることを把握しています。 支援者も当事者であり、働き手を募る上で、支援で気を付けるべきことや、内部の人間関係について知っておくことは大切だと思うので、公表してもいいのかなと思います。公表しても良いような改革の進め方をするべきかと思ひます。
675	科学的研究とは？地域移行が進んでいるというが、かつてしらとり園が県直営だったとき（30年前です）、寮の取組として20名の入居者をグループホームと一般就労に結び付ける取組をすでに実践していました。 それとツールなどを用いた先駆的な取り組みを標榜していると聞き及んでいますが、企業の一般就労の定着に向けたツールとしてPRしている特定企業を中井やまゆりに同行させ、「最重度の入居者にも使える」と話しているとか。。。なぜそのような結論になるのか（それこそどのような客観的根拠をもって言っているのか）まったくもって理解できません。 特定の [] に怯え、周りからみれば利益誘導とも映る取組を強要すれば当然にして施設職員のモチベーションは下がるでしょう（これについては今までの中井やまゆり園の取組そのものを容認しているわけではありません）。 そしてこのような情報を得ている当該施設職員以外の福祉職が今後もこの [] 等と対等に渡り合える保証もなく自ら身を投じるのでしょうか？ 少なくとも私の立場で若手職員にいまの中井やまゆり園に身を投じろとはとても言えません。（現在県福祉職若手職員として勤務している者の中には何人か入庁を薦めた者がいますが、それを今となつては正直悔いている自分があります。） そしてまずやるべきことはショートステイの受入れや地域の要請にこたえることではないのですか？それこそ重度在宅障がい者のショートステイの受入れなどは終の棲家を求めているわけではないのでまさに喫緊の課題だと思います。
676	最初の配属先が中井やまゆり園でした。利用者様への視点を変えたことで笑顔が増えた、現在の支援により外に出てQOLがあがっているという報告を受けてとてもよいと感じました。ただ、私が勤めていた時も生活歴に着目することや背景にある生きづらさに着目した支援に重点を置いていました。しかし、支援に入ると外の情報が全く入ってこなかったり、虐待等を報告しても園として対応されなかったりと“組織”に大きな問題があったと感じています。今回の説明を受け、支援の方向性について共感し、興味を引く内容は多かったですが、働いていて一番の問題と感じていた組織体制について掘り下げられていなかったもので、残念に感じました。独法化ということでその“組織”の部分にテコ入れされる形となるので、いい方向には働くと推測しますが、県として向き合うべきところを丸投げしているような印象を受けました。

設問6 園以外 その他

677	以前も「新しい福祉」があり、それを実現できなかった現状があったのではないかと。今回の「新しい福祉」についてのスキームに反証する考察に至っては、利用者目線や利用者目線を実現する現場職員目線、現場職員と幹部職員の関係性、施設と地域事業所の現実・実情・事情もつぶさに検討しないと絵に書いた餅になるのではと懸念します。また、「科学的な福祉を研究」のキーワードについては、よく考えると意味不明ないし、本当に大事なことが何なのか分からない。「福祉」をどう定義しているのでしょうか？
678	特になし
679	カツモデル、業務マネジメントは、自分自身の研究分野や同じゼミ所属先輩の研究分野でもあるため、興味が引かれました。
680	実現できたとしたら、県の福祉行政及び福祉職の在り方に対して、有益な取組である可能性があると感じました。
681	これまでも研究などもやっていたが、既存のものはどのようなものか。これまでの取組との違いは。
682	抽象的な資料説明だったので、知的障がい入所施設の経験がない人には何の話か伝わらないと思った。
683	方向性は共感できた
684	方向性のみで具体的な内容に踏み込んでいない。
685	テーマが多すぎて話が追い付きません。
686	生育歴からの本人を理解するには、現場職員だけでは難しく、CWのような業務が必要なのではないかと感じた。
687	説明会の実施、ありがとうございました。 しかし、()も冒頭で述べていますが) これまでこの件については福祉職に対する説明がなく、報道でしかわかっていなかったため、今回の説明会については唐突感があり、また現場の実態を考えると、説明内容には乖離があるように感じられ、十分に受け止められません。
688	県からの退職を考える家族状況なので
689	津久井やまゆり園の事件に隠れて、中井やまゆり園の虐待の件数の多さや隠ぺい具合、原因の根深さを明らかにしていないと感じています。福祉職の人事の問題、10年以上中井で働き続け、新しい意見をつぶしてしまうような職員がまだいるのではないのでしょうか。正職員に限らずです。その他、身体拘束を始めとして、あまりにも時代から取り残されているにも関わらず、「民間では見られない利用者を見て」とずっと言い訳をし続け、それを許可していた障害福祉サービス課の身内への甘さなど。第三者委員から指摘をしっかり受けていたが、大きな組織がそれぞれの役割を果たさなかったことによる問題の深さをどれだけ自覚できているのか。そうでないと、県が先駆的な役割を果たすことはできないと思います。とはいえ、10年以上前の中井やまゆり園は、面白い研修を開催していたり役割を存在感があったと思います。県立施設の役割を担ってほしいと思います。
690	残された県職員としての期間で、障害福祉分野に従事することはないと考えているため、参考として受け止めた。
691	施設勤務時に体調不良になったため、話を聞くのもつらい

設問6 園以外 その他

692	今の人員規模で勤務時間内に研究までやるのは困難であり、研究するための人員を十分に確保しなければ有効な成果はでないと思います。
693	障害福祉に関する日本の社会課題とも言われるような課題に、組織として取り組んでいこうとすること、そのビジョンに共感できる部分はあった。ただし、解決が容易ではない課題に立ち向かおうとしていると感じている。その課題は、県という組織であっても、県の組織のみで努力しても解決できない可能性が高い課題であり、本人、その家族、支援者、関係機関、地域などの社会が何十年もかけて育っていかないと、ここで目指しているビジョンの実現にはつながっていきづらいと考える。それでも県としてできることを尽くすのであると思うが、政策的な要素が強いと、短期的に成果を求められ、解決が非常に困難な課題を前に、外部から注目され続けることで、担い手（特に支援の現場の職員）に強い葛藤が生じるのではないかと懸念する。
694	今現在 [] から助言を受けて支援に取り組んでいると思うが、何故その支援をするか根拠のある支援を求めることができるのか疑問。
695	パワポに福祉分野をヒューマンアプローチにとどまっている 孤立している当事者 と記載されており、今までの支援を全て否定することや、当事者への偏った見方について疑問に思いました。
696	「科学的な福祉の目」「科学的根拠に基づく支援」という部分が、本当に実現可能なのか疑問に思いました。科学というと、どうしても医療による支援のイメージが強いので、今まで同様に項目を設置してアセスメントをしても、判断する側の人間にバイアスがあると本当に正しい評価ができるのか疑問です。
697	取り組み自体は重要であり必要だと考える。
698	「津久井やまゆり園事件という大きな事件を背負った本県だからこそ科学的な支援に基づく支援とそれを実践できる人材の養成を全国に先がけて取り組む使命があり、地方独立行政法人はそうした大きな目標に向かって取り組む位置づけになっている」との説明がありました。意味がわかりません。根本的な問題からずれていませんか。
699	県立施設が民間に委託されていく中、中井やまゆり園を独法にしていく考え方について、少し理解が出来たが、独法内で先進的に福祉政策を担っていくという点がよくわからない。今まで、民間主体でサービス事業者が様々参入していて、県は後から独法を作って、先進的な役割が取れるのか疑問をもった。
700	「科学的な福祉」をどのように考えているか？しっかりとイメージして新法人につなげるべきでは？
701	5年、10年と先を見越していく必要を感じた。
702	関心があることは変わりません。大きく高まる、無くなることもありません。引き続き動向を注視していきたいと思います。

設問 8 園以外 新法人で働いてみたい

1	先駆的な取り組みとして、現場で働く職員は大変だと思うが、支援者としてのスキルアップには確実につながると思うので。
2	設問 6 と同じ。科学的見地についての勉強がしたいです。
3	現在の障害者支援において、従前の考え方に基づき、漫然と支援が行われている状況が、中井やまゆり園だけではなく、様々な施設にあると以前から考えている。かつての中井やまゆり園は、中核的な施設として、県内でも知られており、それを発信してきたこととそのように、障害の重い方への専門的な支援ができる施設として認知されてきた。 これからの障害福祉を形作るモデルとなり得る今回の取組について、中井やまゆり園を変えていくということ、そこから発信していくということは、とても意義がある事だと思うし、自身も現場で一員として取り組んでみたいと思う。
4	元々中井やまゆり園で働いてみたい希望はあり、今回の説明を聞く中では、今後、派遣の機会があることも分かり、今後の選択肢として考えたいと思った。
5	以前見学会に出席し、勤務の様子を拝見する貴重な経験をさせてもらった為
6	エビデンスベースの支援を作っていくという部分に面白さを感じており、働いてみたいという気持ちがあります。
7	障がい者の支援を経験していない為。
8	新法人の狙い、目的についてはとても魅力を感じ新法人での勤務について自身の中で検討できるものでした。ただ、理想が先行してしまわないか、取り組みを根付かせることができるのかなどが不安にも感じました。
9	利用者の立場でと言っているが、活動をやりたくない利用者もいました。無理にやらせてるようで嫌でした。自己満足にしか感じなかった。

設問 8 園職員 新法人への関心が高まった

10	内容としては働きたいが、家庭との両立が不規勤務では難しいため、勤務に融通が利くのであれば働きたい
11	今後の推移を見てみたい。
12	独立行政法人化する具体的な目的がわかり、関心は高まりました。今回の説明会では、園職員としては、既存の情報が多かったので、今後、新しく決定した内容について、情報を定期にお伝えいただけると幸いです。

設問 8 園以外 新法人への関心が高まった

13	福祉における科学的根拠において、心理系分野ができることがあると考えるので、チームを組んでやれるとよいと思います。どんなチームになるのか楽しみです。
14	全国に先駆けての取り組みであることは、とても関心がある。 また、民間と行政が協同して、支援するモデルのようになっていけるとよいと感じた。
15	・地方独立行政法人設立のメリット、現在の県の体制で難しいことは分かりました。 ・地方独立行政法人設立への関心は高まりましたが、現実的に中井やまゆり園が自宅から遠く、異動や派遣されて、早番など3交代制の寮職員では継続して勤務することは、難しいと思っています。
16	新法人での仕事の内容次第では、新法人で働くことも検討してみたいから。
17	自身の経験値などをあげられると感じたため。
18	・自分自身、法人、老人ホームの立ち上げを経験してきた、新しいものを誰かのために、福祉のために地域のために、未来のために作っていくことは、とても責任のある重要なことである分、やりがいもあるかと思いました。
19	地域共生社会を構築するにあたり、行政、特に都道府県のような広域行政が主導となってモデル事業を立ち上げ、社会に示していくことの意義は大きいと感じました。
20	関心は高まったが、実際に働くイメージは現状できていない。
21	県立施設の硬直化は感じていたので、関心が高まった。
22	今後具体的になっていく、職員構成や勤務体系等が気になりました。
23	自由裁量で、出来ることも増えると思う。県がどこまで手綱を引けるかは課題。中井やまゆりなど、とかげのしっぽ切りの印象を県民に与えないよう、今後の5年、10年が勝負。
24	神奈川県民の奉仕者として取り組む。
25	研究などEBを福祉に取り入れることに興味がわいた
26	新法人の設立が進むことによって、教育研究機関や医療機関等との地域連携がよりできるようになり、県全体の福祉の充実が図られるのではないかと感じたため。
27	人的資源や予算など、今までよりもタイムリーにフレキシブルに作り上げられる法人になるのかなと思っているため。
28	当面は県職員も参加しての新法人運営になると思うので、これからも関心を持ってみたい。
29	自分に出来るかは別にして興味は出てきた。
30	「科学的な福祉の研究」は、キャッチーなワードかと思うが、あいまいで、分かり難いところであった。濃淡はあるものの、今までも現場では科学的な視点をもった支援実践は行われてきただろうし、福祉実践＝非科学的な支援ではなかったはず。支援者は日々の介助・介護などを展開することで精いっぱいの日々であったことが問題でもあったのではないか。
31	どのような経歴やスキルを持った人材が集まるのか、興味がある。
32	利用者目線にたった取り組みであることがわかったからです。
33	今後、県直営の施設が2つになっていく中で、施設という当事者と最も近い立場で福祉支援を経験できる場として、新法人の存在は県福祉職の中で、非常に大きなものになっていくのではないかと感じた。現在、私自身、施設勤務をしており、施設で得られる経験の重要性を実感しているため、新法人の設立の意義を感じている。

設問8 園以外 新法人への関心が高まった

34	施設系への移動希望も視野に入れている中で、待遇や給与面は県職員と差がないことは理解できたが、具体的な勤務形態や今後の運営方法など詳しく知りたいと感じた。
35	新法人への興味が強くなった。
36	新法人でのメリットや組織体制、目的、スケジュール等具体的に練られていてわかりやすいため、利用者の意思が通るよう支援できる体制を整えてほしい。
37	以前に勤務していた頃と比較し、どのように変化があるかを知りたいと感じられた。
38	再度直接支援で働きたい気持ちがあったので、関心が高まった。
39	通過施設であるとの形を確実に実行していくことは、かなり苦労することになるのではないだろうか。
40	実際にどのようなものか、体験してみたいくなった。
41	設問6で記載した通り、福祉現場での人材不足の状況もある中で、当県が非常に困難な課題へのフロントランナーとして取り組むことはとても大きな意義があると思います。高齢分野でも同様の「悲鳴」が上がっていると思いますが、福祉分野が魅力ある職種であることが当県のこの取り組みから理解してもらえよう取り組みになるよう切に願っております。
42	実際に稼働した後、どのような変化が起きるかどうか気になる。
43	他機関との積極的な連携により、福祉が進んでいると感じられたため。
44	特に、科学的な視点について興味がある
45	県の福祉施設は硬直化していると考え。多様な要素を取り入れた施設経営で、発想の柔軟性を図ることが大切だと考える。
46	科学的根拠に基づき他機関と連携した支援の実践と、独立行政法人によるフレキシブルな福祉の実践に興味を持った。
47	利用者だけでなく、県職員の人材育成としても良い取り組みであると考えたため。
48	色々な機関と連携できるので。
49	設問6にも同じような内容を記載してしまいましたが、法人としての理念、支援方針、利用者主体としたことをわかりやすく提示する必要があるかと思います。 当たり前ですが利用者の声をしっかり聞き、利用者主体で支援にあたり、医療も受け、働き、当たり前の生活ができるように、していく必要があると感じます。 そのため、新しい発想が必要で、新たな福祉サービスを作るくらいの発想の転換が必要だと思います。 大きな中井は分割し、中井と他の地域の街中に分けることや、民間にも運営を委ねることや、中井以外の施設運営も行い、職員が異動や研修等を行えるようにする必要があります。ただ、利用者支援において、3年では、ようやく関係性ができたくらいの時期にあたる為、少なくとも5年はいないと、利用者、家族、地域との関係は築けないと考えます。今までの県立直営と違うところを全面に出さないと、何も変わっていないとなる気がします。
50	福祉職の異動先が少なくなってきた中で、新たな視点や視座を得られると思い、自身の成長のため法人への派遣で様々なことを学びたいと感じています。 もちろん、利用者支援を中心とした施設での学びも大切にしたいと思っています。
51	新たな支援体制の構築の推進に期待するとともに、今後の自身のキャリア形成の参考にしていきたいと思った。

設問８ 園以外 新法人への関心が高まった

52	地域生活移行にあたり、一体で運営していくイメージということであり、変革期であることを理解したため関心が高まってきた。
53	働くとなると、自宅との距離の問題があり、家庭との両立ができるかももう少し詳細がわからないと判断が難しいと感じる。
54	独法になることで、フレキシブルな動きにつながると感じるから。
55	当事者目線の取り組みとしてとても関心をもち、実際の支援を見て学びたいと思いました。
56	理念に沿った法人が、現実的にどのように具体化されるのか興味を持った。
57	福祉職としてスキルアップしていくために施設経験が有効なことは、多くの経験者が感じていることだと思います。独立行政法人への派遣はその機会になると思いますが、その後、入庁してくる若い人たちへの経験の場が減っていくことを危惧します。独立行政法人化が完全に進んだ後も、積極的に人事交流を図る等、県職員の育成のこともよく盛り込んでいただけると良いと思います。
58	以前働いていたことがあります、状況がかなり変わっているなと思い、関心が高まりました。
59	利用者の地域生活移行等に向けて、体験し易い環境になり、丁寧な意思決定ができる可能性が高いから。
60	研究や人材育成に関して興味があるが、詳細がまだ分からないため、理解を深められると良いと思った。
61	県全体で施設入所者を支えていくことへの意識が向かっていくことが分かったから。
62	虐待のない施設、利用者が自己の力を発揮し、人生を楽しめるような環境づくりに興味がある。新法人には、「ともに生きる神奈川県モデル」となる施設を創設していくことが求められるのではないかと。AI活用は職員だけではなく、利用者も活用し様々な経験から生活を充実させる活用の仕方があれば素敵だと思う。
63	柔軟な人事制度の実施で、より良い人材を確保すること、大学、医療機関、企業などの機関と連携をして、良い法人を目指すと聞いて興味を持ったから。
64	転職までは今の時点で考えられませんが、派遣で携わるのは良い経験になりそうで興味があります。

設問8 園職員 もう少し説明を聞きたい

65	問6同様
66	新法人での職員の処遇について、県職に準ずるということ以外わからなかった。どこの大学と連携して障害者支援のどんな研究をするのかもわからない。連携する大学との立場の違い(大学と新法人は対等の立場なのか？大学側から研究のために支援方法などの指示を受けなければならぬのか？等)も分からない。
67	具体的な例に乏しい部分も多くあるため。
68	まだ不明な点があるため
69	設問6に記載したような、わからない部分もあるので詳しい説明を聞きたいと思いました
70	利用者さんとのこれまでの関わりがありますので、今後とも尽力していとは思いますが、ただし、独法化職員となることには、躊躇されるものです。福祉職として、神奈川県で働きたいと思っているのかもしれませんが、 今後については、人生設計や家庭・経済状況等々の事情もありますので、決めかねているところでは。
71	具体的な条件等の提示がないため検討することが困難。
72	どれくらいのスピードで法人職員が確保できるが未定であるので、先行きに不安を覚える。
73	上記設問6に記載の通り、まだわからないことが多いため
74	雇用形態について知りたい。
75	具体的な組織体制についてお聞きしたい
76	独法での利用者の動き等。
77	プロパー職員が何割の割合か不明だが集まるのか心配である。
78	まだ 分からない事が多いので、詳細をもっと聞かせて欲しい。
79	今後、さらに具体的になってくるとと思いますが、今後も定期的に内容の説明を聞かせていた だきたいです。
80	中井やまゆり園を独立行政法人化して、福祉を変えていくという考えは、関心があります。研究や人材育成によって、福祉の人材を高めていくという取組は、神奈川県福祉で未来にも繋がっていくと考えるからです。
81	児童養護施設勤務経験はあるが、既に20年以上前であること、今後神奈川県福祉を携わるにあたり、幅広い視野で業務にあたりたいと感じたが、もう少し説明は聞きたいと考える。

設問8 園以外 もう少し説明を聞きたい

82	福祉職の中でも、様々な職種があるため、それぞれどのような役割で働くことが出来るのか、よし詳しくお話が聞きたいと思いました。
83	本件について、関心を持てたので、実際に派遣となった際にどのような働き方になるのか等に興味を持つことができました。
84	今の自分の専門性がどのように活かせるか詳しく知りたいと思ったからです。自分の専門性を活かしながら、新しい試みにも挑戦していきたいです。
85	研究や知見の蓄積がどのような形で支援の現場に取り入れ活用されるのか、具体的にどのようなアウトカムが得られるか十分にイメージできなかったため。
86	新たな取り組みで良いと思うが、具体的にどのようにすすめていけばいいのか自身の中でまだイメージができないため。
87	障害福祉の取り組みについて学びたいため。
88	プロパー職員との共同で働く時の状況について（会議、指示系統など）
89	キャリアプランを考えたとき、どのような時期にどのような過程で異動になるのかいまいち想像がつかなかった。
90	実際に職員として勤務する際のポジションや、どのような条件で働くことになり、何ができるのか、具体的な内容を知りたいと思いました。
91	位置づけ、派遣について再度詳しい説明が聞きたいと感じた。
92	多くの外部機関との連携を想定している点は良いのではないかと思います。
93	法人内の人員配置を詳しく知りたい。
94	全国を対象に人材を募ることによって、どのような専門性が高い方々を採用されるのか等まだわからないことは多いように感じました。
95	「福祉機構」と名乗るのであれば児童や高齢者も対象に含めなければ、「神奈川の福祉は障害者だけを大切にしている」という印象を与えかねないのではないのでしょうか。 また法人の目的が障害者福祉推進条例に基づいているにもかかわらず、障害の定義とされている身体障害と精神障害を含めていないと思われ、知的障害のみをターゲットとしてみるならば「知的障害福祉機構」など、知的障害者をメインに研究を行う法人であると名称をわかりやすくする必要があると思う。
96	県の目的を達成する法人というところで指定管理との違いがあることから、県の福祉職であることと方向性は同じなのかなと思いました。
97	心理職が新法人への派遣の可能性があるので気になりました。
98	新しい障害福祉の実現に向けて、現場で最前線で働くというのは少し興味があります。ただ、現に中井やまゆり園にいる職員は、今までとは違う支援の取組みを行う中で葛藤もあるでしょうし、どのように受け止めているのか気になると感じました。
99	派遣職員の割合と待遇について少し分からない事があります。
100	重大なことが起きてしまったことや立地等を考えると、スケジュール通りに独法化が進むとは思えない。職員構成も設立当初と中長期の大まかなグラフしかなく、具体的な年数が分からない。R7年度の選考はどの程度を見込んでいるのかも知りたかった。
101	現段階での情報であり、随時情報を確認したいため。
102	新法人でどのような支援を行おうと思っているのか具体的に聞きたかった。

設問 8 園以外 もう少し説明を聞きたい

103	まだまだイメージが湧かない
104	県の取り組みと現場の状況が合っているのか疑問です。
	今回の説明を、中井やまゆり園で勤務する福祉職がどのように感じ、現実との調律が取れているのかを知りたい。理想はイメージしなければ始まらないが、解離していれば現場のエネルギー低下に繋がると思われる。
105	派遣勤務への興味はあるが、交通の不便さも懸念点である。
	新法人でメリットが多く挙げられましたが、独立行政法人にすることでのデメリットが知り
106	たいと思いました。
107	検討中の内容もあるので、決まり次第、説明を聞きたいと思います。
	実際の働いている様子であったり、リアルの現場の話を聞かないことには分からないかなと
108	感じました。
109	設問 6 の回答と同じです
	県からの派遣という形で経験できるのは魅力的だと思いますが、事務的な手続きやプロパー職員との違いなど、細かなところはもう少し説明を聞きたいです。また、県直営の施設で科学的根拠に基づく支援を実践する障壁となっているのはどういった点なのかも気になりました。
110	た。
	中井やまゆり園での生活支援に限らず、一体運営するグループホーム等の地域の社会資源との連携等、地域移行のコーディネート全体に県の派遣職員が関われるか気になります。 地域移行の体験や定着の取り組みにおいては、生活支援との片手間ではなく、各利用者と柔軟かつ伴走的に動ける専任職員も必要かと思うので、それを実現できるだけの人員配置が
111	求められると感じます。
	実際に施設内を見学してみないと、働きたい気持ちにはならないので、もう少し説明や実際
112	に見学をしてみたいと思った。
113	スケールメリットの高い仕事内容だと思います。
	大学等の研究機関との連携も必須であると思うが、県職員として県の発展に向けた研究に携わることができるような環境を整える、県職員のバックグラウンドも考慮した上で希望した異動先に異動できるよう調整が必要だと思う。福祉領域においては現場での多忙さにより、実務をこなしていくことだけで限界に達していると思う。科学的な視点を取り入れた業務改
114	善にも期待している。
	まだ、大枠の計画段階でおそらく整理されてきていると思われますが、もう少し具体的なイ
115	メージが持てると思いや考えが出てくるように思いました
116	もう少し情報をいただきたい
	新法人での業務内容にどのようなものがあるのか詳細に知りたい。例えば発達障害者支援セ
117	ンターの業務も引き継がれるのか、など。
118	設問 6 と同じ回答で理由になります。
	説明を受けても、実際にどのような組織になるのか、自分がどのように関与していくべきな
119	のか、まだイメージは湧かない。
	新法人への興味はあるが、生活の支援ではなく、研究や人材育成の分野で働くのが面白そう
120	だなと思うのでどのような内容なのか、どのような方法なのかを知りたいと思った。

設問8 園以外 もう少し説明を聞きたい

121	新法人が実現していけるのであれば利用者にとって良い影響を及ぼす部分と新法人のやり方に職員側が固執し、利用者目線ではなく利用者を誘導するような支援にもなりかねないため十分に検討をしていく必要があると思います。
122	組織作り及び人材育成をする側の職員の資質、能力が相当問われるように感じた。また、研究機関であるため、研究論文の執筆や発表等、施設業務以外のことも求められるのだから、スキル向上していく人もいれば、派遣されても難しい人もいると思う。どのように派遣対象者を選定するのか気になる。
123	上記の通りで、当事者意識をもって説明は聞いたものの、これから検討する内容が多かったのももう少し説明を聞いてみたいと思いました。
124	地方独立行政法人として、どのように地域と連携しながら運営を行っていくのかももう少し詳しく知りたいです。
125	・ 県福祉職が異動対象となる独立行政法人の職種や募集人数が不明確に感じました。県福祉職の異動で機構本部経営企画室職（経営企画や広報等）につける可能性はあるのでしょうか。それとも県福祉職は中井やまゆり園の現業職を想定しているのでしょうか。 ・ 機構本部は県内のどの地域に設置されるのでしょうか。
126	今後のキャリアを考えるうえでの検討材料として、もう少し説明をうかがいたいと思いました。
127	施設で働いてはいるが、新法人で働くというところまでゆとりがありません。また機会があれば理解を深めてみたいと思います。
128	今回の説明では、心理司として役立てる点がどこにあるのか、具体的にイメージできなかったため。
129	勤務・給与体系の詳細を知りたい。
130	新法人でのプロパー職員と県職員の立場の相違などが有無について
131	派遣人数、ジョブローテーションへの影響、勤務地、求められるミッション等、具体的な説明を受けていないため、まだイメージが湧きません。
132	県職員として派遣されたとしても、独法の方と分け隔てなく働くことができるのか、人間関係や体制等、現場で働く際の具体的なところがイメージできないため。人員体制の割合についての説明はあったが、もう少し具体的な話が聞きたい。
133	県の福祉職として理解しておくべきものであるため、今後も設立に向けた動きについて説明を聞き、理解していきたいと考える。
134	民間で働けるめったにない機会なので、もっと詳しく聞きたいと思った。 県からの派遣で残れる人数とかいろいろと。
135	新法人に対して、人材が集まるか不安である。
136	障害福祉に限らず、という話もあったので、福祉業界全についての研究、人材育成を掲げていくということであれば、大学院に通わずにそうしたことができるのであれば、魅力は出ると感じた。
137	重度の自閉症、知的障害者の利用者様は混乱せずに過ごせているのだろうか気になるため。
138	新法人の役割や大まかな働きについて学ぶことが出来た。法人での具体的な業務について知りたいと思った。

設問 8 園以外 もう少し説明を聞きたい

139	限られた時間の中での説明の為、理解の為にはもう少し時間が必要だと思ったため。
140	動き出してみないと具体的なところがわからない為。
141	障害福祉分野での直接支援経験がないため、勤まるのかどうかの不安が先行してしまいま す。

設問 8 園職員 まだ分からない

142	もう少しいろいろと決まってから検討したい。
143	もう少し具体的な法人の体制や運営について教えて欲しい。安心して働ける職場をどう提供してもらえるかが大切。
144	給与や労働条件等の詳細を知った後に判断したい。
145	新法人は魅力的だが、新しい体制になってそれについていけるのか不安なことや、複数分野と連携していくために何をしていくのかが不明なためまだわからないと回答しました。
146	言っていることが難しい
147	来年度で となり、定年が63歳までとなる状況の中で、最後のキャリアをどう勤めていくか、もう少し考えたい。
148	ビジョン以外、明らかになっていないので、何とも答えようがない。
149	新法人を作る前に、現在の のパワハラ問題はどうするのでしょうか？ご存じの通り、ほとんどの現場職員は のパワハラを恐れています。萎縮しています。そんな恐ろしい がいるだろう職場に誰も行きたがらないでしょう。「生育歴から本人を理解し共感する」と言われますが、パワハラをいくら訴えても無視して、放任している人たちが、そんなことを行っても、ほとんどの職員は理解も共感もできないでしょう。「自分たちの人権侵害が無視されて何が人権重視なのでしょう？」と多くの職員は思っていると思います。新聞が報道し、議員が追及するから、パワハラについて、しかたなく説明し、言い訳しているように見えます。それも の「現場が命を大切にしないから、 が強く言った」という嘘をなぞっているように見えます。パワハラの原因は現場の悪さにあるのですか？このまま、パワハラに関して人のうわさも消えて、風化して、無かったことにすることを狙っているのではないかとされます。それで予定通り話を進めたいと思っておられる。この説明会を聞いてそう思いました。 昨年早期退職が20名。その事実が職員の本音です。「人を大切にしない職場ではやっていけない」ということです。 現状、新法人に行かざるを得ない状況にいる職員は「行きたくない。貧乏くじをひかされた」と思っていると推測します。
150	福祉科学研究や人材育成の取り組みについて、具体的に示していただきたい。 今回示されたビジョンを実現するための具体的な事業などが未だに不透明であると感じるため、新法人の評価については判断をしかねる。
151	理想はとてもいいと思うが職員を置いてきぼりにはしないでほしい。
152	現在現場なので次は別の職務につきたいから
153	イメージがわからない
154	説明ではデメリットの話は無かったので、そこが気になる場所である。変わることは良いことであるが、いったい何が変わるのか、具体的に示して欲しい。例えば、勤務環境や業務内容を具体的に教えて欲しい。建物は変わるのか、働く人達はどの程度のリテラシーを持ってプロパー職員として採用されるのか、中井にいる利用者さんはいったいどうなるのか、本当にアウトラインばかりで見えてこない部分が殆どである。
155	新法人でも県機関勤務でもどちらでもよいから。
156	どのような人員体制になるのかなど、具体的なビジョンが見えるまでは何とも言えません。

設問 8 園職員 まだ分からない

157	今回の説明会のみで結論づけることはできない。
158	なし
159	具体的な労働条件などが聞けていないので、今後それを教えていただきたいです。
160	現実的にどうなっていくのか、スムーズに進めることができるのか、不安も感じます。
161	色々な業務を経験したいと思うから。
162	関心がない訳ではないが、働きたいという気持ちまでいかないです。
163	自分が新法人に求められる人材か分からないため
164	雇用形態や時間を聞きたい
165	想定していることは立派だが、それが可能なのか疑問に思う。令和5年度の中井山百合園の運営を見て、不信感しかありません。
166	新法人にあたって、職員不足が心配される。現在でも職員の離職などにより、人手不足の状態である。新法人にあたって、利用者の人数は変わらず職員数が減少した場合はどのような働き方を考えているのか？資料では多くの職種の方々が関わり支援を送るが実際の現場は支援担当職員に丸投げになるのか？
167	具体的なイメージが湧かない。
168	全国から優秀な人材を集めて、県が進めている新しい取組を実現してほしい。
169	プロパー職員として採用された後のポジションについてはどれほどまで希望を反映してくれるのかを知りたい。
170	・利用者支援に関して現行の体制が継続されるのかどうか不明瞭な点。 ・多くの点で未決定で不明瞭なことが多いこと。
171	現状では一人一人の支援の中で様々な意見、記録やご家族の思いを聞きながら、意思決定支援を中心に支援するというよりも、こうあるべきという一部の方の強い意見に沿うように支援が進んでいるよう感じることもあり、新法人になった際にはそれがより強くなるのではないかと懸念している。
172	しらとり園、愛名やまゆり園の民営化を見てきましたが、委託当初は、家族も含め喜んでいましたが、年数がたち、様々な問題を起こしていると考えます。その再評価を行ってから独法科を行うべきだと思います。

設問 8 園以外 まだ分からない

173	正直、今回の説明だけでは勤務するイメージがわからないため。
174	他の福祉分野での仕事を希望しています。
175	3年以内の派遣、短ければ1～2年でも戻る可能性があるというところで、県職員への意識付けがどこまでできるのか、まだ未知数に感じました。
176	新法人として心機一転しよりよい施設づくりを目指していることがわかった。虐待等人権を侵害するような行為は決して許されるものではないが、虐待等をせざるを得なかった施設職員の心身状態を考えると利用者の健康だけでなく、風通しの良い職場づくりやライフワークバランスの徹底をし職員も心身ともに健康である必要があると感じた。
177	障害児支援(成人ではなく児童の支援)を行いたい但し独立行政法人を設立した際に児童の分野に関わることはできるのか。
178	独立法人化のメリットについての資料はあったが、デメリットについての資料が無かった。メリット・デメリットの両面を伝えないと、聴く側としてはリスクが大きいのではないかと不安な心理になると思います。
179	具体的な職務内容をまだ理解できていないため。
180	利用者によりよい支援をおこなうためには、職員側も働きやすい環境であったり、働きたいと思えるものである必要があると考えるため。
181	理念は承知したが、実際新法人になることで職員体制は確保でき、利用者支援につながるのか心配です。
182	自身のキャリア形成と照らし合わせた際、関心はあるものの派遣として就業するかは迷う。キャリアマップ案は参考になった。
183	県の責務なのであれば、県の事業でやるべきなのでは？と感じたものの、県の規模で、のぞみの園のような体制整備を組めるかどうか現段階ではふと明に感じ、わからないの解答を選択した。。また手厚い支援が利用者に行えるような人事配置、予算確保、環境整備が相当程度覚悟が必要な事業であると思った
184	や のパワハラ等悪い噂、新聞記事等の情報にしか触れていない。独法の理事等幹部について、知事が任命するのであれば、現在の 等が就く可能性も十分に考えられる。そのため、今般報道等があった内容について、事実としてどういった出来事があり、それに対しての当事者の考えや対応の説明が欲しい。第三者の「なかった」という言葉だけではエビデンスに欠ける。
185	視聴前に期待していた、現状の課題（職場環境、職員の障害者支援の在り方への考え方など）に対して、新法人に移行することで、どのような解決を目指しているのかについて、あまり触れられてないように感じ、不安が残った。
186	変則勤務が予想されるため、家庭と両立できるかが不安。
187	今の段階では待遇や賃金が不明なのでまだわからない
188	福祉系の法人の設立は初めてとの説明だったが、設問5と同様、直営ではできず新法人では具体的に実現可能なことが何なのか、今回の説明ではまだ十分に理解できなかった。
189	中井やまゆり園の のハラスメント問題がある中で、新法人に移行後も 現 の関与が考えられるため。

設問 8 園以外 まだ分からない

190	キャリアが生かされず、寮職員として働き、研究発表。それを繰り返すだけの職員にはなりたくない。
191	独立行政法人のメリットをまだよく理解できていない。科学的な福祉の研究の具体的な内容や人材育成の具体的な方法、人員体制などがわからないため。
192	組織の構成等は理解したつもりです。まだまだ漠然とした感じでイメージは具体には持てません。
193	新法人の概要がよくわからない。
194	施設での勤務経験がないこと、新法人であるので働いている人の声が聞けないことなどから、まだ分からないと感じます。
195	科学的支援のイメージがわからないため何とも言えない。
196	説明にもありました、臨機応変な動きは期待できると思いましたが、人材不足が叫ばれている中、法人の考えに共感した職員が集まるのかは心配です。職員を大切にしていくことは重要だと思います。
197	病院機構の前例があるので、真新しい印象はない。病院が独法化しているなかで、福祉だけを切り離して、どのような効果が関わる人にあるのかが、あまり見えてこない。
198	設問 6 と同じ
199	「新法人は、中井やまゆり園だけのための設立ではない」との説明があったが、研究部門や人材育成部門に注力できる体制が取れるかわからないから。
200	大枠のイメージを持つことはできたが、さらに具体的な説明が必要だと思う。
201	具体的な新法人の話がまだないためわからない。
202	中井やまゆり園は新法人内の一部とのことですが、新法人への派遣の場合、派遣されるのは法人内の支援担当としての中井やまゆり園だけなのでしょう。それとも相談担当、連携担当等の様々な部署に配置される可能性もあるのでしょうか。
203	相談系での勤務経験が長いから
204	県として目指すべき支援を経験したいという気持ちもありますが、まだ分かりません。
205	今後どういう勤務になっていくのかについては、まだイメージがわからない。
206	中途入庁で施設経験がないため、イメージがわからない。
207	関心はありますが、ワークライフバランスを考えると通勤条件など支障があります。
208	・福祉の中でも心理系の人の派遣先があるのかわからなかったため ・エースが行っている事業はどこに引き継がれるのかわからなかったため
209	実際に配属された際の具体的な働き方が見えなかった。
210	自身が働いているイメージがつかなかった
211	説明を聞きましたが、新法人が実際に運営されたら、どのように運営されるか確かめたいです。
212	第1回目の説明会だけで新法人で働きたいという材料が特になかったから。また、中井やまゆり園の騒動があってから、個人的には当施設にネガティブな印象を持ってしまっている。
213	現在の所属を継続したい。
214	新法人の取り組みなどはわかったが、人材育成に関しては、人材を大切に、フォローする仕組みを作っていく必要があるのではないかと感じました。

設問 8 園以外 まだ分からない

215	現在、中井やまゆり園で働いている職員の話を見ると、働いてみたいとは思わず、今回の説明を聞いても現場の意見は反映されているのか理想が先行してないか…と思ったので働きたいとは思わなかった。
216	話は理解したが、実際の法人のイメージはやはりまだ実態がなかったり、どのように機能していくのか等わきづらかった。
217	自らがすぐに派遣されることはないのではないかと考え、様子をみたいと思った。
218	既に当該職務地に配属されていた場合、引き継ぎ要員として職務に取り組むが、他職務地に配属されているため異動したいとはあまり思わない。
219	私自身が勉強不足のため、もっと知りたいし、もっと具体的に話を聞きたいと感じた。今現在、働いている職員の話を知りたいと感じた。
220	新しさを感じなかった。何か突出した取り組み、魅力を感じられなかった。
221	現在の中井やまゆり園での新しい障がい福祉の取り組みは、これまでも報告会の実施等を通して広報されてきたこともあり、県職員のみならず県民やその他福祉に関心のある国民には理解が広がってきており、一定の理解はしているつもりだが、新法人で具体的に取組んでいくこと等がより明らかになり、かつ自身のキャリアプランに新法人への派遣がどの程度の影響があるかが不透明であるため。
222	新法人設立について、初めて聞いたため、すぐに考えることは難しいと感じました。
223	まだ具体的なイメージがあまり持っていないからです。
224	まだ入庁して2年目であり、1か所目の職場であるため、他の勤務地や職種についてまで考えられないため。
225	体制の変化、取り組みの広さについて、私自身の理解が浅いところがあったので想像ができない部分も多く感じました。
226	実際に始まってみないとなんとも言えない。
227	所属している分野が大きく異なり、自分が描いているキャリアプランにも大きく関与しないため。
228	施設で働いた経験がこれまでに無いため。
229	経過を見たい。
230	新法人設置の理念等を理解することが出来ました。 人事についての設問であれば、転職する意向はありません。派遣について希望するかは現時点では回答のとおりです。
231	設問 6 と同じ
232	現在の中井やまゆり園で[]等からのパワハラとも思われる言動や、本庁と中井やまゆり園現場職員との意識の乖離などは、真偽は不明なものの職員間で流れる話は聞き及んでいる。職員一人ひとりを大切に思われていないような動きが引き継がれるようであれば、非常に悲しい。それらの様子は注視したい。

設問 8 園以外 まだ分からない

233	医療機関が県立から独立医療法人になった時に、医療機関に残った経験がある。 残って引継ぎをして業務を伝えていく役割を担ったのだが、業務引継ぎするだけだったはずが、意外にも新しい職員との対立があった。反省を含めて言えることは、ただ業務だけではなく、支援するためのスピリットを伝える、程よい距離の保ち方を伝えることが必要だったと思う。
234	具体的なイメージができていないので
235	新採から██████でお世話になってから、人事異動を経て今██████にいますが、次は相談業務系に行きたいと思っている。まだ中井に帰るのは早いと感じている。
236	他の選択肢もあるため
237	言っていることが十分に理解できていない。
238	まだ分からない。
239	給与について独立法人化後も、県の給与水準を引き継ぐとのことであったが、介護給付費としての収入が決まっているなかで、そのようなことが可能なのだろうか疑問に思う。
240	まだ新法人のイメージが付きづらく、気持ちが定まらないため。
241	県職員と県職員以外が混ざった環境はとても良いと思うが、実際のイメージが上手く膨らばなかったため現時点ではどちらともいえない。
242	難しかったため、2回目の説明会等で再度聞きたいと思いました。
243	まだ計画の段階であるため、現状ではまだわからない。
244	経験が浅く、思うような働きをする自身がない。
245	設問 6 回答と同様。
246	障害を持つ当事者目線での支援は良いと感じた。一方で、その施設で働く職員への待遇については気になる面があった。他害がある利用者とのかわりけで、職員が怪我をした場合の待遇は独法化で変化はあるのか気になった。また、独法化に伴い職員のメンタルケアの部分はどのように対応していくのか気になった。独法化に伴い、当事者へ向けた支援だけでなく、職員への対応も変化しないと、この先継続して同じことができるかは疑問に感じた。
247	現在の居住地と独法のできる立地の距離的課題や自分自身の健康上の理由などで勤務が可能なのか良く理解できないため
248	自身が働くかどうかの意識はまだ考えられていない
249	職員待遇改善について
250	どのような仕事内容になるかまだイメージが湧きづらいので。
251	どのような貢献ができるのかイメージがわからない
252	具体的なイメージがわからないため
253	イメージが湧かなかったため。
254	やはり、人材を含めた働く環境がどうなのかは気になります。他所属においても、人材不足や人材の質が低下している状況や、東京都への人材流失なども感じている中で、優秀な人材が残るのかは不安があります。施設勤務の経験もありますので、現状、積極的にいきたいかと言われると、微妙です。行けと言われるれば行かざるを得ませんが…。
255	現状把握し、これからの動向、理解を深め法人への関心を高めたい。

設問 8 園以外 まだ分らない

256	派遣されて、県以外の運営団体との交流により学ぶものは大きいのではないかと期待する。 ただし、自分が働きたいとまでは現時点では思っていない。
257	具体的な想像が出来ていないため
258	具体的な内容がわからないため
259	興味はあるが、新しいところでの勤務は不安を感じる。
260	まだ、分りません。
261	新法人についてもまだ理解しきれていないため。
262	課題の解決に向けての取り組みが重要
263	新法人は研究機能を持つことは理解できたが、説明の中では研究内容が中井やまゆり園の利用者支援(成人障害者の支援)に限定されているように感じたため、魅力を感じなかった。この設問もそうだが、率直に言って新法人への異動希望者募集のための説明会に思えた。
264	先進的な取り組みだが、新採職員で自分自身が行くべきかは判断しかねるため。
265	具体的な内容がまだよく分からないので判断しがたいです。
266	配置される職種等を踏まえて検討したいと思います。
267	研修は受講したが、法人への派遣勤務のイメージがまだあまり持てていないため。
268	日々の業務に追われ、事務仕事も超勤でこなしている中、具体的に考える時間が足りないため。
269	現在の中井やまゆり園の取組みとして紹介されていた、いのちを守る支援の徹底、園外活動の充実、生育歴から人生を理解するという3つの取組みは、取組として掲げるまでもなく、本来当然として行われることではないかと少し疑問に思った。 私は、施設勤務経験がないので、現場でそれらを行うことがどれほど難しいことなのかかわからない立場からの意見ではあるが、大学で学んだ福祉や国家試験の勉強の中では、福祉人材や支援方法として当然のこととして学んできた価値観だったので、それらができていなかった過去の環境に、正直驚いた。それが取組として掲げられていることに、価値観のギャップを感じ、その環境で働くことへの怖さがある。
270	どういうものか、まだはっきりと理解できていないため。
271	今回が初めての説明会だったこともあり、まだイメージが具体的に持てない部分があり、自分自身が十分な理解に至っていないように感じています。
272	人材育成の方針について具体的に聞きたい。派遣される職員へのメリットももうすこしわかるとよい。
273	障害福祉の理解が深められていないため
274	最近の中井のあまり好ましくない評判を聞くと、移行後はさらにそれが強まるのではないかと想像してしまいます。
275	場所が遠く具体的に異動は考えていないことや提示されていたような取り組みが本当に可能なのか現時点では分からないため。
276	入庁2年目であり、目の前の業務を覚えることで精いっぱいであり、今は現在の分野での業務を続けていきたいと考えているため。
277	新法人になって実際に業務を半年ほど経験しなければわからないと感じたため

設問 8 園以外 まだ分からない

278	県の直営ではなく、地方独立行政法人化する意義がまだよく分からなかった。独立行政法人化するメリットが説明されていたが、県の直営でそのメリットの実現ができないところが課題ではないかと感じた。
279	設問 6 同様
280	現時点では児童相談所での経験を積みたいと考えているため
281	当事者主体の支援が出来るのか、新法人が目指すものと現状との差があるように思う。
282	職員が定着できるよう、身分、給与の保障、研修の充実等は欠かせないことであると考えます。職員が疲労感で疲弊しないようなくみも大切であると思います。組織がきちんとしていて、一人一人の職員が認められ、安心して働けること、その人の良さを発揮できる職場でないと、利用者支援の向上は難しくなってしまう面があると感じます。
283	実際に実現可能なことなのか、今後への期待感ももつ反面、机上の空論となることも考えられる。
284	今まで福祉は職員の経験則に基づくものがほとんどだったため、新しい考え方があることは新鮮だった。
285	研究やEBMを用いた支援を行っていきたい趣旨は伝わったが、通常業務内で研究等を行うのは時間的な意味でも難しい印象を持ったため。
286	自分の経歴や勉強してきたことから、お役に立てれるかと感じている。
287	新法人が開始してからの動き、評価を今後聞いていきたい。
288	まだ分からない
289	まだ経験年数が浅いので、まずは今の仕事を覚えたいという気持ちが大きいからです。
290	中井やまゆり園での新法人の職員の取り組み、県職員が新たな支援に取り組んでいる姿をドキュメンタリーで見たが、間違いもあったかもしれないが、これまで最後の砦を支えていた現場の職員の思いを考えると、そんなにうまくいくことばかりではないのではないかとすべてに賛同できるとはいえない。
291	特になし
292	具体的な業務内容や派遣先での働き方に関する詳細が分からないため、何とも言えない。
293	県とは違った視線で施設運営を行ってほしいと思う
294	今後、 ため新法人への異動という話は縁遠く感じるため
295	現状では自身の関心のある職種とは違っているが、今後変わっていく可能性もあるため。
296	どういう形で県職員が独法化された組織で働くのかが想像できません。中井やまゆり園で働くのでしょうか？それとも、人材育成・地域づくりセンターで働くのでしょうか？福祉研究センターで働くのでしょうか？どこで働くにしてもどのような立ち位置なのか分からないです。
297	現時点では、勤務体制の具体的内容が不明なため。
298	設問6で答えたような疑問があるため。
299	今は児童の分野で学びたいことがあり、障害分野で新法人と新たな取り組みの場で働くイメージがもてなかったため。
300	説明会の内容では自分には理解ができなかったもので、感想の持ちようすらわかりませんでした。

設問 8 園以外 まだ分からない

301	自分が働いているイメージができないため。
302	中井やまゆり園に在園当時、自分なりに頑張って利用者支援に当たっていたため、複雑な気持ちです。
303	新採用職員の春から1年から5年で中井やまゆり園にいた経験があるため。
304	新法人の組織や役割が明確に固まっていない中では何とも言えない。
305	今回初めて説明を受けたところであり、まだ具体的なイメージを持つことができておりません。
306	施設系の勤務からかなり年数が経過していて、現在の状況の把握ができていないため。
307	中井やまゆり園の職員は一生懸命仕事に取り組んでいた。様々な事案があったことは事実ではあるが、県の、中井職員に対する扱いが酷かった。職員を守ろうという姿勢が全くなく、何事も職員を悪者扱いだ。[]のパワハラ発言ももみ消されたが、どうなったのだろう。[]の言いなり組織であれば絶対働きたくない。
308	新法人についての制度について理解がまだ出来ていないためしっかりと知りたいためです。
309	業務の量や研究の方の取り組みが見えない
310	具体的なイメージが持てないのでまだ答えられない。
311	職員の負担やサポートに関する説明がない。
312	具体的な取り組むべき業務内容が分からない。
313	問6と同じ
314	動き出したばかりのため、もう少し様子を見て、判断したい。
315	今回の説明会のみで結論することはできない。
316	独立行政法人の業務を経験できることはとても貴重であると考えますが、施設で働くという経験を積んでいるため、まずは他の様々な業務を経験してみたいと思うからです。

設問 8 園職員 新法人への関心がない

317	今働いている職員から、法人の態勢や法人職員の良い話を聞くことがなく、ある意味パワハラによる、ロボット的な働き方を求められるような話を聞く状態であり、そのような中で法人職員と働くことについて、働き甲斐を感じられないから。
318	知的障害の施設での業務経験がないため
319	将来性が全くない。
320	現在[]で、派遣職員で中井にすることになると[]中井にすることになる。他の施設に行って色々な経験をしたい。年休も使えず、常に人手不足で、利用者支援が勤務のほとんどでありながら、多くの事務作業があり、残業をして終わらせている。成育歴も、ちゃんと完成させられる環境を整えてほしかった。苦しい思いをこれ以上したくない。
321	「研究機関」といった内容が、自身の能力では、対応できない。
322	他に携わりたいと感じている業務があるため。
323	民間事業所に従事し、経験者採用で採用されたため、県の施設ではないところで働きたい。わざわざ転職した意味がなくなるので、すぐに新法人にと言われたら、さすがに違う職場を探す。

設問 8 園以外 新法人への関心がない

324	独立行政と謳ってはいるが、中井やまゆり園で働かないかという誘いを感じ、全国的
325	と言っても、県だけでは人が集まらない（欠員が出てしまう）と感じてしまった。
326	今はそこまで関心がありません
327	児童支援への興味が強いから。
328	目的とその周知、人材育成が具体的に見えない組織としかとらえられない。
329	特に興味は持たなかった
330	残りの県職員期間が短いので
331	障害分野での業務を希望していないことため
332	他他所属の人事異動がないようなので、今のところは関心はない。
333	今後働きたい分野が児童分野であり、今回の研修では興味関心がわかなかったため。
334	現職に魅力を感じているため。
335	一度、勤務したことがあり、説明を聞いても、別の所属で仕事をしたいと思いました。
336	中井やまゆり園で働きたくないから
337	今年度県職員として採用されたばかりであり、今後も県職員として他の機関での経験を希望
338	するため。
339	神奈川県職員として将来を全うしたい
340	問 6 同様
341	中井やまゆり園での勤務を希望していないため
342	今の仕事で満足
343	特になし
344	県職員としての残り年数が少ないため。
345	自身のキャリアプランを考えるうえで、関心が無い。
346	児童分野に関心があるから
347	自分自身の県職員としての方向性と合致しないと感じたため。
348	現場の職員の意見や考えが共有されていない中で現実的な取り組みとは思えなかった。
349	自宅からの距離も遠く通勤に不便であるため。
350	県職員とプロパー職員が混在した職員体制内で働くことに不安を感じるため。
351	児童関連の業務をしたい
352	県の職員の方々は、正規の試験を受け、採用された方が多数の私から見れば優秀な人材のよう に思えます。にもかかわらず、動画で語られたような問題、課題が山積した事実を踏まえ れば、箱を代えたとしても、責任の割合が新法人に比重が高まるだけであり、中身はそうそ う変わらないかなと思います。人材に関して、この点の説明が薄いと感じました。
353	児童の分野で仕事を続けたい気持ちが大きいため。
354	説明会でうたう支援は以前から言われていたことであり、それを実現するのは困難に思え る。
355	あくまで個人的な意見ですが、少子高齢化の中、取り組むべき優先順位が違っていると考 えているため。これから広く社会問題になるであろう分野、優先順位が高い分野で力を尽くしたいと 考えています。
356	特になし

設問 8 園以外 新法人への関心がない

355	自分の目指している分野とはちがうため
356	非公務員とのことであるため、待遇が大きく変わる可能性があること、施設に限られた業務となるため。
357	自分の希望する業務内容とは違うため。
358	知的障害施設での業務経験がないため
359	現在の専門分野での異動を希望しています。
360	
361	以前公務員を辞めて新法人で働くのは避けたいため。
362	その場で自分にまかされたことをするのが仕事だと思っています。周囲の人間関係を含め、その環境が安定しているほうがいいですが。 ただ、説明されていた内容が、まるで新しいことのようにお話されていましたが、現場ではすでに実施されていることもあると思うと感じました。お話されていた方の施設のイメージが少し古い感じがしました。
363	特に新法人の関心ないため

設問 8 園職員 新法人で働きたいとは思わない

364	科学的なエビデンスに元づく支援のできる人材を育てるという意味がよくわからないから。現在普段の支援業務を行いながら生育歴や人となりシートの作成と更新、個別支援計画、相談事業所とのモニタリング、ご家族対応など業務が山ほどありそれ以上に研究をしなければならぬとなるとできる自信が全くないから。
365	独法化後の中井やまゆり園の目指す方向性は、今回の説明でも理解できるが、現在中井やまゆり園で働いている身としては、 によるパワハラについて、どのように調査、対応がされるのかを知りたい。現状のまま、 が残ったまま、同じような の関わりが続くの出来れば、独法化後の中井やまゆり園で働きたいとは思えない。 との関わりに、怖さを感じてしまう。
366	○利用者支援以外での諸問題が多く、また何も解決していないため、魅力のある職場ではないから。 ○中井やまゆり園の方向性が定まらなく、県民ニーズや社会常識との乖離が広がっているように感じるため。
367	身分と給与に関して明言された以外は、全く目新しい情報は何もありませんでした。 がどのようにかわるのかがわからないと、新法人で働きたいとか働きたくないとかは判断できません。 が新法人にかかわるのであれば、新法人で働きたくはありません。
368	県の管理下で法人運営の自由さや迅速さがないと思うから。
369	設問 6 に記載の通りです。
370	県職員経験者が理事その他重要ポストにつくという事は、結局大きな変化は起きないので感じる（天下りが増えるだけなのでは）。 映像にもあった、利用者さんの居室などの改善については、独法化しなくても、県が予算と人をつけてあげればできるのでは??と思う（それがなかなかできないからなのかもしれませんが）。 新しい人材が独法化した中井に集まっていくビジョンが見えない。そうすると、働いている職員が疲弊していく。 利用者さんの権利を守ろうという意見は賛成ですが、同時に働いている職員の権利も守ってほしい。
371	新法人の方々との軋轢が予想されるので…。
372	現状と体制が変わらないのであれば職員が疲弊してしまう。理想と現実の開きがありすぎる。
373	県にはたくさんの所属がある。まだまだ経験不足なこともあり、色々なことを経験したい。
374	入庁前から別の部署を希望しており、意向申告でも異動を希望しているので、新法人で働きたいとは思いません。

設問8 園職員 新法人で働きたいとは思わない

	利用者支援は楽しいが日々業務に追われているのが現状。 勤務時間は利用者支援をしているため、日々の利用者の生活記録や担当利用者の個別支援計画の作成などの事務作業は勤務時間内にできず、休憩時間を削ったり時間外で作成している。また、定期通院の付き添いや事業所とのモニタリング、家族・後見人への近況報告・面会なども早番後や遅番・夜勤前に超勤し対応している。(担当利用者の日用品の買い出しなどは時間外も付けられない) そのうえで生育歴や人となり、 カンファレンスの資料などを作成するように依頼され、 カンファのために50ページ以上の成育歴を作成したら「多すぎて読めない」と言われた。(作成している職員は、もっとページ数が多く数十年もある記録の中から何とか抜粋している) また、 (も含む)のパワハラがあり、ニュースになっていたが、 は職員に対して調査などはせず、 を擁護するような答弁があった。このようなことが続いているため、やる気をなくす。 現在入院しており、誤嚥の危険性が高く細目に吸引が必要な利用者について「そのような状態にしてしまったのは園だから園に戻して支援し責任をとる」と話が出ていたが、NSの人数も少なく夜間は不在、医療機器が充実しているわけでもない園に戻して何かあったときにはどう責任をとるのか?と疑問に思う。園に戻して支援するということがだけが責任の取り方ではないと思う。必要な医療受けられる場所に移り安全に生活できる環境を調整するという責任の取り方もあるのではないか。むしろ、医療が必要な人に対してすぐに医療を提供できない環境に戻すことは無責任なのではないだろうか。受け入れる環境が整ってからこのような「園で責任をとる」と話が出るべきであると思う。 今回、記事になっていた解熱剤やコロナによる救急搬送について、解熱剤は以前まで発熱があった際にはクリーニングなどを行いそれでも熱が下がらず38.0℃以上でしまった場合に服薬していたが、 から「なんで37.8℃ある人に解熱剤を飲ませないんだ!」と話があり、それを受けて37.5℃以上の発熱があった場合にに変更していた。救急搬送の件については、 が「この人は糖尿病があるから搬送前に血糖値の検査をした方が良い」と言い始め、救急隊員が「必要であれば病院についてから検査をするので、今はしなくてよい」と説明をしても「これだからダメなんだよ!」などの言動があり検査をしていたため搬送が遅くなってしまったことも意識不明の重篤な状態になった要因の1つだと思う。このような などの指示で対応を変えたことについて、すべて中井やまゆり園の職員が悪いというようなこと記事を書かれたり発信をされるのはとても不愉快だ。
375	
	独法化まで1年しかないのに入る幹部など何も決まっていなく、現在のパワハラを正当化する
376	 のような方が独法の幹部になるようであれば一緒に仕事がしたいと思わない。
377	現場の声をきかず、実績をつくろうとしている体制についてはいけない。
	様々な事が未定な中では、新法人への魅力を全く感じない。不確定要素ばかりで、働きたい
378	とは思えない。
	現在の中井やまゆり園の運営を考えると、一貫性のなさや過去のしわ寄せを慌てて修正しているように感じる。利用者にじっくりとかかわる余裕を感じられず、じっくりしなくてはならないときにも煽られているようで、落着いて業務に向合えていない。
379	
	現状を鑑みると掲げられている大きな目標を達成できる土壌があるとは思えず、ただ運営する母体が変わるだけとしか読み取れないため。
380	
381	新法人がこういった法人になるのか、具体的にイメージできない。

設問8 園職員 新法人で働きたいとは思わない

382	県の新しい障がい福祉の取組みを担うことができること、今支援している利用者の人生にこれからも携わることができることは、福祉専門職として本当にありがたいことと思います。今回のような福祉職全体に説明会とアンケートを行うことで、派遣や転職を希望する福祉職が確保できればと思いますが、中井以外の福祉職と新法人プロパー職員だけでは、利用者支援に支障があることも分かっています。 それでも、中井の福祉職の多くが新法人への派遣や転職を希望していないのは、単に、独法後の情報が少ないからではありません。 なぜ希望しないという思いに至ったのか、何が園で起きているのかを正確に理解していただき、派遣や転職を希望する中井福祉職が増えるような対処をお願いします。
383	この機会を契機に異動を希望しているため
384	今の時点の中井やまゆり園で継続して働きたいと思える環境ではなく、新法人になっても大きく変わるとは思えないため。また、そもそも施設での直接支援だけでなく、間接的な支援も仕事として行ってみたいため。
385	園長や理事長・運営者が明確でないため。現の[]が関わるかどうかをみんな知りたがっていると感じる。 別に中井やまゆり園が嫌で働きたくないのではなく、現の[]に不信があるだけ。
386	利用者の皆様のことは本当に大事に思うし、たくさん学ばせていただいたことも、笑顔をいただいたこともありました。本人の思いをくみ取り切れず申し訳ない思いをすることも多々あり、もっと向き合う時間、理解を深めるための時間が欲しいとは思っています。 それでも、残りたいとは思いません。利用者さんには本当に申し訳ないと思います。 でも、利用者さん自身の意向（その場だけの反応ではなく、前後の反応や様子を見て判断）を確認しきれないまま行事などの強行、職員へのひどいパワハラ、利用者・家族・職員への説明不足のまま進む園内計画等、[]による「具体的なアドバイスよりも専門的知識によらない偏った知識による指摘」、指導する立場にかかわらず、法人内で虐待案件や死亡事件が出ている方が[]として居続けていることなど……何もかも、利用者の皆さんや職員を人として見ているとは思えません。 独法化後は職員（福祉職のみならず多岐にわたる人材）が、科学的根拠に基づく支援ができるようになっていき、最終的にはいろいろなところで活躍する人材を……ということで認識しましたが、つまりは利用者の皆さんは、研究対象ということで間違いないでしょうか。科学的根拠を得るため、今までの「手や経験から基づく支援の継承」ではなく、研究と実践を行っていくものと思いますが、実践を積み重ねていく対象は利用者の皆さんと言う認識で合っているでしょうか。もしそうであるならば、利用者の皆さんとご家族には、口あたりのいい言葉ではなく、「利用者の皆さんは、科学的根拠に基づいた支援のため、研究実践にご協力いただきます。研究対象とさせていただきます。」というお話はしているのでしょうか。本来ならば、利用者ご本人とご家族の了承を得たうえで在籍するかどうかを決定するものだと思うのですが、私の確認不足でしたら申し訳ありません。
387	今の[]の影響が残る体制では働きたくありません。科学的な福祉の研究は全く理解できません。福祉と科学はかなり距離があるように思います。無理に中井で取り組む必要はなさそうに思います。

設問 8 園職員 新法人で働きたいとは思わない

388	抽象的な未来へ進むにはモチベーションが抱けない。今の私たちに求められていることが膨大すぎて、私にはそれを遂行できる能力も自信もない。何をしてもできていないと評価され続けているのに、こんな大層なことが1年後にできるとは思わないしやろうとは思えない。どうせ、こんなに大層なことをいっているのにできていないといわれるくらいならやらないほうがいいと思う。これ以上園や神奈川県の評価を下げたくないし、私の自己肯定感を失わせ
389	ないでほしい。
390	社風
391	他の分野にも関心があるため。
392	具体的な内容がなかった。
393	設問 6 に同じです。「現在できていないこと」がなぜ法人になるとできるようになるのかの根拠が不明。人材の確保手段が不明。やることだけが決まっていて、職員はいないのにやることは決まっているからやらなくてはいけない。ということになるような気がします。そうすると「実施した」という事実だけをつくることになり、それで職員はやりがいもなく疲弊だけする。現在がそうです。もしくはできていないと指摘、叱責される。やりがいをもって職員を育成し、その職員たちが支援を自ら改善していく流れを具体的なプランと確実な人材確保手段と共に示されて初めて興味を持てるのではないのでしょうか。
394	現在の状況では利用者さんのことはとても心配ですが、新法人で働くことはできません。特に人材確保の面で今でも確保できないのが、どうやったら確保できるのか知りたいです。
395	「施設は職員」と利用者さんご家族からも言われております。その職員をどう確保し育成するのか。時間外労働の多さは利用者支援の改善ではなく、もともとの人員不足です。今まで時間外をつけてはいけない風潮が根強かったのでつけられない意識の職員が多かったせいではないかと思われます。法人化してプロパー職員の給食や退職、育休が相次ぎ、支援がままならないほど職員が不足した場合はどうするのでしょうか。「法人内の事は法人内で何とかしてほしい」と言うのでしょうか。そのような場所で職員のマネジメントや育成を担う自信は全くありません。年休が欲しいと言っているわけではなく、毎日の生活を安全に支え、職員の育成や利用者の後方支援を確実にする人員が必要だと申し上げております。ぜひ、真摯
396	なご検討を願います。
397	すでに福祉に対する意欲が無くなってきている。もっと言えば働きたくない。
398	他分野で働きたいと考えているため。
399	現状も利用者支援に加え、様々な業務が増えているが、それに当たる現場の職員は殆ど増えていないため、職員の負担が大きくなっている。今後更に大きな改革があると思われ、自分がその負担に耐えられると思えない。新法人の内容どころではない。
400	年齢及び体力的に仕事の継続は無理と思える。
	新法人への関心以前に、県職員を続けることに疑問を抱いているため。
	確証的なものを感じられない、魅力を感じない。
	別の所属で働くことを第一希望としているから。
	今の環境が全くよくないのに新法人になっていきなり変わるとは思えない。園全体の雰囲気
	があまりよくない中で一番の被害者は利用者だと思う。園で働いている職員でさえ振り回され
	ているこの状況下で利用者たちは置いてきぼりになっているように感じる。

設問 8 園職員 新法人で働きたいとは思わない

401	パワハラ報道など報道されていますが、そのことに対しても何一つ説明がない。単純にそう いった所属で頑張ろうとも思えません。
402	長期休職者を抱え人員不足の中、何とか必死に毎日をつないできている。ここ数年この状況 が続いているが限界です。利用者支援のために超勤というよりも、本来の自分の職務を全 て、時間外の超勤でやっているのが現状です。もう頑張れないです。利用者の小さな変化に 気づく為にも、職員の入れ替わりでつないでいる現状では、良い支援はできない。
403	福祉職のキャリア形成の中で、私は現在、施設系の障がいに関する分野となる当園で働いて いますが、希望はしていません。また、およそ10年間のロブテーション期の中で福祉職にお いてのキャリアとスキルを身に着けている段階です。施設系で障がいに関する分野は経験で きたため、本来入庁する前から目指していた子どもや地域に関するソーシャルワーカー系分 野、行政系分野で働きたいからです。当園が新法人に変わったとしても働きたいとは思いま せん。
404	具体的な内容がなく、自分が働いているイメージがわからないため。
405	働きたいと思う理由がない。
406	今働いている状態で働きたいとは到底思えない為
407	現在の状況を体感しているだけに説明で挙げられている理想と実働とのギャップを感じる。
408	知的障害分野に関心がない。
409	まだ分からないというのが本当の気持ちです。
410	新法人の理事長が誰になるのかで変わると思います。
411	児童分野で働きたいと思っているため
412	県庁内で他の所属へ興味があり、自分のキャリアプランを考えたときに、この法人では自分 のキャリアプランに沿った働き方ができないため。
413	新法人の施策は県が決めて、現場が実施するとの説明を聞いて、不安になった。県が要求す る施策を実現するための職員増が図られるのか？新法人の運営は誰が行うのか？などの説明 がなかったので、うまくいくイメージが持てなかった。
414	設問 6 の回答と同様。
415	現段階の職場でも働きたくないが、これ以上良くなる見込みがないため。
416	今の中井やまゆり園の延長上にあるのであれば、とても働きたいとは思いません。前を向い て働こうとするたびに報道や■■■■の言葉、■■■■の言葉に気持ちを削がれるので。
417	次の職場で頑張っていきたい
418	■■■■で!!と、お願いしたがどうしてもと頼まれて■■■■で寮に居 てくれるだけで良いから (担当無し・委員会無しetc.)と、熱望されて働いたが、フル勤務な ので、普通に業務に能って下さい。と、言われ家族の看取り介護や看護、通院・入退院等を ■■■■に依頼するなどして心苦しかった。今は、■■■■をしているので、今年度 で退職し、介護に専念したい。
419	現状でも新聞記事が多くあるように、現場職員と■■■■とは乖離があると思う。少なくとも それらが是正されない限りは、新法人で働きたいとは思わない。

設問 8 園職員 新法人で働きたいとは思わない

420	中井やまゆり園の実態から考えると、科学的な知見がある支援方法が存在するにも関わらず、そのことについて全く触れていないことに大きな違和感を感じる。海外では自閉症スペクトラム障害に対し、応用行動分析やTEACCHプログラムがエビデンスベースドプラクティスとして確立し、政府がこのようなサービスを提供することを保証しているのに、これらについて触れていない。強度行動障害に対する国が求める標準的支援についても一切触れない。 逆に、当事者目線に立って支援を実現する中で、やさしさやあたたかさという要素を考えていくようだが、これらをどうやって科学的に検証するのか。恣意的な要素が絡みすぎ、客観的な「やさしさ」や「あたたかさ」など検討できるのか大いに疑問である。 明らかに歪んだ作為を感じ、このような考え方を持つ新法人で働きたいとはさらに思えなくなった。
421	おそらく中井やまゆり園は、重度知的障害者がいて、職員は大変だと思うから。 独法化の話もよいが、職員が虐待せず穏やかに働けるような取り組みを目指してほしい。それが利用者の安心した暮らしにつながるのではないかと。また、プロパーが多くなり、ベテラン職員が増えると派遣された職員は働きにくいのではないかと。

設問8 園以外 新法人で働きたいとは思わない

422	障害者支援の仕事は難しいと感じ、長期的に働けるかわからないため。
423	強度行動障害を有する方の処遇をする体力がない。
424	新法人職員が5割以上を占める中での派遣職員としての働き辛さがありそう。立場の違いによる問題が発生しかねない考える。
425	中井やまゆり園まで通勤できないから。
426	正直、魅力的には思えませんでした。特別新しい理念も感じられず、法人運営の見通しや人材育成にも共感できませんでした。
427	福祉を科学する研究や今後の他専門機関とどのように連携していくかといった具体的な内容が無く、イメージができない。また、メリットの提示は多くあったが、現場の声や家族の声と言った客観的意見がないので参考にならなかった。
428	今の業務を楽しめているので法人に行こうとは思わなかった。
429	児童相談所の仕事が好きだから説明会を見てではないが、ここ最近の中井やまゆり園関連の話しでよい話を聞かないため。
430	両親の介護中であり、通勤等が難しくなるため。
431	中井やまゆり園での不適切な対応事例を全て職員の対応について、資料の中にある「これまでの入所施設が人生を奪ってきたことを謝罪」と記載されていることに臂臑にショックを受けました。施設職員全員が利用者の生活や人生に全く共感がないまま支援していたと言いきれないと思います。今、新しい考え方を示したとしてもそれを評価されるのは数十年後で、その時にはまた違う福祉の考え方が出され、また世論的に否定されるのだと思うとそのようなリスクを背負いたいとは思いません。
432	施設で勤務したことがあるため
433	専門性が違うため。
434	現状の職務に適性を感じているため。
435	私自身が直接支援に向いていない。 家族からの理解が得られない。 変則勤務が困難。 勤務地が自宅から遠い。
436	全容も良く分からないので上記回答としました。
437	「科学的な福祉の研究」について、具体的な内容が明らかでない。また、そもそも現状県立施設において科学的な見地からの支援が出来ていないという主張の根拠はどこにあるのか。動画の説明の中で、中井やまゆり園の改善取り組みが成功している理由として、 の経験や知見の元にと述べられていたが、資料の中で否定されていた「ヒューマンな部分に頼った支援」なのではないかと矛盾を感じる。以上の点から新法人の取り組みには曖昧な点が多く、新法人で働きたいとは考えられない。
438	現状の業務を続けたいため。
439	法人内での中井やまゆり園の位置づけ、必要性がわからない。 現状の中井やまゆり園の状況(パワハラ・過労死レベルの過重労働)の解決なくして新法人への異動を希望する常勤職員は現れないと思う。

設問 8 園以外 新法人で働きたいとは思わない

440	神奈川県職員として、神奈川県庁の機関で働きたいため。
441	説明は理解したが、なぜ県立県営でできなかったのか。反省反省というが、改善しようとしてきたのか。むしろ県がやることで全国にアピールができ人材確保につながるのではないのか。広い職域が魅力だったのに、病院も施設もなく人が集まるのか。
442	不安定な職場環境だと認識しました。多岐にわたるスペシャリストは非常に大切な考えと思いますが、なぜそれが必要なのか、施設で起こったことが、私たちの今の職場で起こっていない為、同じこととして考えることが難しいです
443	派遣期間中は公務員の身分が保障されないため。
444	現状の施設で働いている方が働きやすいため。職種を変えてまで働きたいと思える魅力がなかった。
445	何十年もいろいろな業務に携わり苦難も乗り越えてきた同僚たちが県を離れています。
446	子育て等や時短勤務である身としては働くのは難しいと感じている。
447	他にやりたいことがあります。
448	他セクションで働きたいため
449	県でやっていることに、今の段階で不自由がないため。
450	体力的に難しいと思うので。
451	独立行政法人化すると予算と人材確保の柔軟性が得られると説明があった。中井やまゆりの支援が後退した劣化していった原因はそれだけなのか。20年余りの間に急激に支援の質が下がったのは、人材のせいなのか。組織の在り方の問題ではないのか。大きな組織の一部になることで、所属での決定が複雑になり、やはり、身動きの取れない組織に相変わらずなるのではないかと思う。組織は小さいほうが風通しがよいし、働くものと幹部のコミュニケーションが図られる。きらりのようなコンパクトでない施設になることは反対。利用者30人くらいで職員は50人くらいが望ましいと思います。
452	現在家庭の事情により変則勤務が困難なため
453	今後施設系で働きたいと思っていないから。
454	もう再任用中だし、働くことに、疲れています。
455	転職を考えていません。
456	障害福祉分野のキャリアが浅いため、人事異動であれば受け止めますが、専任として働く希望はありません。
457	県立ではなく、独立行政法人を立ち上げる理由がわかりません。
458	福祉業界に限らず世の中全体が人材不足な状況で、体制を維持するための適当な人材が集まるのか、また新しい職員集団をどうまとめあげるには相当な工夫が必要になりそう等、不安なことや分からないことも多いため。
459	昨今の■■■■のパワハラが起きてでも施設内虐待を止めていく旨の発言やそれを受けての県職労の声明など労働環境としては不安を感じざるを得ない。 追記、県厚生常任委員会が1/24に開示した要求資料を見て回答を「まだわからない。」から「新法人で働きたいとは思わない。」に変更しました。

設問 8 園以外 新法人で働きたいとは思わない

460	体制などが見えず、今後の詳細も聞く必要があると思うが、現時点では選択の回答である。
461	子どもの福祉に興味がある。
462	上記の通り。
463	問 5 と同じ回答。
464	現在働いている児童分野での課題解決にやりがいを感じているため。
465	関心があまりないため。
466	法人職員との差別化についても不明確であり、動画等での説明を聞く限り魅力を感じないため、。
467	現場で働いている方や利用者の方々の声や様子を見聞きしないと判断が難しいです。
468	健康面の理由により無理。
469	通勤時間がかかり難しい。
470	持病等あり、新法人云々に限らず、施設勤務は難しいと感じているため。
471	と職員との意思疎通がうまくいってないことは承知しているので。
472	相談機関での仕事を続けたいため
473	あまり魅力を感じなかった。
474	理念と現場での労働内容が解離しそうに感じられる為
475	設問6のように感じたため。
476	現状の相談系の職務で働いていきたいと思っているためです。
477	すでに中井やまゆり園での職務経験があるため。
478	現状、児童の障害者支援に携わっていて大変なので、大人の施設も大変なイメージしかない。
479	県職員の福祉職として今後も働きたいと考えているため。
480	設問 6 とともに、自分の職歴はケースワーカー系で経験を積んでおり、それを継続したいと考えているため。
481	運営母体を問わず、施設での勤務を希望していないため。
482	職員のことも大切に作る法人であってほしい。
483	以前、働いていた施設では、個々の利用者の人権をより尊重しようと利用者さんそれぞれへの理解をし、職員で周知し支援を行っていた。これまでの支援が否定されているのはわかったが、今後の新法人での、具体的な支援がよくわからなかった。
484	希望先じゃないから。
485	R7.4～他の自治体へ転職の為。
486	児童福祉分野で仕事をしたいと考えているため。
487	施設勤務は希望しておりません。
488	勤務地への通勤が不可能なため。また、目先の生活支援に追われ、心理職ではなく生活支援の職員として働くことになりそうと感じたため。
489	数年後も同様の方針が継続出来ている未来が見えない
490	職員が働きたい体制を作らないと、いくら外から連れてきても魅力的な職場にならないと思うから。
490	職員がずっと働きたいと思う職場とは何か？を立て直すにあたり常に考えてもらいたい。

設問8 園以外 新法人で働きたいとは思わない

491	議会にも取り上げられ、パワハラを容認するような答弁もあり、神奈川県は職員を守る意識が希薄だと改めて思ったため。
492	夜勤勤務が苦手なことや現在入庁2年目で責任が重いので働きたいと思わないです。
493	利用者の方がより良い環境で過ごせること、地域に出て生活ができるようになったことは元職員として嬉しく思います。
494	独立行政法人に転換する理由が勉強不足もあるが理解が不足。病院の例は理解できるが障害者入所施設では運営持続可能かが不明。
495	他の分野での勤務を続けたいため。
496	モチベーションの低下
497	新法人に魅力を感じない。
498	今回の説明会では新法人の目指す理念等は理解できたが、新法人が運営する施設の組織体制等の詳細が分からなかったから。
499	家庭生活と両立が不可能なため。
500	法人の目的として、多様な主体との連携があり、実際に実行できれば確かにウェルビーイングは向上すると思う。ただ、多職種連携をするためには施設職員を増員しなければ対応できないのではないかなと思う。利用者が外とつながりたいと思っても、対応できる職員が割けないために実行できないことも多いと思う。また、人員体制に無理な負担をかけるようなことがあれば、利用者も職員もともに危険なことや怪我をしてしまうリスクが上がってしまうと思う。ただ、新法人となっても現在の体制や考え方が残り続けている中井やまゆり園では働きたくない。
501	自宅から通えない。
502	設問6の理由と同様、児童に関わる仕事がしたい。
503	中井町は遠くて運転免許がないため、現実的に働くことが出来ない。持病があるため、身体面で出来ない。
504	県予算も入るが、すべてではない中で、独立行政法人自体の資金繰りが危うくなった場合、本当に身分と給与、労働条件が守られるのか不安があるため、新法人で働くことを希望しない。
505	派遣が3年と決まっており、派遣される職員のなかにはあまり希望せず行く場合も考えられる。その場合に派遣先で迷惑をかける可能性がある。
506	児童分野で働き続けたいから。
507	今の仕事内容が好きな為
508	現在の業務にやりがいと専門性を感じているため。
509	自分のキャリアアップにつながると思えないため。また、今の現場で人材を育て、業務を問題なく実施できる状態にすることが急務な中で、新法人で働くことは考えられない。さらに、派遣や出向での働きづらさを知っているため、新法人で働きたいと思わない。
510	障害福祉分野とは異なる福祉分野に興味があるため。
511	今の仕事は量が多いが、内容、質に満足しているため。
512	通勤しにくいから。

設問 8 園以外 新法人で働きたいとは思わない

513	現状、施設で働きたいとは思わないから。
514	自宅から中井までの距離が遠く、通勤できない
515	定年も近いため
516	やまゆり園ではパワハラが問題になっており、今働いている職員は新法人では働きたくないとアンケートに回答している、と新聞報道で読みました。そのような所では働きたくありません。
517	いますぐ働かないと新法人は、実際に運用が始まって少なくとも複数年単位で経過をみないと本質的な課題がわからないと思っています。
518	障害福祉分野での経験がないため
519	自分が関心があるのが相談業務であるため。
520	現時点で想定される独法に魅力を感じない。
521	独立行政法人設立に伴い、中期計画～年間計画を策定するわけですが、達成の見立てがわかりづらかったです。民間企業と同等に、個別支援計画の作成も義務付けられる事も念頭に、サビ管等の配置も必要であるため職員の人材採用や育成計画は更に模索する必要を感じています。また、研究を行うとされていましたが、アカデミックではないと発言されていた時点で、消極的と捉えざる終えないことから、民間団体からは苦言が示される可能性は高いと感じました。例として国立病院が機構に独立行政法人化された際、重心病棟において、外部への説明不足や、内部での統率不足により、個別支援計画を策定せず福祉単位、診療報酬を減算され、何億もの損害を出し事が思い出されました。わが県においても、更なる内容の模索と検討が必要であると考えました。また、機構といってもやまゆりだけの施設配置では、全く人材育成はできないと考えますし、重心医療の機能をもつ神奈川県立病院機構による運営が現実的と思いました。（おそらく機構側が反対すると思いますが。）
522	いいイメージがわからないから。
523	場所が遠いため。
524	現在の自分の年齢、キャリアでは、変化への対応は困難と感じるから
525	腕を組みながら説明されても魅力を感じない。
526	遠方且つ変則勤務であるため。
527	6と同じ
528	設問 6 の通りです。職員に対する人権意識が欠落しているから、職員が次々にやめているのだと思います。
529	経営陣の顔ぶれも見えない中では、選択する材料がないので。
530	新法人への異動を命じられたら家庭の事情（日常的な介護）により勤務継続が困難ですので即退職します。なお場合によっては介護休業なども視野に入れています。
531	「科学研究に基づいた支援」と言われても、福祉を学んだうえで職務に従事してきたものとしては理解が追いつかない
532	精神障害や生活保護分野で働きたいから。
533	設問 6 の通り、中井やまゆり園に対しても、今回の県のすすめる取り組みについてもいい印象をもっていないため。
534	働いてみたいと思える材料がない

設問 8 園以外 新法人で働きたいとは思わない

535	法人に切り替えても、今までの文化や風潮が残るような気がしているため。
536	・まず利用者の福祉に生活面から支援していきたい。 ・法人が県の中期目標の達成に盲目的になったり、利用者目線を実現すべく職務につく職員 の目線を配慮せず、混沌とする未来が見える。
537	現所属で培っている知識を基に、定年後も働きたいと思っているため、新法人では働きたい とは思いません。
538	実際に聞こえてくる中出の状況を考えると、働く職員と、新法人の溝が大きく感じる。安心 して働ける場所だとは思えない。
539	福祉分野はどこも人材不足の状況。新しい障害福祉の実現というが、具体的に何をしようと しているのかわからないような法人に果たして人が集まるのだろうかと感じた。
540	その分野にそもそもそこまで関心がないため。
541	中井やまゆり園が標準的と言われている支援とは異なる支援を行っていること。 現在中井やまゆり園で勤務している常勤職員のほとんどが、意向を望んでいないこと。報道 されている [] からの職員へのハラスメントが常態化されており、職員が大量 退職されている職場であること。
542	行ったことがないので、具体的に働くイメージがつかない
543	勤務上必要なこととは承知しているが、勤務中での監視されているという緊張感が常につ きまどっている環境で、息が詰まりそうに感じたため。
544	ニュースで [] からのパワハラ報道を見たため
545	知的障害分野に関心がない。
546	取組は素晴らしいと思うが、自分には難しすぎて働くことは不可能と考えるため。
547	職員のモチベーションを無くし、守れない組織では働きたいとは思わない。私たちは入庁時 より、エビデンスに基づいた支援をするように教育されてきており、「県」で行っている意 味を常に考えるようにと指導を受けてきた。そのようなことを理解されていないところでは 働きたいとは思わない。
548	若い職員の知見を広げる、将来の選択肢を増やすという意味では良いと思うが、自分自身の 年齢や今後の役割を考えると、新法人で働きたいとは思わない。
549	設問 6 のとおり 通勤も難しい。
550	現在の職務に専念したいと考えています。
551	今回の説明では、新法人への関心をもてなかったため。
552	[] のパワハラや中井職員の現状をみて
553	希望する業務内容ではないからです。 希望する分野ではないからです。 希望する職場ではないからです。
554	同上
555	いまの現場の声を聴く限り働きたいとは思いません。大量に離職者が出て、パワハラもある と聞きます。そういった経緯やパワハラ調査の開示など、オープンになれば興味を持てると 思いました。

設問8 園以外 新法人で働きたいとは思わない

556	今の仕事が最も自分に適しているから
557	以前働いていた時上司からの圧力がすごかったので働きたいとは思いません。
558	業務内容の不安もありますが、基本的には待遇等が気になり、働きたいとは思いませんでした。
559	県立施設ではできないが、法人ではできるという理屈が理解できない。 研究するというのが、その時間的なものは確保されるのか。 今現在も事務的なものはする時間がなく、彫金帝王している状態。独法化して良くなるとは思えない。
560	・派遣でない場合、退職金が積算されないため。待遇面の詳細が判然としないため。 ・移行当初は多大な混乱が生じ、時間外勤務を強いられることが予想されるため。
561	次の時代を担う若手職員の比率を上げた方がいいと考える。
562	もう年齢も年齢なので、現在とあまり変わらない職務でこれまでやってきたことを生かしていきたくと考えています。
563	障害者施設勤務を希望しない。
564	現在の職務にやりがいを感じているため
565	引き続き児童関連の分野を希望しているから
566	具体的なビジョンがまだ固まっていないように感じる。科学に基づく支援とは、どのようなことなのかが見えない。独法にして何に取り組んでいくのか？ 今後を考えようにも、中井の現状が正しく伝わってきているのかわからないので、判断のしようがない。
567	現在の職場での勤務も体調を見ながら勤務している状態のため、エネルギーがない。 まだ元気のある若い人材で進めてほしい。
568	自身のためにならないと感じた
569	新法人の構想は良いと思います。独自性と専門性を追求できる組織になれば、魅力的な職場環境も生まれると思います。きっと新法人の職員を希望する方はその職種の専門性を追求したい人だと思います。 私自身は今まで長らく障害福祉施設の仕事に従事してきて、今は児童福祉のケースワーカーの見識を広げたいと考えていますので、現時点では新法人で働くことは希望しておりません。
570	公務員でない職員の採用のため、職員の質の低下が懸念しており、派遣によるリスクが増えるため、働きたくありません。
571	県福祉職として様々な県民の価値観やニーズに出会い、応えていくことにやりがいを感じ る中で、現状新たな法人で働くイメージがもてない。
572	昨年12月の朝日新聞での記事にあった、新法人化にあたって中井やまゆり園の現職員の約6割が、別所属に異動したいと考えているとアンケート結果が出ていました。 ハラスメントで困っている方が56人いるとのことで、そのようなアンケート結果が出ている状態では働きたいとは思いません。
573	今までのキャリアを活かすのにハードルがあると考えました。
574	通勤範囲ではないため。

設問 8 園以外 新法人で働きたいとは思わない

575	福祉職としてのキャリアアップを考慮すると魅力的な取り組みだが、雇用形態や勤務形態の面で不安が残ると感じたため異動希望までは至らなかった。
576	今は自分の所属で基礎的な知識を身に付けたい。
577	現在の職務にやりがいがある
578	自身の進みたい専門分野とは異なるため。
579	独法全体の仕事具体的な仕事の内容がわからない。現在、中井やまゆり園で働いている職員の話の聞くと、働きたいという意欲がわからない。先日、新聞記事となったパワハラの問題もいつの間にか立ち消えになるなどしている。
580	目的、条件が曖昧で魅力を感じない。
581	今回の説明会では、新法人で働くか否かを判断する材料が不足していたため
582	課題意識のある分野があるため。
583	・新聞報道等で [] からのパワハラが報道されている ・ [] からのパワハラに対して、職員に適切なケアがされているとは思えない ・職員を大切にしているとは思えない
584	独法化した場合、人材の確保が難しく、施設運営がうまくいくとは思えない
585	中井に関する新聞記事は一面的で、事実とは思えず、複雑な気持ちです。
586	実際にどのように展開されていくのか展望がわからないから。
587	独法化後の具体的なビジョンが見えてこないため。
588	今、中井やまゆり園で起きていること、働いている職員の想いをどう受け止めているのかが見えないから。
589	津久井やまゆり園で、社会福祉法人との協働を経験し難しさを感じた
590	メリットが見いだせない。
591	自分のワークライフプランから見て、早期退職を考え始めているため。
592	県からの退職を考える家族状況なので
593	中井やまゆり園での改革が始まった時、最初は良かったのですが、 [] のパワハラ問題、というより [] による思い付きで理不尽な管理指導に、大変心理的な疲労が続いたこともあり、まだ懐疑的に見えています。
594	研究機関を創設することやGHなどの新規事業を運営していくことは興味深いですが、法人職員の大半は障害者支援施設の直接支援職員として配置されることを考えれば、支援者が大きな圧力を受けながら、支援の構築や支援体制の整備に必死になって汗を流せる自信がない。
595	課題山積の児童分野で尽力したい。
596	自信がないので
597	3月で退職しますし、地域的にも通勤が困難なため
598	民間も含め、福祉人材不足は否めない昨今の環境で、障がい者施設は働きたいと思う人がそこまで集まるか疑念がある。なおさら、強度行動障害の方に対してとなるとハードルは高いとおもう。法人運営として福祉科学の需要がどれほどあるのか、収益の面でも、補助金として税金を投入し続けるのであれば、公的な運営とさほど差がないのではないかと。
599	勤務していた際は県の上席職員達が若手に仕事を大量に押し付ける職場でした。それに加え、昨今のニュースを見ても勤務したいとは思いません。

設問 8 園以外 新法人で働きたいとは思わない

599	現在の職務も、ともに生きる社会の実現を目指しているものであり、全うしたいから。また、今回の説明資料からは、当事者や地域社会が法人とどのように関わっていくのか、読み取れなかったから。
600	現状希望のため。
601	神奈川県で働きたいため。また、県職員として相談業務や行政業務を経験したいため。
602	児童福祉の分野で働いていたいから
603	ケースワーカーとしての勤務を希望しているため。
604	児童福祉分野で今後も働きたいため。
605	新法人の意義は理解したつもりだが、具体のスキームがわからないため。
606	新法人について、どのような考え方で運営していくかについては理解できたが、自分自身、新法人での職務でなく、神奈川県職員として、今後も様々な配属先で働きたいため、新法人で働きたいとは思いませんでした。
607	新法人に興味がないため。
608	政策的な要素が入ることで成果を求められ、支援の現場に生じる本質的な課題に正面から向き合えない可能性があるため。
609	福祉を科学する視点を理解することが難しく、施設勤務を希望しないため
610	たくさん人材を集めることのリスクはないのか。中井の事件の始まり臨任として雇った方が先導して行われたものもあったのではないかと。 今の件の福祉職も中堅どころが欠けており、ひっ迫しているのに、新たな職員を育てるほどの余裕があるのか。
611	理事長、施設長、[REDACTED]の意見に反する人は干されそう
612	施設系ではなく、別分野への異動を希望しているため。
613	職員の質や体制、パワハラなど様々な問題が指摘されているが、詳細や対応状況も分からないまま新法人への移行の話が進んでいること、また、新法人の運営体制もよく分からず魅力を感じないため。 トップダウンも必要な時もあると思うが、中井の職員は全否定されている感があり、体制を一掃することに注力している感じを受ける（中井の体制がそれくらいひどい体制なのか？）
614	現状の説明では、新法人への異動を希望する人は少ないのではないかと思います。
615	県の掲げる新しい障害福祉のビジョンに、現状では前向きなイメージが持てないため。
616	施設での夜勤等の勤務は、自身の生活スタイルに合っていないと考えるため。
617	民間での就労経験がありますので、今回説明のあったメリットについてはほぼ経験できていると感じました。
618	設問 6 の回答内容のとおり 障害サービス課は現場で働く福祉職をこれまで強く批判してきましたが、その経過によってたくさんの福祉職が離職し、残った職員も組織に守られないと感じてしまう状況になっているのではないかと思います。改革は必要ですが、きちんと福祉職にわかるように説明し、一緒に考える姿勢を示し、人員不足等も含めた目の前にある課題への対策が行われない限り、新法人に行こうと考える人はいないと思います。
619	6 に同じ

設問 8 園以外 新法人で働きたいとは思わない

619	もっと具体的な説明が聞きたい。 漏れ伝わってきているハラスメントの問題が深刻。 現在まで聞いている範囲でも、様々な指摘はあってもそれに対する具体的な話がもらえないような状況では、今後の科学的な方法というものが実際に使われたとしても浸透することはないでしょう。
620	強い意志がないとつとまらないと思う。自信がない。
621	現在の職場が障害者施設のため、障害の現場以外の業務を経験したいから。
622	相談系での仕事を継続したいため。
623	「福祉を科学する研究の中身は？」「検討中です」。この問答が独法化する意味の不明瞭さを表していると感じます。そも研究とは、解決すべき、あるいは明らかにすべき社会課題があって行われるものです。「福祉を科学する」「データサイエンス」といった耳障りの良い言葉を並べていますが、実際には具体的な内容をイメージできないそんな言葉でしか示せない「研究」って、いったい何をするのでしょうか。というか、何をするのかわからないけどとにかく研究センターを設置する、というのは公の事業としていかなもののでしょうか。これも未病と全く同じ構図です。研究センターを作りたいから作る、手段が目的になっているのではないのでしょうか。 また、なぜ県直営ではできないのか、説明会資料にあった理由だけでは理解できません。独法化するメリットとして大学連携や柔軟な人事制度とか挙げられていましたが、それを県がやればいいんじゃないですか。それこそ県の「福祉（行政）を改革」すれば良いと思います。「中井の改革の流れが止まってしまう」って、止めないように県が自らしっかり取り組んでいけば良いと思います。 このような曖昧なことばかりの新法人で働きたいと思える訳ないでしょう。 津久井や愛名で利用者虐待があったと次々明らかになっていますが、強度行動障害の支援は結局は人です。マンツーマンで対応できる手厚い人員配置が無くては結局同じことの繰り返しです。それを独法化することで実現できるのでしょうか。これまでの虐待事案は、指定管理の委託料を値切って十分な人員配置ができない状態で運営させていた県の責任でもあると思います。
624	現在は児童分野で働いており、児童との関わりを仕事としたいため。
625	そもそも中井への通勤は難しい
626	研究をする意味では良い取り組みだと思いますが、今まで施設を民間へ引継ぎするために残った職員の話を聞く限りは、県職と民間職での給与格差があり、協力して働けるか不安があります。
627	介護職の経験がないこと、年齢的にも厳しいと考えているため
628	新法人で働きたいとは思わないため
629	全く興味がありません。 利用者のごく当たり前の生活と働く人がパワハラを受けずに健康な環境であってほしいです。
630	現在の職域の業務を継続したい
631	今の職場でやりがいを感じているから。

設問8 園以外 新法人で働きたいとは思わない

632	職員は障害者支援をしたいという熱意のある方でないと続かないと思います。
633	実際の業務や動きがわからないから
634	現職場でのやりがいを感じているから。
635	設問6に記載
636	様々な情報が出ている中で将来展望だけ示されても、賛同を得るのは難しいのではないかと思います。説明と資料はきれいにまとめられていますが、現状については一切触れられておらず、そういう姿勢から見ても魅力は感じられません
637	現状、退職者がたくさん出ている状況で働きやすい環境とは思えない。
638	働きたい理由がない。また、そもそも施設勤務は希望しておらず、他に配属になりたい所属がある。 現在の障害者福祉において、全国的になにが問題になっていて、何を研究しようとしているのかが見えない限りは、新法人への異動希望者は増えないのではないかと、思う。新法人において働くことが、知見の広がりになるとの説明もあったが、具体的にこれまでの県立施設とどのような違う知見が広がるのかなどは示されていない。働いてみたいと感じるわくわく感がない。
639	中井やまゆり園職員のアンケート結果を見ると、説明内容と実態があまりにも乖離し過ぎていて魅力的な職場になるイメージが想像できない。
640	年齢と経験から現実的には難しいので。
641	入庁1年目であり、現在の業務に取り組みたいと考えております。
642	利用者目線の支援といっているが、それだけでは支援できないと思うから。理想と現実はかなり違う。先駆的な取り組みをしようとしているが、利用者や家族はそれを望んでいるのか疑問。
643	解決しなければならない問題が多くあるため
644	全て中井の職員が悪いというスタンスで、なぜ職員の支援が悪化していったのかは検証されていない。労働基準監督署からも是正勧告が出されるような、職員が大事にされない環境で働く気はない。労働者として虐げられている職員に、利用者を大事にする支援を行えと言っても無理だと思う。
645	現場職員の意見がどれだけ反映されるかもわからない。中井やまゆり園職員アンケートを見たが、管理職や上司、 XXXXXXXXXX からのパワハラがあるにも関わらず認めない環境で働きたいと思えない。職場環境を見なおして、ワークライフバランスの実現が可能でなければ勤務は難しい。
646	他に経験してみたい所属等があるため。
647	行政系を目指しているため。
648	自身のキャリアを考えて中井への異動は控えたいため。
649	給与や福利厚生など、ご説明は頂きましたが、漠然とした不安があります。
650	SWになりたいと思い入庁したので、その気持ちが元々あるから。
651	正直、現在中井で働いている職員から良い話をきかないので、働きたいと思えません。
652	現時点で児童関連の職種がないため。

設問 8 園以外 新法人で働きたいとは思わない

653	中井やまゆり園での経験から、課外活動や当事者目線での支援の大切さなど、参考になる点もあった。ただ、それ故に現場職員の業務量が多くなることなどが予想されたように感じた。そういった現場職員への支援体制、相談体制などの話が今回はなかったので、今後聞ける機会が設けられると良いな、と感じた。
654	今回の説明は、過去の不祥事等の説明が長く、未来につながるような話がほとんどなかったように思いました。
655	やりたい人がいないんでしょう？だからこんなに必死になって人集めのための研修開いてるんでしょう？「科学的な福祉の研究」だの「人材育成」とでも言わなければ格好がつかいんでしょう？勝手にやればいいが、俺を虐待の事実もないのに腫れもの扱いして追い出しておいで、人が集まらないとなったら今までのことは無かったことにしてまで引き込むの？やったことに責任持てよ。それで働きたいと思う方がどうかしている。
656	設立目的に疑問点があるため。
657	児童相談所での勤務を希望しています。
658	福祉政策の先駆的な取り組みには興味があるが実際に通勤することなどを考える家庭の事情などあり踏み込めない。福祉政策についてデータを取り、「職人技」ではなく「データに基づいた」理論的な福祉施策の実行を目指していると理解したが、現場が忙しくデータ収集やその結果を検討する余裕などあるのだろうかといった疑問がある。
659	現在の中井の利用者は強行、重度の方が多いため、現実的に地域移行はかなり厳しいと思われる。その状況で新法人が達成すべき目標値をどのように定められるのか不安がある。改革が進められ良い循環が始まって言うはずの中井の職員の多くが、新法人で働くことを希望していないとの話もあるが、その点の説明がないと新法人を希望できない。
660	現在の業種での仕事を希望するため。
661	家庭との両立を一番に考えたいため。
662	本来は様々な分野を経験した方が福祉職として視野が広く持てるので、県として施設を運営しているのもよいと思うが、実態はずっと直接支援の施設で働いている職員が多いのが率直な印象。そのような状況ではいい支援はできないと思いますし、県職員としてずっと施設での直接支援を望むのであれば、民間（独法も含む）で働けばいいと個人的には思います。そういう意味では、数年派遣されるというシステムであれば、方法によってはよい循環が生まれるかもしれません。
663	これまでの経歴から相談援助等の業務を志望しているため。
664	まったく思わない
665	家族の意向は必ずしも施設外で生活してほしいとは考えていない一面もある。細やかな支援をできるだけの人材確保も難しい状況なのではないか。巨額な赤字を出しても運営できている現状で、法人化しても状況は変わらないと思うため。
666	私自身が、新規採用職員1年目ということもあり、現在の部署でまだ経験をつみたいと感じているため。
667	踏み込んだ対応が求められるにもかかわらず、行政的な責任や保証が十分とは言えないと感じたから。

設問 8 園以外 新法人で働きたいとは思わない

668	新法人への興味はありますが、施設勤務時の苦しさなどから、直接支援より間接的な支援を行っていきたいと思っているからです。
669	現在、県職一年目で施設勤務のため、相談系のほうが興味がある。
670	独立行政法人で行う研究については、これから検討すると説明されたが、中井やまゆり園の改革で行われていることは、説明の中で既存の社会福祉法人が陥りがちな、ヒューマンに頼ったものである。その実践の検証についてイメージがわからない。エビデンスを唱えながら、自閉スペクトラム症や知的障害の実践でエビデンスが立証された方法論に学ぶ姿勢があるとは思えず、何を指してエビデンスと言っているのか不明である。ビジョンがない中で労力を割いて関わりたいとは思わない。
671	施設の閉鎖的な環境では、働きたくない。
672	中井やまゆり園職員アンケートの結果が新聞報道に掲載されていました。今の体制と新法人が別物であることは理解していますが、今現在働いている職員が職場環境の不適切さで働き甲斐を失っている中、新法人になったからといって働き続けたいと思う方はどの程度いらっしゃるのでしょうか。今に魅力がない職場で新法人への期待は持ちづらく、何を説明されても絵に描いた餅ではないのでしょうか。

設問8 園職員 その他

673	退職のため
674	男性寮は半数以上の職員が初の異動で来た方や新採から働いている方々なので、これから県職として次のステップにと考えている矢先の新法人の話。園でも多くの人が残らないと回答されているのにどうして進めるのでしょうか。
675	法人設立に当たり、やはり重要になるのは「人」なのだと思う。誰が理事長なのか等、職員のモチベーションにつながっていくと思う。
676	新法人自体は、決して悪いことだとは思わない。だが、現時点の風通しの悪い環境のままであれば、行きたいとは思わない。
677	〇〇〇〇〇〇のパワハラや暴言、恫喝といった問題は〇〇〇〇〇〇だけではなく、すべての〇〇〇〇〇〇が直接見たり聞いたりしている。それなのに誰一人認めず、謝罪すらない状況で現状も関わりを続けているのはあり得ない。 パワハラ〇〇〇〇〇〇と同じような口調や態度で職員が利用者に接していたら一発で処分されるレベルの暴言や恫喝が日常的にあるになぜ〇〇〇〇〇〇を継続しているのか理解できない。 新法人への関心は〇〇〇〇〇〇が関わるのか、関わらないのかが最重要である。 命にかかわる問題だからといいわけをしていたが、嘘である。 〇〇〇〇〇〇に就任直後から職員への恫喝は日常的に行われていた。 社会的、常識的な考えもできず、〇〇〇〇〇〇達の結果や成果をあげることが第一優先となり、本人目線の支援など行えない状況である。 そんな中で、新法人のことなど考えることはできない。
678	難しい
679	実際に働くには厳しい環境だと改めて痛感しています。

設問8 園以外 その他

680	現在配属されている分野で継続したいと希望しているため、特にありません。 ただ、新法人は「障害福祉」という言葉を使わなかったというお話しでしたが、実際には障害福祉を中心とした独立行政法人となるのでしょうか。あえて使わなかった理由に福祉職全員に関心を寄せてほしいという思いからとのお話しもありましたが、今後は障害福祉だけでなく、高齢者福祉や児童福祉も視野に入れているということなのか、気になりました。
681	①定年だから ②新生中井やまゆり円のために、プログラムを盛り込みすぎではないか？
682	実際に働く職員の給与や待遇が気になる
683	本説明会だけでは、設問7への具体的な回答はできない。
684	退職が近いため
685	「科学的な福祉」の実現性が不透明。独法化でできるようになることは、人材を幅広く募集できることだけれど、集められることとは違う。国立大学が独法化したのとはわけが違う。新たに作り出す、は県の場合対外うまくいかない。中里学園をつぶしてきらりの児童心理治療施設に移行しようとしたときのように。天下り団体が一つ増えるだけのイメージがある。
686	設問6と同じ
687	今後も行政系の分野の業務を希望しています。
688	取組みの大枠について設問6回答のとおり感じたいっぽうで、新法人に運営を移行する県立施設の現状と振り返りに関する情報が少ないと感じていることと、それを踏まえてどの程度現時点のビジョンを実現できるか不安があります。また、自分自身のおかれた状況で本当に必要なキャリアかどうか十分に見極める必要があると考えています。
689	県職員という立場を変えたいと思っていない。
690	自身は退職予定のため、関わることはありませんが、当事者やご家族が幸せな人生を送るための取組として期待したいです。
691	持病により、宿日直勤務が不可能なためです。
692	展開スピードが速すぎて理解が追い付きません。
693	設問6の回答と同じです。
694	中井やまゆり園で働いた経験がないので、難しいなと思いました。
695	施設勤務時に体調不良になったため、話を聞くのもつらい
696	県の福祉が、この先どうなっていくのか関心はあるが、年齢的に、職場としての関心は持てないため。
697	実際にどのような仕事を福祉職が担うのか新採や若手職員に具体的に分かる説明が必要と感じました。例えば、知的障害者（高齢）の生活介助（食事や排せつ介助）など具体的に何をするのかイメージを若い福祉職員（施設勤務未経験も増えており）が持つことが重要と感じました。
698	（高齢だから）
699	関心がない訳ではなく今後もやまゆり祭のボランティアは続けたいが、現在の業務に責任があるため今はそちらに考えを向けられません。すみません。
700	年齢的に言っても、戦力になるとは思えないため。
701	地道な地に足についた取組みが必要だと感じた。

設問 8 園以外 その他

702	新法人の具体性がなく、説明でも+に感じてほしい、というものしか伝わらない。良さ、悪さ、どのようなキャリアプランを築けるのかもわからない。元々児童分野で働きたいため入庁した経緯もある。
-----	---

設問9 園職員

1	トップダウンとならない、真に福祉人材を大切に組織としてもらいたい。
2	利用者を大切にすることは当然のことですが、職員も大切にする職場であってほしいと思います。
3	熱心な職員を求めることは良いと思いますが、 の指示が強くなりすぎるとパワハラとなってしまう。今言われている問題点を放置せずに、良い方向に向いて欲しい。新聞報道の正誤をはっきりさせて欲しいと思う。独法化によりその部分が強くなってしまうことが心配。
4	全国に先駆けて独法となる旨の話があったが、県の福祉職が働きたいと思うような説明が無い中、そういう意味での新たな民間主導の独法なのかもしれないが、県の福祉職が働きたいと思わない施設に、全国から人が本当に集まるのか疑問である。利用者優先であることはかわらないが、利用者が困るので、開設後すぐに職員が辞めないような体制としてほしい。
5	・理想だけで人材は育たないし、優秀な人材の定義もわからない。そこをどう考えるのか、この人材不足の業界で魅力的がなければ人は来ないと思う。 人材育成についてしっかりとビジョンをもって取り組んでももらいたい。
6	中井やまゆり園の今後については、独法化の流れとともに、パワハラの問題が根深く残っている。定年退職前の離職者数からも明らかだと思う。中井やまゆり園以外の福祉職へ、パワハラの問題を省いて、希望の持てるような部分だけを説明するのは、誠意のあるものとは言えないし、騙して他部署の職員を集めようとしてるように思えてしまう。説明会の主旨は理解できるものの、その他の大事な問題点に一切触れることないの動画を見て、改めて中井やまゆり園で継続して働くことに対して、精神的な限界を感じている。
7	新聞記事等によるパワハラと言動が起きない職場になることを望む。
8	利用者支援に対し、おかしいことや不条理なことを言えるような魅力のある法人にした方がよい。
9	 や 寄りの人が新法人にかかわらないことを希望します。 が関わるのであれば、パワハラがパワハラ・虐待を生み、負のスパイラルしかないと思います。 が関わる新法人なのであれば、パワハラ・虐待職員でも育成をするのでしょうか、また虐待の研究でもするのでしょうか。 や 寄りの人がかかわるのであれば、説明であったような新法人の明るい未来はないと思います。
10	ともに生きる社会かながわ憲章の実現を推進する法人となることを期待します。
11	成功して欲しいものだと思えます。新たなチャレンジであると思えますので、労働条件や待遇、給与等々において十分に配慮してほしいと思います。 職員の欠員が続いて、過重労働が常態化することだけはないように、そして、利用者さんは当然大事ですが、そこで働く職員も同時に大事にできる組織、運営であってほしい、ありたいと思います。

設問9 園職員

12	時代にあわせた支援をおこなってほしい。食事の温冷配膳車の使用、洗濯物を就労Bなどの作業所に委託するなど地域と協力をして資源を活用していく拓かれた施設になってもらいたい。公民館や社協などと協力をして地域に根付いた施設になってもらいたい。小学校や中学校にも吹奏楽部とか茶道部などに余暇活動に来てもらえる施設になってもらいたい。義務教育の子供たちに障害施設での様子をみてもらい、交流をもってもらいたい。
13	ありません。現状の改善を強く希望します。
14	現場で真面目に働いている職員が貧乏くじを引かないような環境を作ってほしい。
15	人材の育成には、期待をしている。特に若い人たちの…。
16	利用者にとって、最善の支援ができる環境、職員にとってやりがいのある場となるよう期待したい。
17	独立行政法人の幹部に [] を据えることや、継続して関わることを危惧している。
18	知事が理事長を指名するのはいつ頃ですか。法人のトップが誰になるのか知りたがっている方は多いと思います
19	特に期待や希望はない。中井が本当に必要な人たちが利用できて、その利用者たちがその利用者目線で対応されて幸せな人生を送れる施設であってほしいと思う。
20	[] のパワハラを解明し、パワハラをした [] を解任すること。けっして新法人の幹部にしないこと。人権を重視する施設の幹部に、人権侵害者はおかしい。 在宅の障がい者と家族、民間施設、グループホーム、障がい者団体など広くアンケートを取り、県民の意向を十分把握したうえで政策を立案し、その中に新法人の役割を位置づけること。在宅の障がい者と家族、福祉団体、民間施設職員の当事者を無視することは許されない。そうした当事者を無視することは、福祉の美名の皮をかぶった、福祉削減です。 私は一番やってほしい研修は、新人職員に利用者と同じ生活を1～2日体験することだと思います。利用者と同じように起こされ、着替えさせられ、食事は介助され、歯磨き介助を受け、トイレに座り、ディールームに座らせられる。日中活動にも参加する。利用者と同じ体験をすれば、利用者の気持ちを一部でも感じることができると思います。その体験を職員通しで語り合えば、施設は変わっていくと思います。 理想的な業務を追及するために、一部の職員に過大な労働、異常な超過勤務を科すことは許されない。今の職場では早朝から深夜まで原らいている職員がいると聞いています。 もちろん欠員はないようにしてほしいです。 あと、科学的視点にしても福祉の人材育成にしても、現場がないと不可能だと思います。現場で苦しんで仕事をしたことがない人間が福祉について語っても説得力がない。単に科学研究だけでなく、現場経験も並行してできるような職場環境でないと、職員は育たないと思います。
21	派遣に同意しない場合は派遣されない、という点は変えないでいただきたいです。
22	勤務時間などに融通が利くような形にしてほしいと思っている。志や関心があっても施設だと家庭との両立が難しく辞めていく人や就職を迷う人があると思う。

設問9 園職員

23	設問8の続き また、遺漏を作った利用者について、医療機関を受診したり摂食評価を受け現場の職員が「この人は自分の唾液でも誤嚥をしている。簡単に遺漏を考えてるわけではなく、必要な栄養を取ってもらうための手段として遺漏が1つの方法である」ということを何度も説明しても■■■や■■■は「遺漏なんて簡単に考えてないよな。口から食べるのが本人の楽しみなんだから口から食べさせろ」と話があった。実際に遺漏を作り、利用者の体調がよくなると■■■から「なんでもっと早く遺漏を作らなかったんだ！■■■側は遺漏を勧めていたに園側が拒否をした！」と真逆のことを言われ、理不尽すぎると思っている。 以上のことから新法人で働きたくないし、期待希望することもない。今度の4月で異動がなければ県を退職し転職も考えている。
24	根拠に基づいた支援のため研究を行うということと思うが、まずは現在提唱されている支援方法を正しく理解し、県および県内の福祉職の人材育成を図る必要があると思われる。 県内の虐待の解消および防止が急務であること、正しく研究を行うためにも支援体制が整えられている必要があること、研究するにあたり、現在提唱されている支援方法を批判的な視点で見つめ、仮説を立てるためにはそもそも今現在ある支援方法や理論などを理解している必要があるため、県内のみならず、全国の有識者などを招聘し、新法人ないしは県職員の知識やスキルの向上を図る必要があると思う。また、その際にはひとつの方法・領域に偏らない、様々な視点・専門性を持った専門家に御指導いただく必要があると思われるため、まずは人材育成に重きを置いた運営と、正しい情報や知識が県内各施設に広まっていくことを期待する。
25	政治的なパフォーマンスでなく、利用者の方のことをもっと考えて現実的な考えで幸せな生活を送ってもらえるようにしてほしい。
26	■■■についてまだ何もわからないのでわからない。
27	適切な人材が確保できるのか、どのような支援になるのか不明であるが、何か新しいことに取り組もうとする姿勢には共感できる
28	利用者、職員双方にとって、良い施設になって欲しい。
29	職員数は簡単には増やせない理屈はわかるし、あわよくば減らして運営できればと考えるだろう。介助や支援の業務はなかなか数値化できないので、実態を理解して危なくない勤務ができるように配慮してほしい。
30	①独立行政法人への内容は、とても良いと思っているので、継続して働きたいと思う。 ②理事長やセンター長、幹部等は、特定の民間法人から招集するのではなく、実力や知見のある方たちを最優先で招集し、設立開始を願いたい。「やっぱりそうなるのね」と落胆するような偏った編成はして欲しくない。
31	トイレ、入浴設備の充実。データ分析に基づく支援の展開。

設問 9 園職員

32	パフォーマンスだけの説明会等で支援の時間を浪費して利用者生活の質を下げるようなことはしないでほしい。
33	誰が理事長になるかで法人のカラーが変わってくるので早く明らかにしてほしい。
34	公舎の家賃は据え置きまたは減額をお願いします。 職員全員が年休20日とったとしても業務に支障がないような人員配置をお願いします。
35	福祉に経験・思いのある職員が働いていただけるのを希望します。協調性のある方が多く来ていただけたら嬉しいと考えます。
36	引き続き、支援者は利用者の代弁者としての役割を継続してもらいたい
37	特にないです。
38	全くない。
39	期待はない。職員として働く環境が一番の重要ポイントである。
40	設問とは別件ですが、記載するところがないので、ここに記載します。まず、説明会の内容に関して、昔はひどかったが[]が入って助言してくれたおかげで、職員がマヒして色々見えなくなっていた部分に手が入り、利用者の皆さんの日々の生活の、人生の幅が広がった……ようなことが言われていますが、ちょっと違うかなーと思うところもあるので個人的な思いや実際聞いたことを記載します。 ・日中活動の話 30年前の「木をやすりで削ってピカピカになるまでやらせる」：木の台などを作り、表面をつるつるにする作業。そのほかにも、機織り、簀置きの作成などを行い、どれもバザーで出品していたとのこと。また、本人たちもいろいろな取り組むものがあり楽しんでおり、売り子も行いいろいろな幅のある活動をしていたとのこと。 ・施設の話（壁、修理など） []の皆さんに入っていただく前から、現場からは壁をクッション素材や掃除しやすい素材にしてほしいこと、入浴設備を整備してほしい（普通浴以外）こと、修理を迅速にしてほしいことは伝え続けていたが、受け入れられなかったとのこと。つまり、当時の職員が悪いのではなく、迅速に対応しない当局が改善するべき点があるということだと思います。今のままの説明だと、「職員が、利用者を人として見ていなかったから、普通の間隔がマヒしていたから放置していた/気づかなかった」としか受け取れません。 ・地域移行 去年度、実際に本人の希望や状況（医療的ケアが必要）を踏まえて地域移行を進めようとしたところ、「この方が医療ケアが必要になったのは、園（寮）の支援に問題があったから。地域移行してはい終わり責任放棄をしてはいけない」と、責任放棄と決めつけてなかなか本人に合った場所に移行できなかったことがありました。そもそも、地域移行とはどういうことなのか、どのように進めていくべきことなのか、意思決定の方法は等、[]の皆様や[]の皆様は方法は固まっていて、共有はできているのでしょうか。 期待・希望していることは、利用者の皆様に関しては、研究も大事ですがまずはご本人たちの意思を尊重したうえでの支援を行うこと、安心安全な生活が守られること（もちろんご家族も含めですが）。研究の末、いずれは県全体の福祉の水準が上がること。新法人で働く職員には、パワハラ、カスハラのない健全な職場環境が提供されることで
41	[]の影響をすべて排除して利用者にも職員にも笑顔が戻るといいですね。
42	今入所している利用者が生活するのに困らないようにしてほしい。
43	なし

設問9 園職員

44	現場は職員も利用者さんも疲弊しているように思います。職員も利用者さんも皆が心身ともに元気で楽しく過ごせる施設になることを切に願っています。 余暇の充実も遠方の外出でなくても、日頃ベランダや庭をもっと活用し、おやつを外で食べるなど季節や風を感じるだけでも気分転換になるかと思います。木の実で工作も、落ち葉でカード作りもささやかですが、楽しい活動になるとは思いますがいかがですか。
45	現実的な感覚を持ち、抑圧や支配で職員をコントロールしようとしないう方、成果を外部へアピールすることを目的としない方をを幹部に迎えて頂きたいです。
46	プロパー職員を期日までにきちんとそろえていただき、同じ方向に向かっていける方々で新しいことを遂行していただきたい。希望しない人は関わることがないように配慮いただきたい。
47	年休をほとんど取らず、 も当然のように毎日シフトに入ること、何とか回るか回らないかというような人員体制では、色々と限界があると思います。業務に合った適正な人数を配置して下さることを期待します。
48	当事者目線の福祉を目指すのであれば施設全体で地域移行何人といった数字を目指す体制ではなく、各利用者の支援計画を手厚くサポートしていくような体制を作してほしい。
49	 等のトップダウンで物事が進むことがないように、また、利用者目線で利用者が生き活きと色合いのある生活ができるように、そして、決してハラスメントで辛い思いをしないで済むような自由で闊達な交歓ができる職場であって欲しい。
50	派遣職員は何を期待されているのでしょうか。役割は何でしょうか？引き継ぎだけののでしょうか。明確化してほしいです。 「中井やまゆり園で派遣として働きたい」理由の中に家から近いからと答えている人がいました。そういった理由だけでの派遣職員が集まるとまた虐待が起こると思います。派遣職員として残りたいと希望だした職員が全員配置されるのではなく、きちんと精査してほしいと思います。（今までの支援が説明できるのか。課題を見つけて解決できるのか。新しい職員を指導できるほどの知識と経験があるのか等）
51	フレキシブルな人事ということで、多くの手がほしい。休みたいときに休めて、年休が使える環境であってほしい。事務作業があるなら、その事務作業を残業せずにできる環境を整えてほしい。もう少し働きやすい環境になってほしい。
52	特にありません。

設問9 園職員

53	職員の中でパワハラや長時間労働など問題が挙げられていて新聞でも報道されているこの現状で利用者の生活だけは何としても守らなければと皆さんが文字通り身を削って働いています。自分はまだまだ未熟な部分も多くすべてが見えているわけではありませんが今の自分が置かれている状況に対して大きな不安感があります。他の職員も少なからず感じていることだと思います。少しでも不安が解消できるような説明や取り組みを早急にさせていただきたいです。
54	ありません
55	現場や利用者、そのご家族ではなく、 の方に視線が行っている限りは、今の現場が改善することはあり得ない。新法人も、結局は今の名が出を継承するため、希望や期待する所は何もない。
56	 との関係を断ち切ること。 や が集めた、息のかかった人間の排除。 自分の思い通りになる人間しか集めていない。 このままでは神奈川県の障害者福祉は につぶされてしまうと思っている。
57	科学的な視点で支援し、頑張っている職員が評価されることでより適切な支援につながるような仕組みであるとよい。
58	アンケートで具体的な回答を求めるのであれば、現場レベルでの具体的な説明をしてほしい。
59	今現状特になし。
60	詳細が分からない事がありますが、プラスの方向へ進めれば良いと思います。
61	全国から優秀な人材を集めて、県が進めている新しい取組を実現してほしい。
62	新しい取り組みもそうですが、現在生活している利用者さんにデメリットが無いように、しっかりと人員を確保してスタートを切って欲しいと思います。
63	誰が管理者になるのか(どういう方なのか)早めに知りたい 設問6にも記載したが、研修に参加しない＝意識が低いとの認識を改めてほしい。→今回の説明会の動画配信のように、ある程度の期間視聴できるようなものにし、ローテーション勤務でも無理なく受講できるようなものにしたらよいのではないかな。
64	・トップのこうあるべきという方針を押し付けられることのない(やらせ感のない)、本当に利用者一人一人の気持ち寄り添った関わりができるような法人を期待したい。 ・非入所者にも十分対応できる法人を期待したい。
65	新法人の情報がほとんど公開されていない、または決まっていないため、早めに情報が知りたいです。
66	理想に走らず、実現可能な施策を行うこと。新しい施策を行うならば、きちんと職員増を図ること。現場職員のワークライフバランスが図られること。民主的な運営が図られること。

設問9 園職員

67	利用者さんたちが地域の中で暮らしていくこと、園外の活動を広げていくことは決して悪い取り組みではありません。今の取り組みが一時的なパフォーマンスにならないことを期待しています。
68	身体的な健康も大切だが、支えているご家族等が精神的に崩れると、ものすごいスピードで千葉で起こったようなことになる。身体的なケアは改革プランでも十分実施している。しかし、地域で精神的にギリギリな状況で生活しているご家族がいることを度々耳にするが、入所もできず、県立施設の短期入所もとてもハードルが高い。市町村自治体が虐待認定をしても、その後何の手立てもできていない。「入所は入所で、地域は地域で」ではなく、ご家族がレスパイトできる時間を設ささけるためのショートステイ等を活用し、地域で息長く利用者さんが暮らし、最終的には親なき後も地域で暮らせる体制づくりの一端を担う法人になってほしい。
69	当事者目線の障害福祉が着実に実現できる法人になることを期待するとともに、直接もしくは間接的に協力できたらと考えています。
70	新法人の取り組みは関心がありますが、ヒューマンな関わりと科学的根拠を求める際のバランスが難しいと思います。... ただエビデンスをもって、を掲げると「目に見える結果」だけを求められ、その既成事実を作り、「やっただけ」なのかわからないものになってしまうのでは…。と感じてしまいます。 また、その「結果」を出すために本来、根底にあるはずのヒューマン的な関わりが抜けてしまうのでは…。人を育てるのは時間のかかるものですし、そのノウハウをもって接する指導者がいないとただの叱責になって、結果的に利用者へ良い影響がないように思います。 また、「利用者さんの支援」と「職員を育てる」ことは同じかなと思いますがいかがでしょうか。それぞれのステップや困難さをそれぞれの立場から考え、必要なサポートをすることでその人（利用者、職員）が目的を達成したり、幸福感や自己実現、スキルアップをしていくのでは…。ただただ、相手（利用者、職員）が「できないから」で叱責していたら発展はないのではないのでしょうか。そのような雰囲気にならない場を作っただけだと新法人としてよりよい発展をしていくのではないかと思います。 施設アセスメントをしっかりといただき、段階的にステップアップしていく、管理側、職員側がともに協力をしあえる施設だといいなと思います。

設問9 園職員

71	期待や希望することは元々なかったが、さらにその思いは強くなった。 中井やまゆり園の職員が、今までの改革をどのように受け取っているのか、障害サービス課でアンケート結果を取りまとめて議会に公表しているはずである。また、中井やまゆり園は労働基準監督署から勧告を受けている。これらのことについて説明会では一切触れず、都合の良いことしか公表しない。園の■■■■もこのことについて口をつぐんだままである。自らの過ちや問題点について指摘されていることを隠し通し、ほとぼりが冷めるのを待っているとしか思えない。県が独立行政法人に関与するということは、これからもそのような考え方で法人は運営され、県の意向に左右されるのであろう。 今の障害サービス課■■■■は、園の利用者、地域にいる障害がある方、それを支える家族や支援者より、■■■■の顔に泥を塗らないように働いているとしか思えない。 新法人で働くくらいなら、中途退職し、県外に転居するほうがはるかに良いかもしれない。そのような思いが生じるくらい、説明会を聞いて、絶望を感じている。
72	県の財政難は理解し、経費削減のための委託化は理解していますが、委託化、会計年度職員の増加により、虐待や不適切な支援が増えていると考えます。人は財産です。よくも悪くも人で決まると 생각합니다。 人を育てる人事、システム。研修や学びの機会にお金をかける必要があると思います。 余談ですが、施設は行事やお祭りなどがたくさんあり、とても楽しかったです。それが、個別化や省力化で無くなった印象があります。私は、行事やお祭りは職員が一体化や愛着などを作るものだと思います。中井でも、新法人でも行事やお祭りを大きくやってほしいです。そして打ち上げをやり、親睦を深めてほしいと思います

設問9 園以外

73	新法人設立という新たな福祉の変革なので、不明な点もあり、今後どうなっていくのか注目していきたいと思います。
74	まだわかりません
75	趣旨は理解しました。その具体化に向け、課題はたくさんあると思いますが、今後詳細について知る中で、心理系分野の役割について具体化できるとよいです。
76	特にありません。
77	科学的な視点での結果報告を知りたい。
78	現場を"実際に"見て生じる課題問題に対応し支援を行うことができる施設・法人であってほしいと思う。
79	やまゆり園で働くというだけではなく、もっと具体的に「強み」を見せられないと人が集まらないような気がします。
80	成人だけではなく児童も対象として欲しい。 強度行動障害の支援は本当に大変。毎日のように噛まれたり、叩かれたりとケガに怯える毎日です。利用者目線はもちろんだが、支援者として関わる職員の事もしっかりと考えて欲しい。 現在、中井に存在している[]から職員がパワハラを受けているという情報が出ている。その調査はすべき。また、その[]は独法化に関わらない様にしたい。たとえ、支援ができていない職員に対してでも暴言を吐く人間が関わっていると思うだけでも、独法化に未来はないと感じる。ネットでも発言内容は知ることができたが、人物を特定する事はできず。パワハラを行っている[]は公表すべき。
81	研修や研究といった面で、地域と連携しながら支援していく、これからの支援の形について、どのように構築し得ていけるのか、また本県モデルにと止まらず、他の自治体でも取り入れていけるような研修や研究、支援をしていけると良いと感じました。
82	津久井やまゆり園事件の[]はその犯行声明で「親の疲れたような顔、職員の疲れたような顔」云々と発表しています。自分はこの言葉を考え続けています。そして、その様な印象、状態にならない様に、職場作りを心掛けています。家族や職員がどの様に感じているかは分かりませんが、、、。新法人には、障害のある方のみでなく、家族や職員が笑顔の多い施設運営を大切にしたいと思います。
83	資料にある「構造化された環境では、きっと施設の外に出ることはない」という文章を見て、とても残念に感じた。構造化イコール刺激を排除した支援ではない。 生涯にわたる、コミュニティに基盤を置いた支援はTEACCHの基本原則である。

設問9 園以外

84	・具体的にどういった人員体制で、運営するのかを示してほしいです。 ・社会福祉法人などの多くは、理事長や幹部の理念や行動力などが大きく影響すると思います。 ・国は、「独立行政法人等の役員人事に関する当面の対応方針について」（平成21年9月29日閣議決定）に基づき、公正で透明な人事を確保する観点から、独立行政法人の理事長を募集しています。今回の県立福祉機構では、誰が理事長を務めるのか、理事長や幹部の選定プロセスはどうするのかを示していただきたいと思いました。 ・また現場の幹部（課長・寮長級）の経験や技量によって、現場の職員に、どこまでスーパーバイズができるのかも、変わると思います。そうしたポジションは県職員が担うのか、プロパー職員が担うのかなども、示していただきたいです。 ・県では昇給試験等がないため、一定の年数の勤務経験がないと、幹部や寮長、主任などにはならないです。若い人の中でも意欲や経験がある人がいると思うので、新法人では、そうしたポジションも公募や推薦をしてもよいのではないかと思います。 ・説明会で話がありましたが、今までは施設で勤務をしてからキャリアを作っていくことが当たり前でしたが、現在は施設の数や利用者数が減って、施設で勤務したことがない職員も増えてきています。また、新卒以外で、長年経験がある方で採用される方も増えてきています。「かながわ福祉エキスパートナビ」も7年前のものとなっており、県の専門職として目指すべき方向や人材育成、キャリアアップについても、見直しが必要なのではないかと思います。 ・分野が違くと、他の分野の職員がどういう仕事をしているのか。今何が起きているか分かりません。今回のように、他分野について知ったり、意見交換をする研修が、もっとあっても良いのではないかと思います。 ・先日中井やまゆり園のアンケート結果が公開されていました。今後アンケートを実施する際には、結果は公開する予定があるのかを、あらかじめ示していただきたいです。 ・昨年の夏に福祉職向けのアンケートがありました。その結果や、結果を基に、どのような取組をしていくのか。改善していくのかも、お知らせしていただきたいです。
85	例えば空き家対策とか商店街の空き店舗対策として、今までとは違う施設の展開とか考えられたら面白いかなと思いました。県職員くらいの給与や待遇があれば、グループホームで働いてみようと思う人もいると思います。日中は法人内の業務で世話人と兼務なども考えられると幅が広がるかなと思います。
86	具体的な方法が思い浮かばないが、いい意味で、各部門や法人同士の競争原理みたいなものを導入しないと、良いサービスが作りにくいかなと思いました。
87	県立施設では対応の難しい利用者さんが多いなかで職員不足で疲弊している状況を聞く。若い職員の方も、支援に前向きになって取り組めるフォロー体制や環境が整うと良い。
88	期待や希望はありません。全て当時の運営側の知識や認識不足として片付けることはできないと思います。結果や事実だけに過剰に反応するのではなく、当時から職員が困っていたならば共に考え、責任を背負ってくれる仲間はいなかったのでしょうか。[REDACTED] も、ただ人格を否定するだけなら不要です。結局職員が長時間労働し、人格を否定されて負担を背負うだけならば、その先に未来はないと思います。

設問 9 園以外

89	施設は閉鎖的であり、施設内で完結しがちなイメージはあります。そこに新たな視点でメスを入れる取り組みは素晴らしいと思う。自己決定支援にも通ずる部分はあるかと思います。利用者の幸せはもちろん、職員の働き甲斐にも繋がるようになり、相互作用から新たな形が見いだせる事を祈っております。
90	障害者だけではなく障害児も含めた事業としたほうが利用者も保護者も安心（行政間のつなぎ目を極力なくす方向）できるような体制が取れると良いなと思いました（法律もあるので、とても難しいですが・・・。）
91	当事者目線の支援のモデルを示していく先駆的な役割。
92	うまくいけばとても良いモデルだと思いますが、発端となったやまゆり園の状況について、現場だけが悪いわけではなく、所管課をはじめとした県の関わり方（人材育成や全面オープン時には中間・通過施設とされていたのが、いつ、どういった状況、判断で、「終の棲家」の認識になったのか、そこに対して県がどう対策をとったのか等）についても忖度なく、検証してほしい。それがあってのモデル転換だと思う。
93	利用者や家族にとってプラスになる支援を提供することを前提に、現場の職員が「利用者のためになる」と理解・納得した上で先進的な支援にあたることができ、困った時には適切なアドバイスを得ながら、利用者の将来を見据えて主体的・積極的に考え、新たな支援に取り組むことができる体制になることを期待します。
94	利用者の人権の尊重と隠ぺいする組織の改善を期待する。
95	支援方針にエビデンスを活かしていくことは、研究者に限ったものでもなく、現実離れしたものでもなく、とても日常的事務なことと思っています。経験値や所属集団の中での考えから一歩踏み出し、異なる考え方に触れ、支援方針の参考にしていけることは、私たち自身の助けになることと理解しています。つまり研究は、現場のためにもあると思っています。 それには、知見に触れるための、現場の人的、時間的、能力的余裕が確保されることも不可欠であると考えます。 隔離拘束といった身体的行動制限は、精神科病院でも行われています。新法人の取り組みを、ぜひ精神科病院にも活かせるように希望します。
96	派遣の意向を確認する際に、同意せざるを得ない状況にするのはやめて欲しい。過去に派遣された際に、県立で同様の施設がないとの理由で法人職員は事務職の給与水準となり派遣職員との給与格差があったと聞いている。今回はそのような事の無いようにお願いしたい。
97	利用者が生活し易く現場の状況を把握して職員を人として扱ってくれる職場環境を希望します。
98	移行先がみつからない過齢児を受け入れてもらいたい。 説明会の資料を出先機関にも先に送付してほしい。このアンケート結果を公表してほしい。
99	現場を置き去りにしない改革と運用

設問9 園以外

100	今までの支援に反省すべき点があったのかもしれませんが、動画中で、「このような支援では人を人としてみなしていない。」という指摘があったとの場面がありました。少なくとも現場の職員は自分のプライドにかけて、そんなことはないと思います。新法人に対しては、反省と課題を整理しながら、利用者さんが幸せになる支援を実践してほしいです。そのためにハ人員配置などミリの名人数で加算していただきたい。
101	もう少しビジョンや具体的にどのような科学的な根拠を示されるのか明確にしてほしい
102	病院機構で承継されたものが、中井やまゆり園では非承継とされた理由が知りたいです。
103	運営管理体制が変わることで、実施の支援の場にはどのようなメリットがあるのか、利用者にとってのメリット、職員のにとってのメリットは何か知りたい。独立行政法人化した病院の場合は具体的にどのように変わり、どのような成果があったのか知りたい。
104	県職員も独立法人職員、民間職員ともに働きやすい環境を作ってほしいと思います。
105	とくになし
106	職員を守る体制を作らないと、誰も働かなくなる。＜科学的なエビデンスに基づく福祉＞に期待。若者が働きたいと思う職場になってほしい。県民にとっても、神奈川に住んでいてよかった、と思える福祉施策となってほしい。
107	新しいことへのチャレンジは素晴らしいと思うし挑戦すべきですが。必ず検証をしてほしい。これまでの流れを見ると立てた計画をやることありきで進められるのも中にはあったので、何年かやってこれでいいのか？などエビデンスのある検証をしながら進めてもらいたい。
108	相談業務では期待することはない。施設であれば、今回の事件があったことで、衣食住の充実が保証されていくこと、人員不足を埋めようとする動きが常にあると思うので、利用者や働く職員にとっても良いのではないかな。
109	言葉でのやりとりができない利用者が多いと思います。知的にハンディが思い方の声なき声を聴いてください。
110	小さい規模の組織になって出直してほしい。風通しがよく、顔が見える関係になり、利用者、職員、管理職がすぐに話し合っよりよい支援のために意思決定できる、そんな職場になれば働きたい人もふえるだろう。 なぜ、こうなったのか、職員個人の問題もあるだろうが、組織の中で起きたことなのだから、組織に問題があると考えるのが自然。同じことを数十年後に繰り返させないためにも、今県で働く職員に組織の問題を明らかにして、共有してほしい。どのように組織が機能不全になっていくのか、それについてすべての職員が議論できるように情報を共有してほしい。組織改編在りきで走っていることに不安を感じます。組織も人と同じく、お金やケアや思いやりを与えられなければどんどん劣化していく。独法になるだけでは改善できないと思います。
111	外部の目が入り易くする事は、確かに組織の風土を柔軟にするかもしれませんが、しかし、いつまでもまとまりのない、組織になるかもしれない。すると内部での小さなセクショナリズムに陥るかもしれない、中心になる人、人柄が大事だと思います。人財を活かせる仕組みを作って、いい組織にしていって欲しいと思います。 頑張ってください。

設問9 園以外

	行政から離れることで、福祉のイメージを変えるような地域を巻き込んだ取組みが行われてほしい。
112	※アンケート項目に心理系がないため、便宜的に行政系を選択しました。
113	のハラスメントや上限を超えた時間外労働の是正勧告がニュースになっているため、その対応をしっかりとっていただき、新法人ではそのようなことがないことを期待したいです。
114	特にありません。
115	過渡期に在籍する利用者にとって不利益のないよう進めていけると良いと思う。
116	研究部門、人材育成部門及び地域づくり部門の稼働。
117	派遣期間については、県のポータルなども見れなくなり、県の動向、情報が入ってこなくなり、他の県職員と派遣終了を情報面などで、差が大きくなるのではなどの不安が強くなるのではないかと懸念している。（ポータルの閲覧などができるようにしていただきたい。） 現在入所されている家族に対しては、きちんと全体を把握している責任者などから、研究など実施内容、プロセスなどを説明し、同意を得た状態でスタートしてもらいたい。（蓋をあけてみたら、担当になった職員がこれから同意を得る段階というのは非常に厳しい。） また、研究内容目的を把握していない状態で勤務することに抵抗がある。（それこそ、内容や過程において、透明性がないと、研究対象としての利用者様と思いたくないが、一人の人として見られなくなる瞬間、法人の方向性に疑問を抱えたまま勤務ということが起こるかもしれないという不安もある。）
118	誰もが働き甲斐や生きがいを感じられる、そんな場所であってほしいと思います。そのためには、これまで培ってきたものを大事にしながら、職員も当事者も大切にしていってほしいと思っています。今回の説明会ではそんな風に感じられませんでした。
119	全く期待はないし、施設もすべて閉園して福祉職はケースワーカー職に変更すればいい。
120	人材確保を進めていくためには、待遇面が担保されないと集まらないのではないかと思います。給料がよいと人が集まるかもしれないが、障害者に理解ある人が集まればよいと思っています。
121	施設を利用する利用者はもちろんのこと、現場で働く職員がやりがいをもって生き生きと働けるような、現場の職員の意見も十分に取り込むことができる組織や職場環境を望みます。
122	地域の社会資源をを活用して開かれた施設を希望します。

設問 9 園以外

123	いわゆる科学的な目が不足していたのは事実なので、今後の取組みによって、適切な支援の源が言語化されて多くの方がそういった支援を行えるようになることを願います。 釈迦に説法ですが、自閉スペクトラム症のある方の目に映る、感じている世界は健常者と言われる方とは少し異なるものです。関わる方に必要なことは、正しい知識を持って彼らの目でこの世界をみることで、彼らの特性や強みを活かして、彼らがそのまま社会の中で生き生きと暮らせるように支援していくことだと思います。 ともに生きるには、お互いをよく知る、理解することが必要ではないでしょうか。そのために、まずは彼らの世界を知る、よく理解する。（その方の人生を知る、障害のことを知る）そして、彼らの見方、感じ方でこの世界を見て、こちらの世界を彼らに分かりやすく伝える。そうすると、彼らがそのままこちらの世界でも安心してしあわせにともに生きることができるようになるのではないかと思いますし、そうした共生社会を目指してほしいです。
124	「働き手不足」への対応として、「科学的な支援」を行なう職員の待遇改善（民間水準を大幅に超える給与水準）が必要。
125	新たな取組みが実を結び、今度は成功事例等聞ける場があると良いなと思いました。
126	プロパー職員の採用の難しさを感じましたが、目指す方向性は理解しました。神奈川県チャレンジに期待しています
127	ケアの機械化やAI等の導入が進めばより科学的な支援となっていくと思う。
128	特にありません。
129	本アンケートの設問の所属分野がジョブローテの～系にそろえて頂けると回答がしやすかったです。
130	施設見学ツアーをしてほしい。
131	既存の民間施設で対応できない利用者に対応できるスキルや機能
132	私たちは、現場の経験しかない職員が「ちゃん付け」で呼ぶような施設に入職し、資格取得の際学んだこと、新たに現場で研修等で学んだ専門性を生かして利用者対応にあたってきた。職員の資格取得状況も踏まえ、そのうえで検証、研究を進めていく必要がある、と考える。
133	福祉職は離職者数が非常に多いだけでなく、新たな人材の確保も厳しいと聞いている。 法人体制の整備だけでなく、県として人材確保と人材流出の阻止のための策を講じる必要があるのではないのでしょうか。 神奈川県という自治体で働き続けたいという思いがあるからこそ、母体である県がこのような状況では、新法人への期待の思いがあふれるはずもなく、県に対する憂いの思いが先行しています。
134	言語がない重度障害者への共感的理解をどのように構築していくのか。相手に伝わったかどうかをどのような指標で評価していくのか。
135	働く希望者がいる一方で、働きたくないと考える方もいるため、各々のその考えに至る理由を掘り下げて聞きたい。
136	特にありません。
137	上記のとおりです。
138	なし

設問9 園以外

139	各世代を満遍なく配置していただきたい。
140	利用者さんのために支援員を手厚く配置してほしい。
141	施設以外にも様々な職場に広がっていただければいいと考えます。
142	職場の働きやすさや魅力を高めてほしい
143	第三者（民間企業等の全く行政とは関係ない方）からの視点は世間とのずれを確認できるいい機会だと思います。行政だけで進めない方がよいのでは。と、とても中井のことをわかっているわけではありませんが、思いました。
144	職員が働きやすい環境は間違いなく、利用者や当事者に対して良いサービス・支援が行えると思うので、働く環境改善にも期待したいです。
145	新法人が設立され、利用者が日々をさらに充実させてご家族ともに楽しく過ごせるように願っています。 職員の体制、人権等も守られ、利用者だけではなく働いている職員の気持ち等へも配慮された新法人となる事を祈ります。
146	トップダウンだけではなく現場のスタッフが自発的に動機付けを持てるようにて欲しい。専門職としての技能獲得も動機付けとはなると思うが、職員同士が利用者とともに一体感や達成感などのやりがいを感じられるようにチームスタッフのアプローチ方法の準備も必要を思っています。
147	職員が働きやすく 入所者が安心して生活しやすい 施設になってほしい
148	ますます地域に開かれた子どもにとってやさしい、職員にとっても働きやすい施設になって いってほしい。
149	直接支援の内容を変えていきたいと思ったとき、人員確保が難しいことが予想されるが、採用選考が3回あってもどれくらいの人数が集まるのか未知数だと思う。また、就職したとしても継続して働きたい環境であるかも重要だと思う。中井やまゆり園にいた時期もあるが、利用者支援よりも職員間の人間関係の方が難しく思うことも多々あった。その人間関係のために利用者支援に影響が出るようなこともあったのではないかなと思う。経験年数の長い職員を偉いとする雰囲気があったため、一人の意見に左右されず、みんなで考える職場環境があると良いと思う。 また、ハード面になるが、施設の老朽化によるもので仕方がないと思うが、寮内の内装が暗かったり、壁紙がはがれていたり、電気が暗かったりするように感じていた。色調の明るいものにすれば雰囲気が変わるだろうにと思っていた。扉も鉄扉だったので色や柄だけでも変えれば雰囲気も変わると思う。
150	完全移行後も給料を県職員と同じに支給できるのか？
151	特にありません。
152	今まで携わってきた方々もとても一生懸命やられていた方も多かったので、一部の方のことでこのような評判になることは悲しいですが、必要な施設だとは思っているので良い環境に変わってくれたらうれしいです。
153	せっかくの良い企画なのに立地が中井町であることが厳しいと思いました。

設問 9 園以外

154	給与体系や労働条件は早く示してほしい。 現時点ではこうだけど、数年後には変わるような給与体系や労働条件ではないものとしてほしい。
155	なし
156	パワハラな [] が君臨する限り、それを県が許し続ける限り、独法化したとしてもだれも中井で働きたい！と思わないと思います。
157	特になし
158	利用者の方々の意思確認の方法が適切なのかどうかの検証。
159	過去、県立施設を民間移行へ主導した者の後悔として、常に公的な責任という視点は忘れてはいけないと思っている。ただ、柔軟的、先進的、開発的な取り組みを可能とするものと期待したい。
160	中井やまゆり園の現状、メディアや報告書で見える状況を踏まえると、新法人が目指している先駆的や科学的やらの言葉は浮いて見える。理想ではなく、現実的な課題を踏まえての対応を期待したい。きらりの設立時においても研究機能等の文句はあったが、実際は機能していない。それを踏まえると新法人においても、同様の事が生じるのではないかと懸念する。
161	ストレス耐性が高い方ばかりではないと思うので、チームで仕事ができるようサポート体制を整えていただきたい。
162	神奈川県は、障害福祉においてマイナス面で有名になってしまった。これからは逆に、一歩進んだ取り組みを見せていけるよう、先駆的な取り組みを是非成功させてほしい。
163	取り組みながらプラスマイナスどちらの評価も含め様々な経過について大切に扱い、利用者の方々はもちろん、スタッフにも優しく。双方が充実した日々を送ることが保証される法人であってほしい。
164	特に、中井にいく職員には、県から大切にされていると実感できるようにしてほしい。意欲は確かに大事だが、土台がしっかりしていないと持続が難しくなると思います。
165	神奈川県として重要施策だと思いますが、独立行政法人にする意味合いがいまいち、よくわかりませんでした。
166	当事者目線の支援、地域移行という視点はとても大切だし、良い取り組みだと思いました。ただ一方で、中井やまゆり園、重度の障害者に対する意識はいまだにマイナスなイメージがあり、そういった抵抗感は職員の中でも少なからずあると思います。抽象的ではありますが、それが少しでもいいイメージになるような取り組みであったり、職員へのケアが充実しているともっと良いと思いました。
167	民間のグループホームは支援の質にバラつきがあり、特に重度障害者を十分に支援できる事業所は少ない現状があるかと思います。新・中井やまゆり園での支援効果を継承するために、地域移行の最終的な受け皿となるグループホームの育成や開設についても、新法人で柔軟に行えることを期待します。
168	新しい風を吹かせてほしいとは思います。
169	更なる検討、模索が必須と考えます。民間目線で見ると、付け焼刃で神奈川県は早くやまゆりを切り離したいんだなと捉えられかねないと思います。

設問9 園以外

170	現段階で、具体的な科学的根拠が証明されている論文があるならばそれを示した方が分かりやすいのではないかな？
171	職場内にて、職員の声を聴いて改善してあげてほしいです。
172	今後の福祉支援の形として、一つのモデルとして参考になるものになれば良いと思う
173	利用者のためになるなら頑張してほしい。
174	まったく期待も希望もないのでありません。もう間に合いそうもないので。 東京都がかつて直営施設を指定管理化したときもこのような拙速なやり方ではなかったはず です。 すべての福祉職に辞める権利や主査以下であれば異動拒否する権利はあります。 まして福祉公務の世界も10年前とは様変わりして完全なる売り手市場です。平場の職員を甘く見てはいけないと思います。 横浜市、特別区への大量転職が目に見えるようです（ が「もっと独法化説明をやって退職させてほしい。うちに来てって狙ってるのでは？」）実際に何人からか「異動強要されたら（一本釣りするって昨日も説明ありました）辞めると聞き及んでいます。 いいたくはありませんが（ にどうこう言っているわけではありません。それにこれについても組織トップが説明するべきだと思っています。）、 周辺の強い思いを「本人目線の・・・」とすりかえて実現させるためには容赦しないという組織としての姿勢が780人という全国でもまれにみる多くの福祉職のかかなりの割合を離反に導いていると思っています。 最後に。このアンケートの結果を択一回答だけではなく、記載回答も含め公表することを強く望みます。（それこそが今置かれている現状、課題を共有できる有意義なツールになると考えます。）
175	虐待の無い支援を行える人材を育成できるようにしてほしい
176	定期的な現状の発信。 派遣職員は、ある程度障がい者支援において能力があり且つ思いのある職員である必要性を感じる。施設職員が療養を必要とする職員や、直接支援に思いの無い職員ばかりでは、現場は変わらない（これまで県の各施設を見ていていて感じる）。直接支援の現場が、当事者と しっかりと向き合っていける環境にしていくことを望みます。
177	利用者目線や「新しい福祉」を実現しようとする職員や地域社会に対し、真摯に課題や思いや聴き取り、それに対し法人や県がどのように受け止め、必要な見識や資源（金・人）を不断にサポートすること。 虐待などを擁護するものではないが、福祉を希望して従事し始めたのに、不適切業務に至る過程（長い視点・同僚や上司の関わり含め）や介護離職やメンタル休業、の現状に考察や共感をも持って運営すること。
178	研究ができるかもしれないというところには興味を持てましたが、研究内容には疑問が残りました。障害者の具体的支援方法等の研究ができる良いかと思いました。
179	重度の障害者が地域で暮らすため、一定期間を過ごす、通過型・循環型の施設になってほしいです。

設問9 園以外

180	からの職員に対する侮辱、威圧的態度、「と一緒だぞ」と発言した への対応と、発言を受けた職員への心のケアはどのように対応しているのか、見解を伺いたい。このようなが新法人にもスタッフとなるのか、ハラスメントのない職場を作ることができるのか。職員を守るために、具体的にどのような対応を考えているのか伺いたい。
181	上下間、他法人間などとも風通しのよい関係の中で、職員も前向きに頑張ることのできる職場にしていきたいと思いました。
182	県の派遣について、3年という短いスパンの中で支援を行うことで、利用者との信頼関係の構築を図ったとして、その後異動が重なってしまうことが利用者にとっても、不安材料になることが考えられるため、プロパー職員がメインで支援を展開していき、派遣の県職員がサポートできるような環境を作ってほしいと思いました。
183	本県の福祉行政、特に県福祉職の在り方や人材確保については、危機的な状況にあることと思いますが、新法人も含む本取組については、その大きな転換となり得る可能性があると思いましたので、その点を期待します。また、本県福祉の現場の意見や、設問8回答記載の施設の現状と振り返りを、公平かつ透明に反映させた取り組みを期待します。
184	利用者もスタッフも楽しくすごせる体制や仕組みになれるよう願っています。
185	職員が自分の職場を誇りに思える職場であってほしい
186	序盤の動画を見ているのが大変辛くなって一度止めた。 辛くなった理由は、自分が知的障害者福祉司でよく知っていた中井やまゆり園でなせこんなことが起きてしまったのだらうかと胸が痛くなった。新しい建物になり見た目が立派であったと同時に強度行動障害については大きな期待を受けた施設だった。そこで起きた職員による暴力、暴言。それを防ぐことはできなかったのか。特にの責任は大きいと思う。こういった陰湿ないじめを防ぐこと、管理がずさんであったらまた起きてしまうのではないか。新法人では、陰湿ないじめのない利用者も支援者も安心安全な場所づくりを担ってほしいと思う。
187	設問6のとおり。障害の方、そしてその家族が安心できる生活を届けてほしい。また、地域移行の実現に向け、県とともに十分に力を発揮してほしい。職員がプライドをもって働ける職場にしてほしい。
188	職員も大切にされる法人であってほしい。強度行動障害の支援は困難を極めます。職員の体をなして仕事をするのも大変ですし、それを支えることのできる職場であることを切に望みます。
189	よりよい利用者支援が実践されるよう 希望される職員の方々が適材適所で良い職場環境で健全で疲弊することなく高いモチベーションを維持して勤務され、質の高い福祉の実践がされることを願います。
190	当事者目線での支援を継続するのは当然ですが、働き手が頑張りたいと思える環境整備も支援の質を向上するために必要な要素だと考えます。そういった視点での話も是非伺いたいと思います。
191	特にありません。

設問 9 園以外

192	実験的な取り組みは大いに評価したいですが、利用者ファーストはぶれないでいただきたい。
193	期待が持てない。
194	近年の心理職採用の職員については、2, 3年の派遣はおそらく希望しておらず、もし、派遣するとなると、転職等を考え始めることが憂慮されます。近接領域の福祉現場を知る、ということであれば、数日間の研修にとどめるか、子ども医療が行っている半日から1日の見学と座学でも良いのではないかと思います。県職としての知識と経験を広げることと、この仕事を続けたいという専門職としてのやりがいのバランスをとることが必要だと考えます。
195	支援者の質を上げるには、座学や実践等の研修の充実が重要であるとともに、目標とできる職員の存在感が大事だと思う。福祉業界だけでなく、あらゆる業種で人材不足の中、どこまで対応できるのか。新法人だけでなく、県福祉職全体として考える必要があると感じている。
196	事務的な部分や、組織体制等、細かなところで県のルール等に縛られて行動が制限されることは避けたいなと思いました。 小規模な事業所では、ある程度予算の執行や、意思決定について現場がどんどん決めて実行していることも多く、柔軟な対応が可能であったりします。 大きな組織であればあるほど、組織の思惑と異なったり、方向性を確認する為に時間を割かなければならない状況となってしまうと、生活を支援する施設においては、非常に動きが取りづらく、停滞してしまう部分もあるかなと感じます。 現場発信で、現場がしたい試みや取組を、現場の裁量で行えるような仕組みもあると、良いのではないかと思います。
197	よりよい障害福祉の担い手になるような組織になると、神奈川の福祉も変わっていくように思います。エビデンスは大切ですし、裏打ちされた支援技術で相互に生きがいのある生活が送れることができるよ良いと思います。それは、日常の当たり前のことの中にもあるように思いました。
198	新法人だけではないが、多くの施設、企業が連携できるような繋がりが増えると良いと考える。
199	特になし。
200	携わる人たちが良い方向に進んでいくと良いなと思います。
201	取組イメージにある緊急一時入所等のニーズに柔軟に対応できる体制の構築は、県立施設の役割と地域移行の視点からも重要であると考えます。一時入所の当事者、家族のニーズは一刻を争うことが多いため、養成も大事ですが、設立当初でもこの部門は、相談支援のコーディネート能力の長けた人材の配置が必要であると考えます。
202	県直営よりも、民営や独法化された方が、新しい考え方を取り入れるという意味で良いと思う（県施設は現状維持、自分たちが楽に行う方法を考えているように感じる）。新法人として、一から施設を作り直してほしい。
203	利用者だけでなく職員の気持ちも大切にしていって欲しいと思います。働く職員がこれからも働きたいと思える職場づくりも必要です。職員が疲れ切っていて利用者が楽しい職場はないと思うので。

設問9 園以外

204	理念に向かって試行錯誤しながら高めあうのではなく、いろいろな人材が集まった中で派閥ができてしまって、違う気苦労が蔓延することなどないようにする、工夫・仕組みが必要だと思う。
205	障害を持つ当事者が、個人として尊重されるような取り組みが継続されればと思います。
206	利用者一人ひとり違っていることを踏まえ画一的な支援にならないことが必要であると考え る。また、現場の職員間で支援について、論議できるような場を多く設定し、皆の進む方向性を一致させないと、さらに迷走し、利用者が不利益を受ける事態になりかねないと考え
207	民間に引き継ぐ形で仕事をすることが過去にあったが、民間は確かにフットワークが軽くいろいろ出来ていた印象があります。何か必要なものや欲しいものなどすぐに購入できたり、とにかくフットワークが軽い法人になることを期待したい。
208	利用者や県民にとってより良い支援ができる場所であれば大いに進める必要があると思うが福祉職ならびに人材育成の担い手を県本体ではできないと諦観して半民営化的な形で理念先行の施設づくりにならないで欲しい。
209	全国から志のある方々が集まってくる魅力ある組織になっていくことを期待しています。
210	特になし。
211	新法人設立後、職員の働きやすい職場づくりを進めてほしいと思います。
212	理念を現実的に実行できるだけの人員体制を確保していただき、職員のモチベーションが維持できる法人設立を願っています。 基礎研修が表面的なものではなく、職員の素地にも影響するものではないと、この課題は解決されないと考えました。
213	折々に実践内容や成果を広報誌だけでなく、広くマスコミ等に発信していただくことで、かながわでの新しい取り組みを伝えてください。この取り組みを素材にメディア等でも様々な立場の意見を議論する契機になったり、福祉を志す人材が増えることを期待しています。
214	志の高い人材が集まり、理想図のようになるとよいと思いました。
215	新法人で行われたフレキシブルな取り組みで得られた知見が互いにフィードバックされることでより一層の業務改善につながることを期待したい。
216	このような説明の場を複数回行っていくとよいと感じています
217	独立行政法人は心理職員も勤務しているのか気になった。
218	まだ何も思いつきません。
219	利用者視点は大切なことだと思います。改革が必要なことも、過去に中井やまゆり園での勤務を経験して感じていました。しかし、職員を否定するだけではうまくいかないと思います。職員の支援を否定ばかりする[]の発言やそれに基づいた新聞報道を見ていると、職員がモチベーション高く働いているかとても心配です。どうか現場で働いている職員を大切にしてください。
220	今までの状況が良いとは思えないので、プロジェクトを実際に実施してみて改善していく必要があると思います。
221	地域の理解が固まった上での開設

設問 9 園以外

222	特にありません。
223	同じことを繰り返さないよう、利用者目線に立った施設運営に期待したい。
224	説明会でも仰っていたとおり、福祉の世界は、個々の支援員が持つエビデンスは大量に持ち合わせているのに、集約しエビデンスとして表在できていないと思っていました。これを機会にいい方向に進んでいくといいなと思った次第です。
225	単なる指定管理民間委託とは全く異なることは理解できた。中井をこのまま使用するにはハード面の不備、老朽化の改善は否めないと思われる。あそこに住みたいとは思えないし、家族を入れたいとは思えない。また、民間のように柔軟な外出への対応、その日に空いている車があれば起案することなく外出できるという状況やそれにこたえうる車の台数の整備。など、具体的な例ではあるができるようになるのだろうか。現在生活している利用者の皆さんにしわ寄せがいかないよう、より良い生活ができるよう期待している。
226	働いてみたいと思う職員の熱意に応える職場環境であってほしいと思います
227	・ 県福祉職として、独立行政法人の機構本部経営企画室で経営企画や広報等で法人運営に携われる機会があるのであれば、これまで様々な職場を経験してきた知見が活かせる、と思う職員も多いのではないかと感じました。 ・ 県福祉職が異動対象となる中井やまゆり園の現業職以外の職種があるのであれば、職種とその募集人数を早めに明確にしたほうが良いと思います。
228	所属していた秋寮では、現在、障害福祉サービス課職員の応援が来る等、職員配置に大きな不安定さが出ています。これまでの中井やまゆり園での失態を挽回していく必要性は感じ、期待もしていますが、今までのように利用者を後回しに物事が進んでいるところがまだあると思います。それだと、また同じ過ちを繰り返すのではと心配しています。ぜひ中井やまゆり園にいる民間施設経験者の意見を聞きながら、特定の 以外にも勉強をしていって欲しいと思います。
229	科学的なエビデンスをもとに支援が構築されることで利用者さんの生活がこれまでより充実することを願います。 また、目指すような化学的エビデンスをもとにした支援が広がることで行き場のないといった方がゼロになり、事業所が受け入れを判断するのではなく、当事者ご本人がサービスを選べる社会になることを期待します。
230	かつて知的障害者の施設で働いていて、現在は親として 施設職員としての見方と親・家族としての見方の乖離を切実に感じています。私は「当事者目線」という表現があまりピンとこないが、大切なことは、本人が楽しく過ごせることを目指すことだと思っています。
231	使命感だけでなく、職員一人ひとりを大切にすると考えるような打ち出しが必要だと思います。
232	積極的な取り組みで良いと思います。
233	風通しの良い、働きやすい職場づくりを実現してほしい。
234	将来的に様々な分野の福祉的な研究ができるような法人になるとよい。

設問 9 園以外

235	エビデンススペースの支援を作っていくという試みを行う中では大学など研究機関との連携は必須であると考えます。神奈川県保健福祉大学や筑波大学など様々な研究機関との連携を期待したいと思います。
236	科学に基づいた福祉人材教育と組織的なストレスマネジメントの実施を期待したい。
237	さがみ緑風、三浦しらとり、厚木精華、の民営化も進んでいない状況を鑑みれば、その3つの施設についても独法化に組み込んでもいいのではないかと、フィールドが複数種ある方が科学するうえでもパターンが増やせるとおもう。
238	福祉分野でも介護福祉の現場等ではエビデンスに基づく支援は行われていると思います。そこには、医療関係者がいたり、専門学校等での「エビデンスに基づく介護」といった教育が行われていることが大きいと思います。県職員の場合、児相、障害、生活福祉と分野が広く、様々な背景（任用資格があればよいとか、勤務地で選ぶとか、相談、行政は避けて施設を選ぶとか）の職員が現場に配置されるため、意欲を持った人材を集めるのは大変だと思います。プロパー、派遣にかかわらず、人材を養成する機関として、手厚い人員体制を組むと良いと思いました。
239	なし
240	他機関や研究機関と連携して、当事者目線に立った障害者支援の最先端の支援を実現してほしい。また、その実践を県内、県外の他の障害者支援施設にも展開してほしい。
241	特になし。
242	理念だけが先行しないように、人材育成が醸成できる仕組み作りが進んでいくとよいと思います。転勤しても、新天地でも能力を発揮できる人材が新法人で育つとよいと思います。
243	特になし
244	まずは、職員体制が整っていて、用事がある時は年休がとれること、安定した職員の就業状況がなければ、ストレスを感じ、利用者支援は良い方向にいかない。
245	地域では、入所施設を希望している声が市役所から保健所に言われることがあります。管内のグループホームでは人手も少なく、困難な利用者を受け入れられず、精神科に入院をしているという事例や短期入所を繰り返している事例もあります。グループホーム職員の資質向上もそうですが、地域の困難な事例に対してどのようにアプローチをするのか期待しております。
246	以前、派遣の経験も踏まえて。県職員以外との協働が多くなると思われるので、連携と分かりやすい役割分担の整理が必要であり、幹部職員はマネジメントに長けた人材が必要になると思います。
247	新法人として運営することにより、既存の思考・視点ではなく、新たな考え方や視点から障害福祉への支援が可能になるため、これまでにない取り組みとしてよいことだと感じた。
248	ビジョンに共感し、高い関心のある担い手が集まっただけのことを期待します。
249	特にありません。
250	県が福祉をやる意味がよくわからなくなっていました。全部、市町村へ移してより地域に密着した福祉を展開していけたらよいでしょう。
251	現状ではとくにないです。

設問9 園以外

252	県立施設でなぜ運営ができないのかをきちんと課題を整理する必要があると思う。虐待がなぜ起こったか、県立施設の役割が担えなかったのはなぜかなど。 新法人になったからといって、出てくる課題はあまり変わらないのではないかと感じる。ただ、体制を変えるだけではなく、障害の地域課題も見据えて検討していく必要があると思う。 県は障害福祉分野について、市町村メインで行ってきたと思う。事件のことがあり、当事者目線を目標に力を入れてきてはいるが、市町村ができないことは県で対応できるように役割を確認していく必要があると思う。千葉県事例もあったが、地域の困難ケースへの対応はずっと変わらない状況ではないか。（対応が難しく、ショートでつなぐなど） 地域の協議会からあがってきた課題への対応をどのように受け止めているのか、対応してきたか、施設のことだけではなく、これを機に取組を進めて頂けるとよいのではないかなと思う。
253	独法化後も福祉職向けに定期的な実践報告を行ってほしい。データサイエンスを用いた利用者支援と、先進的な取り組みを通じた人材の育成について、実績を客観的に評価してフィードバックしてほしい。
254	ぜひたくさんの方のスペシャリストを育成していただければと思います。
255	まずは利用者が安心して生活できるような場所を作ることや、仕事ができる、地域の中で医療が受けれる環境を作ることが必要だと思います。そして、利用者、家族を支える職員が支援にあたれるようにバックアップする体制も必要です。 事務だから、違う係だからと縦割りではなく、みんなで利用者を支える形に変える必要があります。施設長自ら、利用者支援ができるくらいの人材をあてないと大きく変わりません。思いきった、改革をお願い致します。 いろいろ書いてしまい申し訳ありません。何か協力できることがあれば、微力ながら行っていきたいと思います。宜しくお願い致します。
256	理想の支援が実現することを願ってます。
257	調査や研究という視点を持って支援するためには、職員配置や予算、人材など様々な面でのゆとりのようなものが必要だと思います。福祉職の現場が人手不足の中、どのように人材を確保していくのか大きな課題だと感じます。県の福祉職には短くても良いのでベースとして施設経験が必要だ、と考えていますので、福祉職の人材育成の一端を新法人が担えると良いと思います。 また、説明会では、経験値より科学的な視点、というような説明がなされていましたが、経験と理論（科学的視点による分析を含む）の双方が必要だと感じます。科学的なエビデンスを盾に隠れるのではなく、エビデンスを踏まえてしっかりと相手とやりとりできる福祉職が必要なのだろうと思っています。そういった人材が育成される場となってほしいです。
258	風通しのよい法人となると良いと思います。

設問9 園以外

259	採用した方に対して、1度採用したらお終いではなく、定期的に福祉現場としての適性チェック、精神状態のチェックを行い、不適切となった人材については切り捨てるくらいの覚悟がないと正常な福祉現場は厳しいと思います。 チェックの機能に鬱症状、発達障害の傾向がないか、を確認し、本人の意向重視ではなく、休みを取らせる、専門医への受診、カウンセリングを受ける、等の職員のケアをする環境を整える。これだけで福祉現場の環境は各段と向上すると思います。
260	専門性が高まり、施設内虐待がなくなればいいと思う。
261	特になし。
262	新法人に職員が集まるのか、職員数が欠員の中、派遣されるのは厳しい労働環境になるのではと感じています。
263	若い職員、中堅の職員も支援について自由に議論できる組織作りにしてほしい。
264	何の期待も希望もありません。 このアンケートの結果を、集計結果も自由記述の内容も、全て公表して全福祉職に共有してください。中井やまゆり園職員アンケートの際もそうでしたが、結果を公表できない、隠さなくてはならないような内容なのであればますますです。その結果はまずもって当局の責任ですし、それに対する批判は甘んじて受けるべきです。
265	特にありません。
266	この取り組みを発信していけるとよいと思う。
267	地域へのつながりはGHだけではなく、入所施設でもできると思っている。地域に出す「通過型」の思考だけではなく、利用者によっては施設がよいと考える人も一定数居るはずで、施設においての地域のつながりを考える思考も持ってもらいたいと思う。
268	働きやすさ、待遇、科学的な福祉の実現。
269	まずは利用者さんやご家族のこれまでの人生を尊重して理解することから始まるものであり、そこにたくさん思いを馳せて利用者さん含め皆でワクワクするアイデアをたくさん出しあって支援に当たっていければと思います。外部の目と意見があればあるほどありがたく、そこから住民や関係機関の対話が生まれるのでは、と思います。
270	研究職として福祉に対しての研究を行うことは、研究の経験がある職員が一定数必用であると思われ、その人員を確保しつつ教育という面に汎化させるために、予めどのような形態で勤務する形になるかを教えてほしい。
271	施設研修や見学等でオープンな施設にしていきたい。
272	特にありません。
273	私は今年度新採用になったばかりで、中井やまゆり園で働いた経験はありません。ただ、 [REDACTED] 中で働いていた職員とも交流もあり、中井やまゆり園の様子は良く知っています。良くなかったことは改め、当事者の視点に立った支援が実現するよう、これからも見ていきたいと思う。
274	今入所している方々やご家族が新法人になることで不安になったりすると思います。そのため丁寧な説明が必要だと思います。
275	人材の確保や人材育成については興味ある。長く働き続けられる施設づくりを目指してほしいと思う。

設問 9 園以外

276	利用者目線を第一に考え、開かれた環境を望みます。
277	組織として風通しの良い組織を目指して欲しいと感じます。新聞報道であるようなパワハラが実際あるとしたら、異動するにあたってはとても不安になります。
278	施設と地域との連携は特に県立施設においては長年の課題であると感じています。児童の施設での経験年数を重ね、さらにそのように感じるが増えています。 施設の在り方を通過型施設とする考えには一部賛同ができます。引き続き、進捗や検討内容について説明の機会をもっていただきたいと思います。
279	利用者にとっても、職員にとっても柔軟な考え方であり、意見を聞き入れる事を望みます。
280	神奈川県だけでなく、日本の障害福祉をリードするような法人になってもらいたい。国立ではなく、県立で、より県民に近い場所で研究を行うことは、大学で研究するだけでは得られない大きなものが得られると考える。
281	これまでの職員の支援が決して適切であったとは思わないし、改善すべきことが多々あることも承知している。また前向きな取り組みとしての今回の地方独立行政法人化もよいと思うが、今回の説明内容を聞いても現在中井やまゆり園で勤務している職員、あるいは他所属の職員が中井やまゆり園で働きたいと思うかという疑問。職員は体制等も大切だが、職員間の円滑なコミュニケーションが図れる健全な職場に就労の意欲を持てる面も大きいので新聞報道であったような[]との関係を含めた課題の改善が職場定着には最重要である と考える。
282	働く魅力をどう作っていくのか。これまでの県の福祉職の良かった異動があるということに 関しても、法人の中で移動先となるような、実践の場を複数持てるとよいと感じた。
283	職員の権利や尊厳も守られるような職場環境にしてほしい。
284	期待も希望もない。配属されるのならば退職しようと思う。
285	しっかりと人材確保をしてほしい。また、[]職員の方々が実際に3年間でも 同じように働き、現場職員の理解に努めてほしい。
286	真に、利用者の方々の思いをくみ取り、思いに寄り添い、本人の望む暮らしを第一に考えら れる法人、職員を大切に法人であって欲しいと思います。
287	県の施策の実現のために、利用者が利用されないこと。
288	想定している法人が、入所施設がないことに少し驚いた。行動障害を支える家族の課題とし て、家での生活支援に限界を感じ、家族を入所させたいのに預け先がない、という課題も現 状ある。施設を終の棲家とせず、地域移行に重きを置くならば、地域で生活するために十分 な支援体制も整えられる法人として、何か出来ることはないだろうか、と感じた。また、あ る程度入所施設としての要望もまだあるように感じている。無くす方向ということは、利用 者やその家族がどう感じられるのか、意見も聞いてみたいように思う。
289	・閉鎖的ではなく透明性のある法人になれば良いと考える。

設問9 園以外

290	先日東京新聞の記事に残って働きたい職員がほとんどいないと報道されていたが、それが何でなのかの検証もせず、[]のパワハラ報道についても検証せず、[]に至ってはその責任をとる素振りすらない。「お前のやっていることは[]と同じだ」と発言して圧を掛けるような[]だよ？検証するまでもなく退陣してしかるべき。残って働きたいと思わない職員が大多数を占めている原因はそういうところにあると思わないの？思っている自分たちに都合が悪いことだから蓋をするの？新法人を立ち上げる前にすることは、今ある課題を真摯に解決していくことなんじゃないの？こんな[]が残ってこれまでと同じスタンスで「指導という名のパワハラ」をしているんじゃ、「科学的な福祉の研究」「人材育成」なんて絵に描いた餅。新法人の未来も暗いな。せいぜい悪あがきしてください。
291	各都道府県の最先端の技術の活用がある施設研修や世界の障害者支援を学ぶ研修があるといい。県内だけではなく、より広い知識や技術を学ぶ必要性がある。中井やまゆり園が1つの灯火となり、いい影響を与える施設になってほしい。障害者雇用も積極的に行う人事。経営陣には当事者（身体障害者の方等）の採用も検討。
292	特定県民の利益や利便を追求せず、地域に開けた機関であること。 利用者はもとより、働いている人が、やりがいがあり、誇りをもって仕事ができる職場であること。
293	他者に公開できる施設に出来ると良いと思います。
294	学校教育で言えば、公立学校の中でも国立大学付属中学校などが、特定の研究目的をもって設立されていると認識しているが、付属中学の教員が研究発表に多忙で、子どもとの交流する時間も十分でない。時間外が多いと聞く。利用者の方への接遇と研究が両立できるのだろうかとの心配がある。
295	なし
296	研究を充実させるという点にとっても期待している。
297	新法人が施設運営だけに限らないのはよいと思いました。しっかり法人として独立して運営してもらいたいです。
298	総合福祉職として採用している県として、県立の障害の施設系がなくなっていく現状の中、若い世代にこれまでの神奈川県の福祉を知るためにも施設系の経験をするべきであり、今回の新法人化の動きや現場を共有すべきだと思っています。離れた場所にいるからこそ客観的な意見が出ると思います。日々の業務、お疲れさまです。
299	実践研究のみならず、ビックデータ等の活用により理論研究が進むことが期待される。
300	利用者第一は当然だが、職員も大切にする組織であってほしいです。
301	ない
302	業務量が勤務時間内で完結するようにしてほしい。
303	特になし。
304	利用者視点を大事にできるように、支援者の人員配置、数、風通しのよい職場環境も確保してほしい。

設問 9 園以外

305	世間の障害施設の需要はあるものの、勤務希望者が少なく運営の成り立たない状況が期待と現実のアンバランスな部分だと思っています。支援者が楽しい、やりがいを感じると思えるような支援の枠組みや様々な人が働きたいと思える場所づくりも必要ではないでしょうか。これからを担う若手職員の声も聴きながら組み立てていただけることを願っています。この施策がこれからの障害福祉をよりよい方向に導いてくれると信じます。
306	「福祉」の新しい在り方や実践があると良いと思いました。
307	耳さわりのよい言葉で飾った花火を打ち上げるだけでなく、実体を伴った取組みとなるよう時間をかけて検討をしてほしい。
308	特にありません。
309	出来るだけ閉鎖的な環境にならないよう、計画通りに進めてほしい。
310	職員の話を十分に聞き入れてくれるような環境であるといいと思っています。現場に関心を持ち、現場が本当に困っていることを吸い上げてもらえるといいのではと思います。
311	資料や動画を視聴して県立施設として外部との交流、（高等部の通所施設に行く、地域参加等）に生かせるかもしれないと思う。児童分野にも新法人での結果を県として生かしてほしい。
312	この業界を選択し就職してくる若い人達は、やる気や希望をもっている方がほとんどです。働き続けたいと思える職場、魅力ある職場環境、やりがいのある障害福祉支援等が作られないと、離職者が増えるだけだと思います。正直障害者施設の勤務はきれいごとではすまない、日々心身をすり減らしながらの勤務が現実です。それ以上に働きがいがあれば職員定着や希望者も増えるのではないのでしょうか。

